

1927年・昭和2年

1. 13 5 学年、小高坂山で狭射撃実施。
1. 26 県下中等学校連合野外演習を高知一後免間で実施、4 学年以上参加。
2. 3 朝倉練兵場の飛行機会を生徒全員観覧。
3. 9 第11回卒業式 機械科 28名、電気科 25名、応用化学科 13名、技術員養成所 2 名。
3. 19 校内で高知市主催 木工講習会開催（6 日間）。
3. 25 入学試験実施 志願者 391名、27日99名に入学許可。
4. 22 3 学年、土佐郡七ツ瀨神社付近の軍事教練のため遠足。
5. 1 5 学年、県外修学旅行に出発。
5. 4 開校記念日。
5. 10 4 学年は室戸岬、3 学年は本山へ2 泊、2 学年は越知、1 学年は宇佐へ1 泊旅行実施。
5. 27 城東中講堂で宮宮海軍大佐の講演会、4 学年出席、5 学年は小高坂山で射撃練習実施。
6. 1 講堂建設の第1 期工事始まる。
7. 16 4・5 学年、野外教練のため長岡郡三里村に向い同地海浜で露営。
7. 25 全四国準硬式庭球大会出場（高松市）。
7. 30 全国中等学校庭球大会出場（濱寺）。
8. 1 全国中等学校野球大会、県予選で代表権獲得、四国大会出場（高松）。高松商と対戦 8A：1 敗。
8. 8 西部中等学校水上競技大会出場（大阪）。
8. 17 水泳部、夏期練習会終了し棧橋一種崎間の遠泳実施、33名完泳。
8. 21 柳原で学生相撲大会開催。
8. 25 東京池貝鉄工所に注文のユニバーサルミーリングマシン入荷。
9. 24 県下中等学校連合運動競技会開催。
10. 1 武徳殿で第3 回中等学校武道大会開催。
10. 9 高知新聞社主催第1 回バスケットボール大会を私立土佐女学校で開催。A・B 2 組出場。
10. 11 新築講堂落成、階下を職員室、校長室、事務室とする。
10. 16 大阪毎日新聞社主催全国中等学校相撲大会に出場。
11. 2 体育デー、生徒全員、長岡郡十市村、琴平神社に遠足、帰途は三里より巡航船で帰校。
11. 3 明治節を新に制定、本日休校。
11. 4 元不良少年紫団長、大本重助来校、職員一同に彼が不良少年に入り犯罪を重ねた動機経路と其懺悔改悔の生活の大要を教育上参考のためと談話。
11. 19 同窓会主催、新築講堂落成祝賀会举行、74名出席。
12. 20 4・5 学年本日より3 日間兵営宿泊訓練実施。

県内 国内外関係

5. 1 高知市で初のメーデー開く。
7. 3 室戸岬「日本新八景」に当選。
8. 26 仁淀川上流で集中豪雨、吾川 高岡両郡で大洪水、死者32名。
3. 3 明治節制定（11月3日）。
3. 15 金融恐慌始まる。
4. 1 兵役法公布。
8. 3 ジュネーブ海軍軍縮会議決裂。
11. 22 中学校、高等女学校の入試制度改定（内申書、人物考査、身体検査を採用）。

※ リンドバーク大西洋無着陸横断飛行。



(校舍全景)



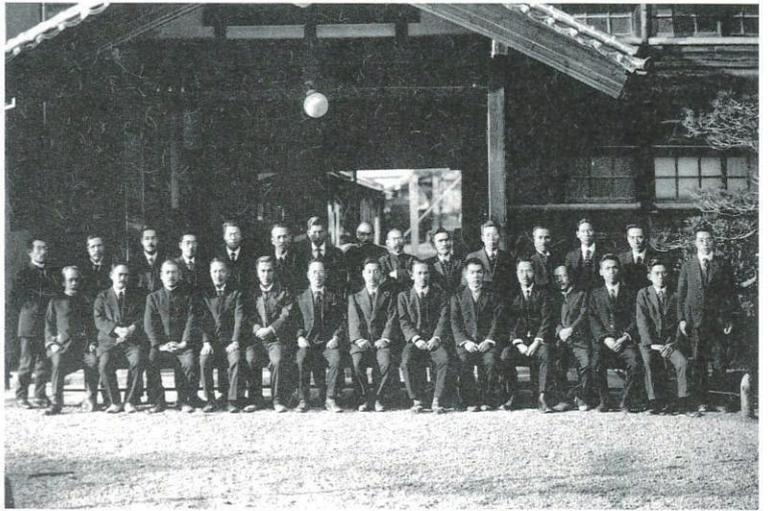
(講 堂)

十一月十九日 本校同窓会主催にて新築講堂に於て其落成祝賀会を午後六時半より開會し最初に吉崎同窓會長の式辭あり次いで中村庭球部長、仙頭野球部長、島田運動部長の挨拶ありて山口同工會長の祝辭の後一同茶葉宴に入り續いて同工會を開き中屋副會長の開會の辭ありて一同協議懇談をなし會員の自己紹介演說等あり和氣藹々の裡に九時過ぎ散會したり

十一月一日 本年六月一日より着手せる本校新築講堂の一棟落成し階下職員室校長室事務室等皆夫れ々新室に移轉し午後一時より職員生徒一同階上の講堂に着席し開館式を舉行し校長より卷頭所掲の通り式辭を演說せられ一同に祝餅を配付して此日を祝福せり



(講堂開館式)



(職員一同)

昭和二年度水泳部大阪遠征

第四学年電氣科 高西正男

本年八月大阪市立運動場プールで開催された、西部中等學校水上競技大會に、本校水泳部は第二回目の遠征を試みました。

四百米準決勝 最後に残った唯一人の戦士三宮君大なる責任を負ふてスタートに立つ。スタートするや先頭の内藤(三田中)に迫り絶へず敵心を寒からしめ他のものとは大なる差を以つて一着と僅々五秒の差で二着。

- 一着 内藤 濱雄 五分五十四秒八
- 二着 三宮 益夫 五分五十九秒八

「三宮が決勝に入ったぞ」私達の善癖は非常なものでした。決勝戦に戦ふ事を許されるものは八名である。愈々決勝戦實力の差如何とすべくもなく八着となる。

高松遠征記

テ四 森田英雄

全四國準硬庭球大會に出場すべく、遠く高松の地に我庭球部は左のメンバーを以て、昭和二年七月二十二日 曉明雞鳴と共に遠征の途につけり。

シングル山本 ダブル No.1(山本) No.2(森田) 安岡(石川)

廿三日より廿五日に至る三日間の戦跡左の通り。

廿三日 シングル第一回戦 山本一勝者 安岡六一(天岡(盡誠中學))

第二回戦

山本六一(黒川(西條中))

安岡二一(六佐々木(高松商))

安岡君は今年三年の若強者なり。孤軍奮闘の結果技倆は伯仲なれど試合馴れし彼高松商業の佐々木君に勝を譲りしはかへすも残念なる次第で有る。

廿四日 ダブル第一回戦

(山本六一五) (山下(盡中))

(森田二一六) (三好(香川師範))

第二回戦

(山本二一六) (門屋(松山中學))

シングル第三回戦

山本六一(内海(大川中學))

準決勝戦 山本六一(齋藤(高松中學))

ダブルに於て奮闘の甲斐無く兩チーム共敗れしも、シングルに於て必ず優勝せんものと豫期し來りし此の遠征を意味有るものとせん爲雄々しくも山本君は母校の爲老練家高松商業の佐々木君に當つたので有る。

二十五日 シングル優勝戦

明くれば廿五日此日こそ我等が天より最後の宣告を受くべき日であった。

掃き清められしコートに眞白きラインも白々と朝の日光に輝いて居た。やがて戦の幕は審判の重々しい宣言と共に切り離された。

一球に一球観望者をして手に汗を握らしめ断えず目の左右するを禁じ得なかつた。技倆は正に伯仲で有る。恐らく此の大會の深刻なる烈戦なる戦は他に見るを得なかつたであらう。

山本君の自由なストロークも鑽石を浴す様な愛校心も引率先生の血の出る様な呼び聲も我等僅少の應援も五百の健兒等の精神的應援も神には通じなかつた。

縣下學生相撲大會

化學五年 村上榮登

一九二七年九月廿四日。

此の日こそ一日千秋の思ひで待ちに待つた我等が勝利の大使命を誓つて戦場に望む日である。

おゝ我等が此の學窓に入りて早や五歳未だ一度も優勝と云ふあの華かな榮譽を角力部に夢見た事のない北門健兒よ！起てよ！奮へよ！

おゝ恨み深き雪辱の日！不撓の努力一年我等が闘士の戦ふべき日は來ぬ。

此の朝八時降らず照らすの曇天下に各競技の始會式は高校グラウンドに行はれた。時を移さずして選手を眞先きに愛校に燃ゆる各校應援團は土俵の周圍につめかけ、紅白大小の團旗翻る下に闘闘歌勇ましく陣取りぬ加ふるに今日の勝負や如何にと馳せ集る者忽ちにして黒山を築く。

農	師	商	海	安	工	東	城	商	北	中	計
農業	4	6	5	5	4	5	8	8	8	8	53
師範	4	2	7	7	6	4	7	7	7	8	52
商業	2	6	3	3	5	6	4	4	6	7	45
海南	3	1	1	5	4	6	5	6	7	7	43
安藝	3	1	3	4	5	4	6	6	7	7	40
工業	4	2	3	2	4	3	3	4	6	6	37
城東	3	4	2	2	5	3	4	4	5	8	37
城商	0	1	2	3	2	4	4	7	5	6	29
城北	0	1	1	1	1	2	3	4	4	8	12
中村	0	0	1	1	2	2	0	0	1	4	12

次に個人勝負あり。全勝者藤村(師)小谷(農)一敗者久万(商)小松(安)和田(工)永野(農)なり、而して決勝の結果次ぎの如し

- 一等賞 藤村
- 二等賞 小谷
- 三等賞 久万
- 四等賞 小松
- 五等賞 和田

団体で敗れし本校の和田の個人に入賞せしはせめてもなり。

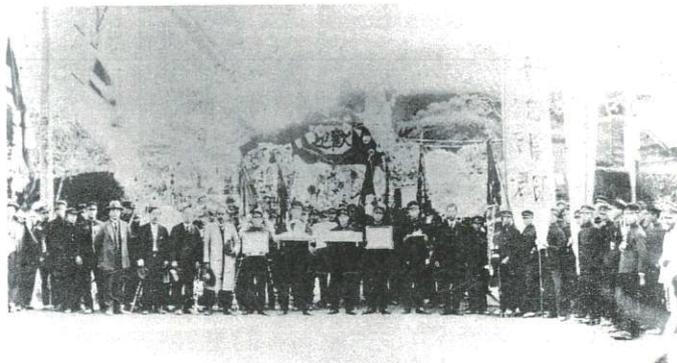
1928年・昭和3年

- 1. 16 帝国飛行協会主催で太平洋横断飛行が催されるため同協会より寄付金募集の依頼があり職員生徒が16円35銭寄付。
- 1. 17 米国婦人ダウト、経営の高知女学院の火災に見舞として職員生徒、36円16銭を寄付。
- 2. 3 県下中等学校連合演習、長岡郡岡豊村付近で実施、終了後柳原公園で分列式挙行。
- 3. 9 第12回卒業式 機械科 28名、電気科 24名、応用化学科 20名、技術員養成所 2名。
- 3. 23 前校主、竹内明太郎、脳溢血で逝去。
- 3. 29 入学許可135名。
- 4. 1 土木科、建築科を増設。
- 4. 29 5学年、県外修学旅行に出発（5月11日帰校）。
- 5. 3 4学年以下全員が手続海岸に修学旅行。
- 5. 4 開校記念日。
- 5. 17 毎週木曜日に各学級の主任は生徒と昼食を共にすることに決定。
- 5. 27 坂本龍馬銅像除幕式に生徒総代参列。
- 6. 17 土陽新聞社主催県下少年野球大会。決勝戦 城北を3：2で破り優勝。
- 7. 1 教英社主催準硬式庭球大会 優勝。
- 7. 13 相撲、水泳、陸上運動3部の校内競技会開催。
- 7. 24 全四国準硬式庭球大会 優勝。
- 7. 26 全国中等学校庭球大会（濱寺）出場。
- 8. 1 全国中等学校野球大会、県予選優勝、県代表で四国大会出場、北予中に10：1敗。
- 8. 1 ~ 6 県下小学校教員80名を対象に機械・電気・化学の工業講習会を実施。
- 8. 11 関西中等学校水泳競技会出場（大阪築港プール）高西・濱田の2名800m自由型準決勝進出。
- 9. 23 県下中等学校連合運動大会。
~ 2 野球優勝、庭球優勝、相撲個人4位（永吉）。
- 10. 29 阪神博覧会主催御大典記念、全国中等学校野球大会県代表として甲子園球場で関東中学と対戦、6：5で惜敗。
- 11. 4 大阪毎日新聞社主催全国中等学校相撲大会。個人優勝 永吉一猪、個人2位 森本大千代（現清隆）
- 11. 24 工場公開、御大典記念として各科趣向をこらし2日間
~ 25 間で入場者7,000名。
- 12. 6 秋季同窓会並びに同工会の総会を講堂で開催し会員多数出席、開校20周年記念事業の前校主、竹内明太郎の胸像建設の件満場一致で可決。
- 12. 7 福井小高坂方面で各中等学校連合教練演習を実施、終了後公園で分列式を挙行。3学年以上の生徒参加、以下の生徒は福井山で観戦。

県内 国内外関係

- 2. 20 男子普通選挙による初の総選挙。
- 5. 27 坂本龍馬銅像除幕式（桂浜）。
- 8. 10 高知駅一棧橋間に電車開通。
- 12. 21 土電スト実施（31日解決）。
- 3. 9 府県に専任視学官配置。
- 3. 15 共産党員全国的大検挙、日本共産党弾圧始まる。
- 4. 17 学生、生徒の思想傾向の匡正国民精神の作興を訓令。
- 11. 1 日本放送協会（NHK）ラジオ体操放送開始。

※ 波浮の港、出船の港



（全国学生相撲大会 優勝 凱旋記念）

本社主催
第十回 全国学生相撲大会

中等学校の部 堺大濱土俵

【八時開始】

第一回戦 桃山御陵道彦 優勝
旗返返式 第二回戦 二松 優勝

個人決勝の栄冠は

高知工業の永吉君に

二等は同校の森本君
物凄き聲援

第四回戦

森本君は兵庫農業の先鋒土居と取組難なく勝つ。
永吉君は今宮職工学校の主将奥と戦つて勝つ。
此の時になつて始めてもう四人しか残つていない事を僕も知り又末松君も知つたさうである。
かくて愈々準決勝戦に入る。
森本君は神戸商業の中堅横山と取組む。
此の勝負に森本君が勝てば二等は確實と一心に祈を神に捧ぐ

其甲斐あつて森本立つたや否や右手を差して首を敵の右脇に入れば敵もさるもの剣の峰で外がけで防いだが終に森本君得意の豪力を以て高く高く吊り出して勝てば満場かなへの如くわきたちかへる。ついで永吉君は浪速中學の先鋒河村と取組む、永吉君は森本が勝つたので騎虎の勢を以て土俵に上り立ち上るや否や無類の大鐵砲にて唯一突に突倒して勝つ。おゝ一、二等確實か、夢ではないかとばかりに飛上つた。
宮地先生は氣狂の様になつて、末松君は泣いている、おゝ何んと嬉しい事よ。

勝

極り手 負

三等決勝 横山（神戸商）よりたふし 河村（浪速中學）優勝戦 永吉（高知工業）すくひなげ 森本（高知工業）森本左差右管ではげしくより立てたが永吉西土俵の剣の峰で体を弓の如く堪へつゝ捻り氣味に強引のすくひ投をして永吉勝。

かくて個人優勝永吉（高知工業）第二位森本（高知工業）第三位横山（神戸商）となつた。縣下各校の得点は高知工業、師範共に八點、商業、安藝中七點、海南、城東中五點、城商の二點である。
かくて大會は午後五時無事終了した。
一先ホテルに引上げ荷をまとめて大阪に歸り多数の先輩に囲まれてあの賑なる心齋橋通りを『むいて見よ見よ』と聲高々



全国学生相撲大会 優勝 横綱を手にする 永吉一猪選手

東洋一の野球の殿堂甲子園!!
 野球をやる者の渴望の的である甲子園について
 我が工業チームは堂々出陣したのである。
 公式戦に於て高知県より甲子園に出場したのは
 之を以て嚆矢となす。私はそのピッチャープレ
 ートに立つの光栄によくした。
 さて相手の関東中学はその夏大阪朝日の全国大
 会に関東代表として出場の経験あり、名投手和
 田を有しその強さは定評があつた。
 甲子園初出場に胸とどろかせ、球場の豪壯に肝
 をつぶし、強敵との一戦にギョット身のひき締

るのを痛感し半ば夢中で対戦の火ぶたを切つ
 た。一回表果敢に和田投手を攻め、堂々三点を
 収め初陣としては幸先よいスタートであつたが
 その裏上気した我が選手がミスが続出したま
 ち三点を献上し同点となり、尙も三回に三点を
 追加せられ六―三とリードされた。だが回を重
 ねるに従つて落付を取り戻し、徐々に本領を発
 揮して四回一点、五回一点と挽回し六―五と今
 一步の所まで肉迫したが六、七回を無爲に終り
 遺憾ながら規定により七回にて試合を終了し遂
 に六―五にて長蛇を逸したのである。
 別府善活(昭四電卒) (会報No.4より)

十一月二十一日より四日迄

全 國 中 等 學 校 野 球 大 會

出 場 校

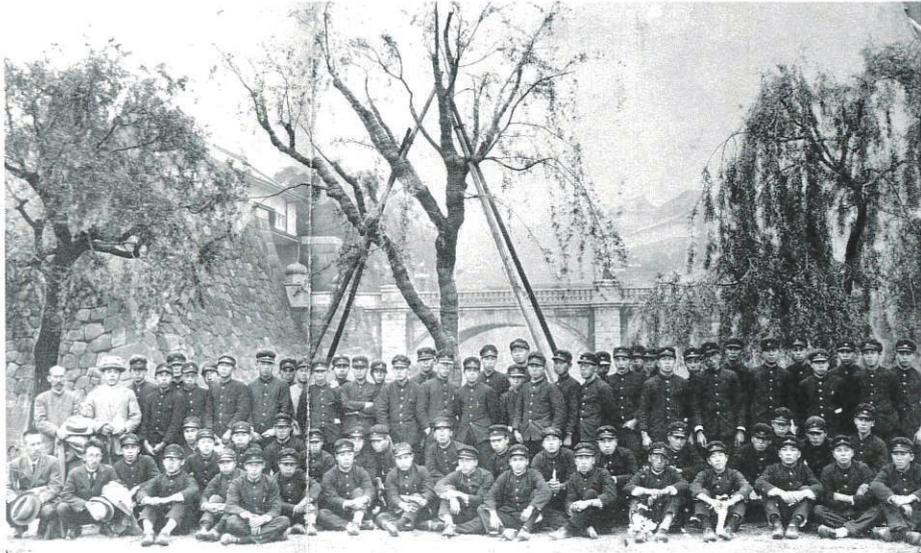
神戶二市 下關商業 平安中學校 新潟商業 關東中學校 大社中學校 高知工業 敦賀商業

主 催 於

神 阪 大 博 覽 會

甲 子 園 球 場

一 般 入 場 無 料

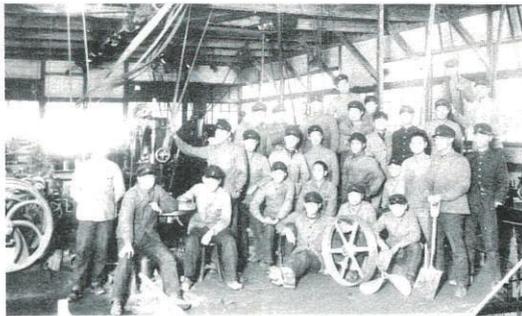



(修学旅行 皇居前)

機械五年川中島の巻



おらゝが若い時分を見て呉れ



工学博士の卵連



天晴れ國家の干城振り



1929年・昭和4年

1. 22 高知高等学校長、生徒監を帯同、学生が中等学校連合教練演習当日本校内にピラを貼布した件で挨拶に来校。
3. 9 第13回卒業式 機械科 39名、電気科 29名、応用化学科 20名、技術員養成所 5名。
3. 28 入学志願者 258名、入学許可 130名。
4. 13 徳島航空学校、横山飛行士来県、朝倉練兵場で各種高等飛行実演、生徒全員参観。
4. 27 5学年、県外修学旅行に出発。
5. 2 4学年は安芸、3学年は吾川郡下八川村、2学年は越知、1学年は須崎宇佐方面に1泊旅行実施。
5. 4 開校記念日。
6. 3 3学年以下、野外教練のため七ツ瀨神社に遠足。
6. 20 南校舎半分部に2階建教室、化学科工場の東へ土木建築科工場、63坪余の建設工事始まる。
6. 29 校庭でテニス大会開催、他中等学校生徒も参加。
7. 18 4・5学年、三里村に野外宿泊実施。
7. 26 全国中等学校柔道、剣道大会出場（京都）。
8. 1 全国中等学校野球大会、県代表として四国大会に出場。松山中と対戦 5：0で敗。
- 〃 全日本中等学校庭球大会（濱寺）出場。
8. 24 第3回西部中等学校水上競技大会(大阪)44校中14位。
9. 10 校内相撲、水泳大会開催。
9. 22 県下中等学校連合運動競技会
~27 水泳 2位。昨年まで本競技会は高等学校主催で実施。本年度より高知県体育協会主催となる。
9. 31 第5回明治神宮水上競技大会。日本水上競技連盟より推薦出場の濱田道男、1,500m自由型 6位。
10. 9 南校舎東半分部2階建、応用化学科工場東に建築中の土木・建築科工場63坪余落成、工事請負金24,000円。
10. 16 大阪毎日新聞社主催全国中等学校相撲大会出場。
12. 1 第3回全高知県陸上競技選手権大会、棒高跳優勝（橋田）（3m15cm）。
12. 6 同工会主催で活動写真試写会開催、職員、市役所関係者、旭婦人幹部、同工会役員等多数来校。

県内 国内外関係

7. 23 農民騒動起こる。
8. 26 片倉製絲スト、高知巡航スト。
11. 19 漁民騒動、柳原で漁民大会（500名逮捕）。
4. 16 共産党員全国の大検挙。
7. 2 浜口雄幸民政党内閣成立。
8. 19 ドイツ飛行船、ツェペリン号霞ヶ浦に飛来。
10. 24 ニューヨーク株式市場大暴落、世界恐慌始まる。
※東京行進曲、紅屋の娘。

高知工業学校が創設された明治45年には、5年制の甲種工業学校は全国で僅か3校であった。

私共が入学したのは創立後13年を経た大正13年で、学校は少年期から青年期に入らんとする頃で私立から県へ移管された2年目である。従って私立校の厳しさと温か味、加えて県立校の鷹揚さが程よく混じり合った極めて好ましい雰囲気になっていた内容は充実し、校内は整然と美しくととのい当時の高知市内の中等学校では最高に快適な学舎であった。（回顧60年より）



北門筋旧校舎正門



（職員一同）



応用化学科



寄せ書き 機 械 科



電 気 科



寄せ書き 電 気 科



無試験合格のうら話

久 武 亀 彦 (昭四機卒)

往事茫々六十年。記憶の定かでないものもあり、日時場所などあるいは、過誤なしとはしないが、それはそれとしてお許しを願って、思い出すまま記すこととする。

大正十二年の暮れであったと思うが、六年の担任の島村先生が、工業学校から先生が見えておられるので、校長室に行くようにとの事であった。校長室に行くこと小肥りの方がおられて「おまさんは来年春、工業学校を志願されると言うが、何科を希望されるのか、私は工業の教師です」とのこと。何科と言われても確固たる信念のあるわけでもないが、何となく将来は電気がよいではないか、との考えであったから、電気科ですと答えると先生は「電気科もよいが、なんと言っても機械が基ぜよ、電気科を出ても、田舎の発電所で発電機の番をするばあぜよ、機械科にしいや」私はそんならそうしますと答えた。子供とは言え信念のないことおびたしい。軍隊の試験では落第ものである。入学してみると、この先生が機械科長の島田比菜先生で

あった。何んことはない、我田引水の最たる？ものと後年思った。しかし残念ながらこの水は、悪かった、まあ無事に卒業させて頂いたのが、せめてもの罪ほろぼしと感謝している。まもなく無試験合格の通知が小学校にきた。この制度の目的がどこにあったのか、小卒者目的を絞ったこと、合格率が三人に一人、四人に一人と言った、希望者の多かった時、想像は出来るが、真意はわからない。この制度が私達の次の期まであったことは、承知しているがその後は不明である。

入学式の日、本や服装品を整える為、珍しく父が付いて来た。各店を回っている内、後になり先になりしていた、親子連れが居た。父が尋ねた、赤岡の山中との事、まことに血色のよい人とお見かけしたが、これが山中喜久雄君であり、その後五年間一緒に学んだご縁の始まりである。山中君はその後神戸高工に進んだが、赤岡からの通学でかなりの時間を要したのに、よく勉強した。まじめでその点クラス随一であつたらう。

(回顧六十年より)

1930年・昭和5年

1. 17 高岡郡佐川町長並びに町会議員、町小学校講堂新築参考本校講堂視察。
2. 7 仁淀川口の砲兵実弾射撃訓練を生徒全員見学。
2. 27 故島田比楽教諭の追悼会を午後2時半より挙行。遺族、親戚、職員生徒及び卒業生多数参列。
3. 8 第14回卒業式 機械科 39名、電気科 32名、応用化学科 14名、技術員養成所 1名。
3. 28 入学志願者 235名、入学許可 130名。
4. 30 5学年、80名県外修学旅行に出発。
5. 4 開校記念日。
5. 7 ~ 8 4学年は同盟・藤村商事両汽船に分乗し室戸岬、3学年は上八川方面、2学年は越知佐川方面、1学年は須崎宇佐方面にそれぞれ一泊旅行実施。
6. 6 第4小学校下婦人団40名、各科工場実習を視察。
6. 15 第1回高知・徳島対抗野球大会に高知代表で徳島撫養中と対戦 6：1で勝（市商グラウンド）。
6. 15 高知鉄道主催第1回県下中等学校庭球大会、シングル優勝（井本）ダブルス優勝（石川、井本組）（安芸町）。
7. 2 県主催産業合理化国産愛用展覧会、各科10数点展示（高知公会堂）。
7. 25 全国中等学校武道大会に柔道、剣道出場（京都）。
7. 28 全国中等学校準硬式庭球大会出場（大阪）。
8. 1 全国中等学校野球大会、県代表として四国大会出場、香川師範 11：4勝 2回戦 今治中 12：1敗。
8. 10 第4回西部中等学校水上競技大会出場（大阪）。
9. 13 県下中等学校連合武道大会開催。
9. 20 体育協会主催県下中等学校連合体育大会。
- ~21 水泳 80m自由型 優勝（杉本）、200m 胸泳 優勝（久保）、陸上 800m、1,500m、5,000m 優勝（品原）、槍投 6位（朝山）、射撃（長尾、高橋、谷脇）受賞。
10. 5 松山高等学校主催近県陸上競技会 陸上 800m、1,500m 優勝（品原）、槍投 6位（朝山）。
10. 23 県下中等学校射撃大会 2位（朝倉射撃場）。
10. 31 第2回校内陸上運動会（高知公園広場）。
11. 16 体育協会主催県下中等学校バスケットボール大会 2位。
11. 17 広島高等工業学校長、川口虎雄本校視察し生徒に講話。
12. 17 4学年、朝倉兵営内宿泊訓練を2日間実施。
12. 21 高知病院勤務の岸本道夫医学博士を校医に委嘱。

県内 国内外関係

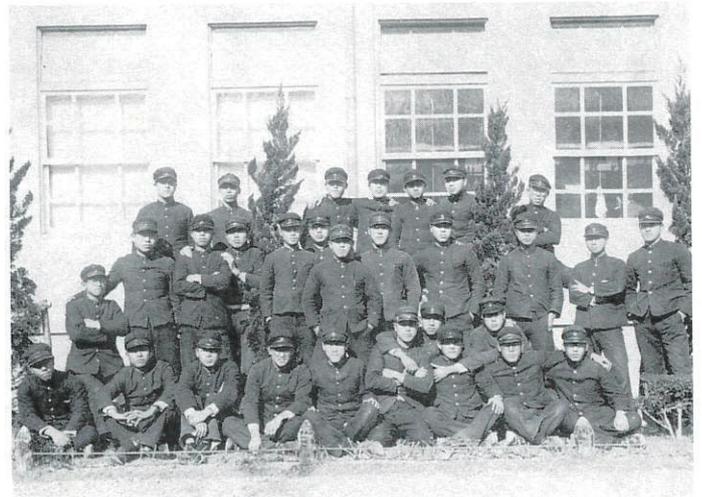
1. 1 高知中央卸売市場開場。
2. 20 県下中等学校長会で知事が生徒の思想傾向に対する留意を要望。
4. 1 高知鉄道、後免—安芸間開通。千松・五台山を県立公園に指定。
1. 11 金輸出を解禁、金本位に復帰。
4. 22 ロンドン海軍軍縮条約に調印。
10. 1 国勢調査、総人口 9,039万名（朝鮮台湾含む）。東京—神戸間に特急「つばめ」運転開始。
11. 14 浜口首相、東京駅で佐郷屋留雄に撃たれ重傷。

※ すみれの花咲く頃、祇園小唄。

機械科 卒業生



電気科 卒業生



応用化学科 卒業生



第一回県下中等学校庭球大会

ダブルス

第一回戦

主催〔高知縣体育聯盟
高知鐵道
後援 高知新聞社

石川(工業) 6 — 2 湯川(城北)
井本(工業) 6 — 1 西岡(市商)
下元(師範) 6 — 1 稲垣(市商)
寺田(農業) 6 — 1 杉本(工業)
岡崎(農業) 6 — 1 島崎(工業)
大谷(城北) 6 — 1 二宮(城東)
井上(城北) 6 — 1 森田(城東)

第二回戦

柏原(城東) 6 — 1 石助村(農業)
小野口(市商) 6 — 5 濱田(師範)
石川(工業) 6 — 3 下元(師範)
井本(工業) 6 — 1 幾井(師範)
大谷(城北) 6 — 1 寺田(農業)
井上(城北) 6 — 1 岡崎(農業)

準決勝戦

石川、井本 6 — 0 柏原、川田
野口、小松 6 — 2 大谷、井上

決勝戦

石川、井本 8 — 6 野口、小松

シングル

第三回戦

井本(工業) 6 — 2 川澤(市商)
川田(城東) 6 — 1 川井(農業)
柏原(城東) 6 — 3 大谷(城北)
小松(市商) 6 — 3 寺田(農業)

準決勝戦

井本(工業) 6 — 1 川田(城東)
柏原(城東) 6 — 4 小松(市商)

優勝戦

井本 7 — 5 柏原

野球の思い出

福田正夫(昭五機卒)

大正十四年に入学し秋の県下野球大会の応援に参加して以来、昭和元年二年生の時から野球に興味をもち練習に参加するようになりました。大正十四年の野球部のバッテリーは山登、川久保さんで外野に遠縁にあたる公文英吉さん(卒業後大阪日東染に勤務)がおられました。昭和元年のバッテリーは山登、別府さんで主将は外野手の高野さんでした。

昭和二年夏の四国大会に三年生の時、はじめて参加しましたがその頃の四国大会は前年優勝した学校の県で開催されることになっておりその時は高松の球場で行われました。当時は土讃線も開通しておらず私共はハイヤーに分乗、四国山脈越えの六時間余の乗車で暑さと車酔いで大変な疲労を伴い試合当日まで、疲れが残る状態でした。第一回戦に黄金時代の高松商業と対戦八対一のコールドゲームでした。高松商業はその年、全国大会に優勝し宮武、井川、水原、多湖等そうそうたる選手がおりました。昭和二年当時の部員は山登(主将)別府、山本、小路、水口、塩田、桑田、佐久間、福田等。昭和三年の四国大会は今治中学と対戦敗退しました。昭和三年十一月には四国から高知工業が選抜され御大典記念全国中等学校野球大会(主催阪神大博覧会)に出場する機会を得、初めて甲子園球場の土を踏むことが出来たものゝ足が十分につかない感じがしました。試合当日は先輩の山登、桑田氏(当時日本エヤーブレーキ勤務)の御尽力を得ました。最近毎日新聞社の方の御世話でマイクロプリント(昭和三年十一月二日～五日)が手に入りましたので当時の記録を抜粋します。 出場校八校

十一月二日 関東中学6A対5 高知工業
敦賀商業4対0 新潟商業
下関商業4対1 大社中学
神戸二中4対2 平安中学
三日 敦賀商業2対1 関東中学
神戸二中5対1 下関商業
四日 神戸二中5対2 敦賀商業

対戦相手の関東中学は夏の全国大会にも出場していたので私共は善戦したと思います。

昭和三年当時の部員は別府(主将)西村、富永、坂本、平井、小笠原、塩田、佐久間、森、三宮、沢村、真城、福田等。

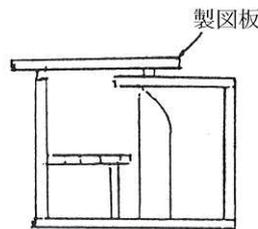
御大典記念野球大会開催中、相撲部は十一月三日四日堺大浜における第十回全国中等学校相撲大会で活躍され個人優勝永吉、二等森本氏となりました。当時の先峰入野幸治(四年)中堅永吉一猪(五年)大将森本大千氏(五年)補欠浜田可弥太(四年)氏でありました。四日大阪道頓堀で大阪同窓会(会長松村幸兵衛氏)主催の祝賀会には野球部の慰労会も兼ねて下され感謝のいたりでありました。

昭和四年四国大会は高松球場にて松山中学と対戦五対〇で敗退しました。

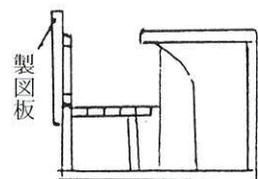
昭和四年の部員は佐久間、平井、真城、坂本、三宮、西村、山崎(高田)竹井、沢村、森(黒岩)福田(主将)等マネージャー唐岩。私共の練習は主にスベリ山の下の野球場で行われグラウンドの状態は良好なものでなかった。我々の先輩の練習は朝倉の練兵場まで出かけたことその苦労が偲べれます。在校中は池上策実先生の指導を受けましたが校務多忙で先輩の指導、選手同志で研究しながらの練習を続け、毎年夏休み等には短期間外部の指導を受ける機会もあり、大毎の内海氏松本氏とか日大、立命の選手が思い出されます。

一年先輩の塩田猪年男氏は在校中も強肩であり卒業後も野球を続けていましたが何時の頃か名古屋の金鯱セネターズで投手として活躍したこともありました。

最近の母校野球部員は多く良い監督コーチに恵まれておりますので今後とも基本を大切に、技術、精神面の向上を期待しております。



(思い出の机)



(応援歌)
一、黒潮高鳴る南國に
池に潜める蛟龍の
二、嗚呼曉鐘は鳴りひびき
強き響きを傳へつゝ
三、勝利の白馬に鞭打ちて
敵陣目がけて進み行く
四、紫匂ふローレルの
一度目覚めてはばたけば
五、わき立つ血潮むねにしめ
真白きラインの其の上に

秋は再び廻り来て
雲をよ待てる將雨か
雄津原頭は股々と
眠れる獅子を醒すなり
意勢の弓矢を背に負ひ
わが北門のチャンピオン
葉陸によりし美鳥が
彼の大空に雄姿あり
躍る腕を抑へつゝ
輝く功を立てん哉

1931年・昭和6年

1. 23 第5小学校下婦人有志20名、実習工場等見学。
2. 4 校長室に盗賊侵入、当直の筒井先生捕え警官に渡す。
2. 19 体育協会主催スポーツ映写活動会を講堂で開催、男女各中等学校生徒来観。
3. 9 第15回卒業式 機械科 34名、電気科 32名、応用化学科 15名、技術員養成所 3名。
3. 27 第1回関西中等学校硬式テニス大会ベスト8進出(井本)。
3. 30 本校工場員のため私立青年訓練所を開くこととなり関係者列席し開所式挙行。
5. 4 開校記念日、創立20周年記念式、前校長、竹内明太郎胸像除幕式挙行。
5. 7 5学年、県外修学旅行に出発。
5. 15 4学年は安芸室戸方面、3学年は本山町土居方面、2学年は越知町方面、1学年は須崎宇佐方面に修学旅行。
5. 30 同工会・校友会主催、ロビンソンクルーソー外2編の活動写真会開催。
5. 31 中等学校庭球大会を校庭で開催。
6. 15 大毎主催米国行相撲選手予選会、本校相撲場で開催。
6. 26 3学年以下の生徒、連隊で野外教練実施。
7. 16 山本忠興工学博士講堂で「修養団」、「テレビジョン」に関する講演を行う。
7. 18 4・5学年、長岡郡三里村海浜で露営教練実施。
8. 1 全国中等学校野球大会、県代表となり四国大会出場、撫養中と対戦、13:3敗(松山)。
全国中等学校武徳大会、剣道・柔道出場。
8. 23 第5回西部中等学校水上競技大会出場。
~24 自由型200m2位、800m3位(杉本)、800mリレー優勝、団体4位。
8. 26 高知庭球連盟主催夏季庭球リーグ戦、2位。
9. 19 第9回県下中等学校男子連合武道大会。
9. 20 県下男子中等学校バスケットボール大会、2位。
9. 30 第9回中等学校連合体育大会。
庭球優勝、バスケット2位、野球2位、水泳平泳200m優勝(久保)。
10. 2 5学年、朝倉射撃場で射撃練習。
10. 16 講堂で第2回音楽会、職員生徒の演奏で有意義に終了。
10. 31 高知公園北広場で校内運動会開催。
11. 2 同窓会役員協議会、15日同工会役員協議会開催。
11. 22 創立20周年記念事業の工場公開。初日は好天に恵まれ入場者6,776名、2日目は3,414名の入場者。
~23
11. 25 香長平野で県下中等学校連合演習実施、4・5年生参加。
11. 27 松山高等学校主催第2回近県バスケットボール大会に出場。
12. 5 高知公園で満州派遣軍人武運長久祈願祭、各級長、副級長参列。
12. 16 機械科工場輔祭行う。
12. 27 4学年以上本日より3日間兵営宿泊訓練実施。

県内 国内外関係

6. 1 県立海南中学校に県立城北中学校を合併(この合併をめぐって県下教育界に空前の大紛争おこる)。
※ 海南中学校、山内教諭ら龍河洞探検。
1. 10 中学校令施行規則改正(柔道を必修)。
9. 18 関東軍軍事行動を起こす。19日奉天占領(満州事変)
12. 13 金輸出再禁止。
※ 侍ニッポン、酒は涙か溜息か、丘を越えて



(玄関左側に建立された竹内明太郎先生胸像)

高知縣立高知工業學校二十周年記念式 竹内明太郎先生胸像除幕式

昭和六年五月四日

本日ハ本校創立二十周年ニ當ルヲ以テ其記念式ヲ舉行シ記念事業トシテ卒業生在校中等ノ

手ニ依テ營マレタル、前校長竹内明太郎先生胸像除幕式ヲ併セテ行フコト、ナリ、縣長官閣下ヲ始メ各高等官各官衙長官縣市會議員各中小學校長各會社銀行重役市内各名士等九十餘名ノ來臨ヲ忝ウシ、午前十時ヨリ除幕式場ニ參列シ竹内強一郎先生ノ手ニヨツテ除幕ヲ行ハレ、温手颯爽タル英姿ノ浮ビ出ヅルヤ、一同拍手シバシ感ニウタレ松本先生ノ工事報告アリ、次ニ一同講堂ニ入りテ、二十周年記念式ヲ行ヒ非常ナル盛況ヲ以ツテ終ヲ告ケ、別室ニ入りテ茶菓ノ響應ヲナシ來賓生徒卒業生諸君ヘハ記念品及ヒ土産物ヲ贈リ、一同解散ノ後午後三時ヨリ物故セル本校関係者ノ追悼記念會ヲ開キ、生徒職員一同多數ノ卒業生諸君ノ參列アリテ吉崎校長ノ式辭ニ次キテ多田先生卒業生總代在校生總代ノ追悼ノ辭アリ、遺族總代ノ御挨拶アリテ嚴肅裡ニ式ヲ閉チ、當夜ハカフエーブラシルニ於テ祝宴會ヲ催シ百餘名ノ出席者アリテ卓上感想演說ナドアリテ感興盡クル所ヲ知ラズ盛況ヲ極メタリキ。

水泳部大阪遠征記

第五學年電氣科 杉本 盛 (昭七電卒)

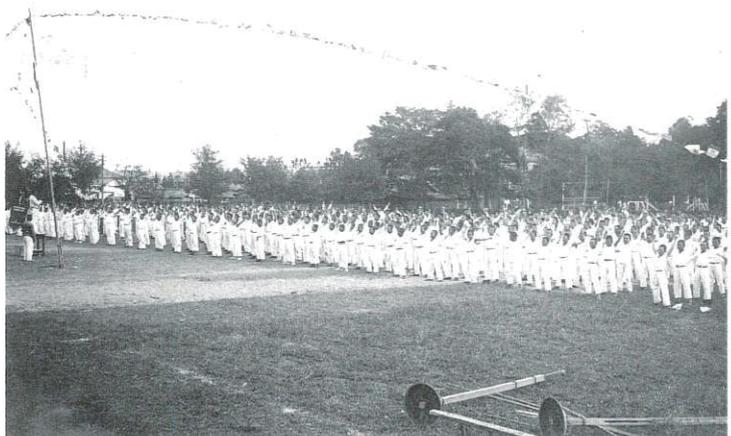
二百米自由型決勝(一時四十分開始)
八百米決勝が終りて二十五分間の休憩の後再び私はこの決勝に出陣した。

- (1) 遊佐(多度津中) 二分十九秒六(新記録)
 - (2) 杉本(高知工業) 二分二十四秒
 - (3) 小野(高知師範) 二分二十四秒二
- 八百米リレー決勝(四時二十分開始)
愈々最後の戦の時来た。我等の最も照をかけた決勝の時来たのだ。オーダーは昨日と同じくトップ有尾スタートをきる。

- 1 高知工業 十分十六秒八
- 2 高知城商 十分十七秒
- 3 修道中學

トップ有尾本日はよく茨中城商修中について第四位を保ちてかへる。二番平井昨日より一層輝かしき戦績を残さんと一点非のなき好フオームにて百米をおはれば、茨中をあらはれ二位城商に迫る。

彼の殊勳は百五十二百米とあらはれた百五十米修道中ターンの約一米半をおきて城商工業ほとんど同時にターンラストスパーク物凄く、城商と並行し修中にせまる。久保これをつぎて躍進を試みしが城商三番は森崎だ、三校はほとんど同時にターン、又々修中三番城商工業をすこしはなす、百米森崎久保同時にターン修中半米先を進む修中ターンの森崎久保ターンのラスト久保よく頑張りしが森崎はぬくあたはずついに二米位はなたる城商修中程んど同時にラストスタート、私が飛んだ時は既に四米位を二者並行ですんでゐた、優勝が目の前にぶらさがつてゐるぞ、私は懸命になつてこれを追つた然し五十米ではその差を縮めることは出来なかつた。五十米のターンの終れば城商修中が二米位の先を進んでゐるのが見え始めた。元気がひとりで湧いて来る。八十米で修中に並行百米ターンの城商ラスト片岡と同時だ。この調子ならば勝てると思つたが懸命に力泳した。百五十米ターンのがつかつてゐる、勝つてゐると言ふ叫びに完全に自我没却の状態に陥入り、愈々ラストにうつたう全く何も見えないどころして勝たねばならない。百七十五米の邊でピッチを落して片岡をみればほとんど並行だ再びピッチをあげてラストヘヴーにつつた。たゞ夢中だ目をつぶり口をかんでそのまゝゴールにタツチした、勝つたといふ皆の者のいふことを聞いた時うれし涙がこぼれてプールを上ることは出来なかつたあゝ我々は遂に優勝せり。(会誌十七号より)



全校生徒のラジオ体操

第二回縣下中等學校籠球大會

五電 西村久米治

秋風再び訪れる頃若血に燃ゆる南海の健兒は、今雄々しくも立つて技を鷹城下に競はんとす。

思へば一年の昔、我等の先輩が實技に於ては充分を利する技術をもちながら、神のいたづらか、長蛇を逸し、唯空しく二等賞に満足しなればならなかつたではないか、來年こそは！此年こそは！と必勝を期せる我等工業を代表せる選手の意氣や物凄し。

我等地上の覇者なるぞ

行く手に高き勝鬨の聲

左に戦績の一端を記してみよう(試合はリーグ戦)

参加校 工業學校 城東中學校 農業學校 師範學校

工業 4 13
12 5 6

合計一六對一八にて惜しくも不覺を取る。

工業 7 5
9 6

工業 7 13
8 21

師範

多年の敵師範に負けるとは實に残念なり。

此所に於て師範三點工業農業城東各校一点で同點となり三校リーグ戦再開す。

◎工業十一：八農業 ◎城東十五：十農業 ◎工業二：十二城東

結局師範一等工業二等となる。

宮地 豊喜先生(体育生理衛生訓育)

宮地先生は自分の受持教科の外相撲部監督も兼ねておられた。僕と同じ鴨田村出身で、僕の父と小学校が同じと聞いていたが、工業學校へ入学するまで、先生にお目にかかることは無かつた。最も御令嬢お二人は私と同じ小学校で一人は一年上、一人は一年下であつた。先生は色んな方の見方を綜合すると話題に事欠かないこと、何事をやっても非常に熱を入れてやられること、高知工業を代表する顔といつても過言ではなかつたと思ふ。(西原真一・昭五電卒)

宮地先生のお宅は神田の東の山手の上の旧家で、訓育を担当せられていたので、一見非常に厳しい先生の様に思われたが、實際は情に厚いやさしい先生で、大正三年高知工業に迎えられ開校間もなくから、昭和十九年退職されるまで、三十年間私達も含めて、誤りなく多くの卒業生を送り出してくれた。陰の恩人であると思つて留めて置ける。

昭和二十七年の春だつたと思ふ。新世界の使者屋橋を通つてゐる時、先生は紺紺の着物にはおかむりをし、荷車に下肥を積んで南に渡つてゐた。一寸坂になつていたので、後から声を掛けずに押し上げると、振り返られて丁寧な礼を言われた。私の名前を覚えてくれていた。原因は私は運動神経が鈍く、脚力が無く、体操の時間跳び箱を跳び越える事が出来ず、常に跳び箱の上に尻餅をついてゐた事であつた様である。

昭和三十年一月二日死去 六十九才 (回想六十年より)

墓所 高知市神田自宅より一〇〇米南方
遺族 高知市神田二一八番地 宮地豊房氏(高本薫明・昭五機卒) (回想六十年より)

1932年・昭和7年

- 1. 4 本校青年訓練生の雑煮会を催し余興等で新年を祝う。
- 1. 18 第44連隊長、本校教練査閲を行い良好との講評を得る。
- 1. 29 満州青年団連盟内地遊説員、講堂で生徒全員に満州事情を宣伝。
- 1. 31 県下男子中等学校サッカー大会、城東中校庭で開催、市商と対戦、3：1勝、農業に3：0敗。
- 2. 26 吉崎校長、橋本同工会長等朝倉連隊の出征兵士に面会。
～27 餞別祝意を表し激励、翌日全校生徒がはりまや町通りに夕方より整列し見送り前途を祝福。
- 3. 9 第16回卒業式 機械科 31名、電気科 23名、応用化学科 14名、技術員養成所 1名。
- 3. 24 入学志願者236名に入学試験と身体検査を実施。144名に入学許可。
- 5. 2 5学年、県外修学旅行に出発。
- 5. 4 開校記念日。
- 5. 10 4学年は七ツ瀧神社、3学年は琴平神社、2学年は鴻ノ森、1学年は鷲尾山に遠足。
- 6. 14 ロス・オリンピックに出場する杉本 盛（昭7電卒）の歓送方法につき校友会部長会開催、18日祝賀会開催。
- 6. 19 教英社主催バスケットボール大会、2位。
- 7. 12 4・5学年、小高坂山で射撃練習実施。
- 7. 24 全国中等学校武徳大会、剣道・柔道出場。
～27 大毎主催全国中等学校庭球大会出場。
- 8. 1 全国中等学校野球大会、県代表権獲得。四国大会出場高松中と対戦、8：3敗（松山）。
- 9. 15 ロス・オリンピックより凱旋の校友杉本盛選手を全校生徒埋立公園で出迎え、10時より講堂で歓迎式挙行（400m自由型5位入賞）。
- 9. 23 第10回県下中等学校競技大会。
庭球2位、バスケット2位、水泳平泳200m優勝（岡崎）、2位（正木）、背泳100m3位（有尾）、800mリレー3位、柔道2位。
- 10. 6 5学年、朝倉射撃場で実弾射撃実施。
- 10. 20 5学年、甫喜山発電所見学。
- 10. 28 4・5学年、朝倉方面で発火演習実施。
- 10. 31 第4回校内運動大会。
- 11. 11 秋季機動演習参加のため4・5学年86名、午前6時
～12 集合出発、12日師団仮設演習終了後帰校。
- 12. 5 高知新聞社主催商工祭大名行列見学。
- 12. 19 4学年、兵営宿泊訓練を2日間実施。

県内 国内外関係

- 3. 22 NHK高知放送局開局。
- 8. 13 ロス・アンゼルス・オリンピック、水泳1,500mで北村久寿雄優勝。
- 11. 17 玉錦三右衛門、32代横綱となる。

- 1. 28 上海事変起こる。
- 3. 1 満州国、建国宣言。
- 4. 29 中華公使、重光葵ら上海で朝鮮人の爆弾投擲で負傷。
- 5. 5 日華停戦、（上海）協定調印。
- 5. 15 陸軍将校、官邸で犬養首相を射殺。
- 7. 30 第10回ロスオリンピックで日本金メダル7個。
- 12. 6 東京日本橋白木屋火災で14名死亡。
※ 銀座の柳、天国に結ぶ恋、島の娘。

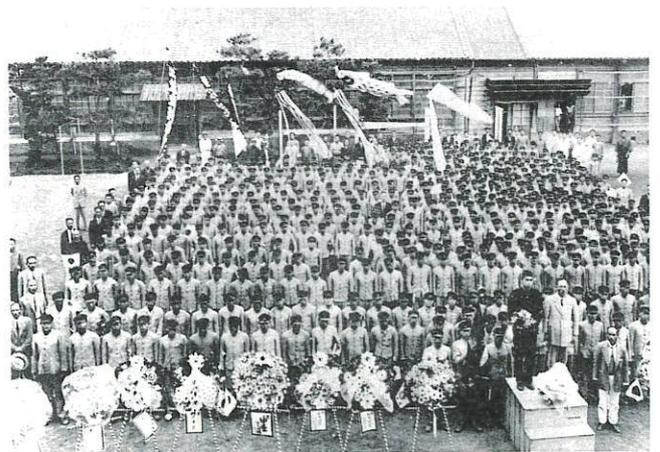
武蔵竹内綱

克 忠 克 孝

（現在校長室に掲額されている竹内綱先生書）

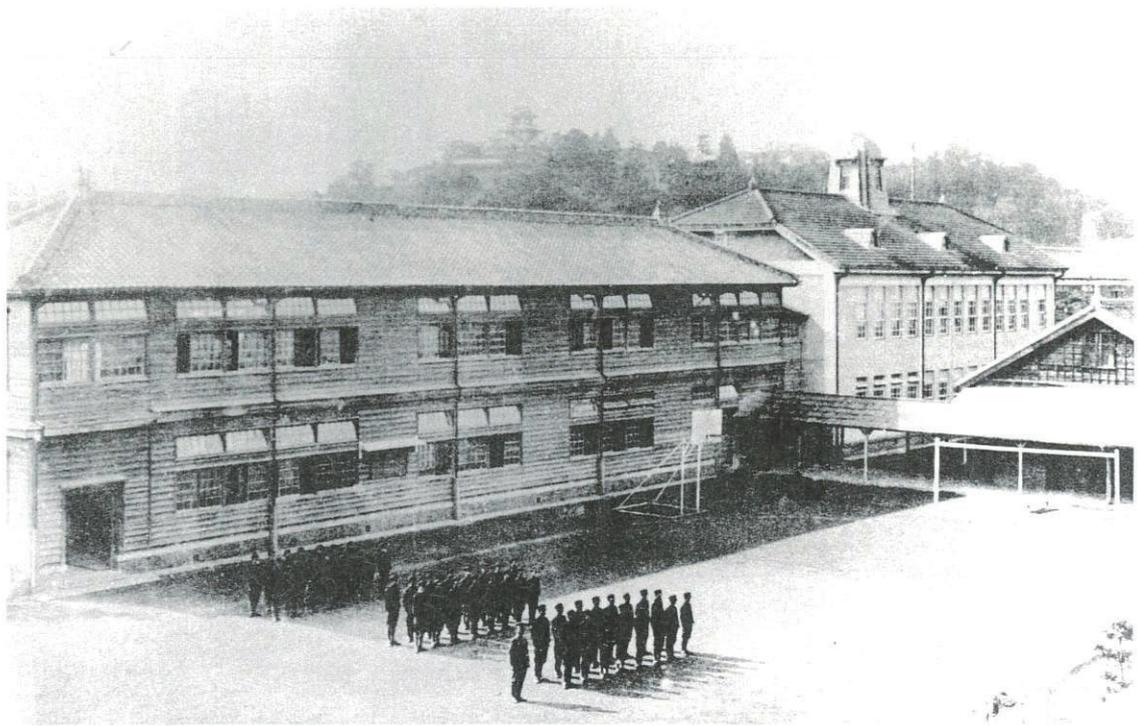
嶺山蒼翠一葉表水南船星有
 方只浩水宵孤枕夢澤忘身在
 古壘州
 王陸雲漢一

精神一到氣峰巒請見艱難
 玉汝成兩重凌來乞始暖春風
 次登滿山櫻
 示：柔佛校諸子南岳白蓮法



ロス・アンゼルスオリンピック水泳競技400m自由型で5位入賞の杉本 盛（昭7電卒）を校庭で歓迎する全校生徒。棧橋より学校までパレードを行い、全校生徒が歓迎する。

これを記念して松村杯（杉本）争奪水泳大会を毎年開催していた。



(運動場側よりみた校舎・後方に高知城)

杉本選手凱旋歸郷の状況

昭和七年九月十五日。我等は此の日を待つ事已久し、今日こそ榮光に輝く我等の戦士杉本盛君が北村、和良兩選手と共に郷土に凱旋するのである。喜びに満ち溢れた我々全員は朝七時半棧橋埋立公園に集合。燦然として過去の歴史を物語る校旗を取り囲み手に手に日章旗をかざして凱旋メーラの入港今や遅し待ちつくす。之より先水泳部員等は同工会先輩の歓迎ランチに便乗して遠く浦戸灣内に出迎へる事になった。此の日浪おだやかに室戸丸は午前七時云ふに早くもその船影を港口に現し鏡の様な水面を渡るが如く進んで来る。うるはしい満船飾。オ、甲板前方紅白の幔幕を背に颯爽として、笑み立つ杉本君！たちまち起る風の様な歓呼の聲、旌旗のためき埋立公園からは我々六百の健児が旗を振り帽子を振つて怒濤の様な萬歳の波。小雨に煙る孕の山々も緑いやまして今日のめでたさを誇るか。

午前八時室戸丸は多数のランチに擁せられて棧橋到着。爆竹の響、花火の音、「凱旋を祝す」の氣球が上る。港内碇泊の各船はいづれも満船飾に妍を競ひ一齊に祝の氣笛を吹き舉げて港頭稀有の盛況である。

やがて杉本君は校長先生や父君と同乗、自動車を先頭に熱狂する數万の群衆旗の波をくゞつて盛な凱旋行進を始めた。

市内到る所「祝凱旋」の裝飾華やかに人々は此の世界的勇士を見んもの自動車に殺到する中を誇らしく進んで行く我等の心は感激に震へた。本町の一角、たぎる様な入混みを分けてツミ車窓に近づいた老婆がある。杉本君の顔をしげしげと眺めてさも嬉し相に云つた「九十三になる年寄りでございます、おめでたうございます」杉本君は感激の眼ざしを以てつ、ましく禮を返した、老婆はホツミした顔付をして「まあ御立派」云つて自動車を見過つてゐた。此のなごやかな情景を計らず傍で見ても私は思はず眼の裏の熱くなるのをさうする事もできなかった。

學校若早々取り敢えず一同校庭に整列して校長先生の挨拶の後杉本君登壇、晴れやかな其の顔を一同更めて仰ぎ見るこぎが出来た。「只今歸りました、色々有り難うございました」こ簡單な内に云ひ知れぬなつかしさを包んだ杉本君の挨拶があつた。

一同肅然として只感激の息吹きのみやがて天にも轟くかみ風の様な萬歳の爆發!!さらびやかな校旗のひらめき。高らかに校歌の合唱。

十時から講堂で執り行はれた歓迎式は莊嚴を極めたものであつた。君ヶ代齊唱に初まり校長先生の祝辞に續いて卒業生先輩の祝辞讃嘆の聲は限りなく最後に謹んで聖壽の万歳を壽ぎ奉り杉本君の爲めにも万歳を三唱して式を閉じた。

席上水泳部先輩藤田氏は「水泳部にてお互ひに水入らずの如才ない仲でありながら上級生の我等に途上で逢ふ時は必ず一問先から正しく敬禮して呉れる杉本君であつた」こはめ讀へた。誠に、本君を評して余りなき至言である。此の眞面目此の立派な人格こそ杉本君が今日の榮冠を捷ち得た最大の原因ではなかつたか。歡送式の席上で長崎水泳部長や武田先生が力強く言はれた「杉本君の今度の好成績に人々は驚いて彗星杉本云つたが同君の眞の素質を知る我々は決して彗星とは思はない今更に驚く可き事ではない」このお言葉も眞にその通りである。我々は、本君の素晴らしい技倆の片鱗を已に已に幾度か見せられてゐた。

午後二時から公園三の丸で縣知事主催の歓迎會が開かれた。之は實に空前の盛儀であつた。參會するもの五千余名。大天幕を埋め盡し緑の芝生に満ち溢れた。國歌合唱の後知事より感謝狀、記念品の贈呈、続いて數多貴顯紳士の祝辞があり各選手の挨拶の後オリムピック凱旋歌を奏して三時閉會となった。

夕刻高知放送局からは各選手の郷里の人々に對する挨拶が放送せられた。明かに澄む杉本君の聲を聞いた人々は皆々此の華やかな凱旋を祝ひ今後の健闘を祈つた事であらう。

夜は同士の會の主催する歓迎の宴が公園の泉水樓で盛大に張られてゐた。森光喜(水泳部顧問) (会誌十八号より)

1933年・昭和8年

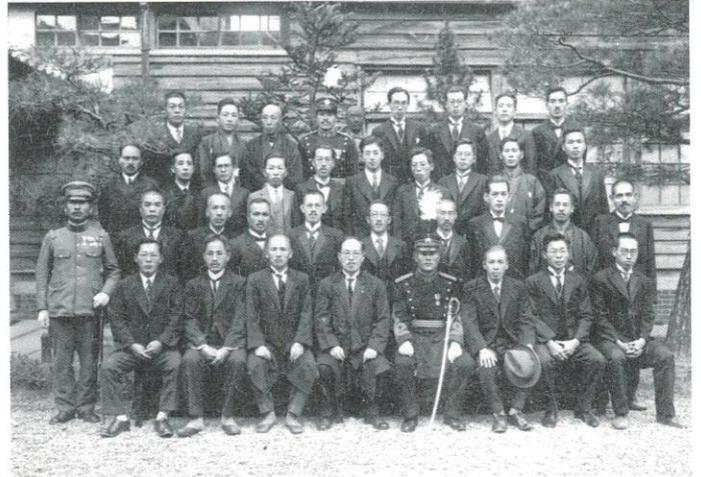
1. 29 サッカー準優勝戦、農業と対戦3：0で惜敗。
3. 9 第17回卒業式 機械科 34名、電気科 23名、応用化学科 14名、土木科 14名、建築科 12名、技術員養成所 4名。
3. 17 4学年以下、鷲尾山に行軍。
3. 24 入学志願者271名に入学試問及び身体検査実施、155名に入学許可。
4. 29 春季中等学校野球大会、海南戦19：3勝、城商戦16：15勝。
5. 1 5学年、県外修学旅行出発。
5. 4 開校記念日。
5. 9 4学年は上八川、3学年は森、2学年は越知、1学年は宇佐にそれぞれ1泊旅行。不参加生は種崎長浜に遠足。
5. 27 海軍記念日、3学年以上城東中学校講堂で講話を聞く。午後1時より男子中等学校生徒4,000名、連合体操実施。
5. 31 初代校長、吉崎七次郎退職。
6. 5 松本政良、第2代校長となる。
6. 7 午後1時より吉崎前校長の送別式挙行、同窓会員、職員多数参集。
7. 14 4・5学年、仁井田種崎海浜で2日間演習実施。
7. 28 全国中等学校野球大会、県予選2位決定戦で城東と対戦 10：5敗。
9. 16 第11回県下中等学校競技大会。
~17 庭球2位、バスケット3位、柔道4位、水泳団体2位、平泳200m優勝(岡崎)、自由型400m2位(成岡)、800m3位(成岡)、800mリレー3位。陸上団体3位、砲丸投優勝(橋本)、やり投3位(佐竹)、円盤投2位(西本)。
9. 26 校内、野球、バスケット、庭球等競技会開催。
10. 23 前校長、吉崎七次郎、郷里の中津市に帰郷のため午前10時52分高知駅発の汽車で離高。
10. 31 第5回校内陸上運動会。
11. 5 市公設グラウンド竣工、記念野球試合、日新商業と対戦6：1敗。
11. 7 市公設グラウンド開設式、男子中等学校体操競技会。
11. 16 5学年、朝倉連隊射撃場で射撃練習実施。
11. 19 四国中等学校選抜野球大会県予選、城商戦11：0勝、城東戦12：3勝、市商戦5：4勝、県代表権獲得。
~25 県下中等学校連合野外演習、知事統監の下に実施。
11. 24 同工会総会開催。
12. 6

県内 国内外関係

2. 21 龍河洞を天然記念物に指定。
6. 10 高知市立運動場竣工。
2. 20 小林多喜二、検挙され虐殺。
3. 3 三陸地方大地震、大津波死者1,533名。
3. 27 日本国際連盟脱退。
3. 29 米穀統制法公布、11月1日施行。
6. 19 東海道線、丹那トンネル貫通。
11. 8 生糸500円台に暴落、蚕糸恐慌深刻化。
※ サークスの唄、19の春、天竜下れば。



第2代校長
松本政良
昭和8年~昭和14年



(職員一同)

吉崎先生の功績の概要

- 一、爾來前校長竹内綱、全明太郎兩先生の絶大なる信頼に幾多の艱難を排し良く創立の精神に立脚し一意校運の隆昌發展に努力し、學校の教育大方針を確立せられ、その經營宜敷を得て特色ある校風を作らる。
- 一、大正十二年縣移管後當局の信頼を受けて逐年科の増設、校舎、工場の増築、校地の擴張、内容の充實を計り現在、機械、電氣、應用化學、土木、建築の五科完成され生徒定員七百名、卒業生二千餘名に達し校運益々隆昌を加へ學校の基礎磐石の如く、今や高知工業の名縣の内外に轟き、卒業生の成績は極めて良好にして全國の會社工場等に活躍しつゝあり、是等同窓生は皆先生の偉大なる人格の感化を受け一致團結先生を敬慕するこゝろ慈父の如く眞に一家族の如し。本校は未だ嘗て不祥事件ありたるを聞かざるは是が爲なり。先生は創立以來二十二年、前後合せて三十七年間殆ど全生涯を教育に傾倒さる。大正十一年私立學校當時攝政宮殿下の行啓を仰ぎ、先年觀禮御會に召され又多年教育の爲功績顯著なる思召に依り叙勲の御沙汰を拜するなき度々の光榮に浴し實に全國に於ける有数の工業學校長にして洵に本縣工業教育の大功勞者なり。
- 一、尙今後學校の爲本縣工業教育の爲先生に待つもの多大なる折昭和八年五月三十一日を以て勇退せられ、同十月廿三日縣地を去られしは學校に關係あること無きことに拘らず痛惜に堪へざる次第なり。
- 一、卒業生に於て先生の御功績、御高德を永久に追慕し報恩感謝の微意を捧げんとして種々御願ひせらるも御辭退せられたるを以て止むなく記念事業として吉崎記念圖書館建設の計劃あり子弟の情濃なるを見る。
- 一、先生は精神修養に最も重きを置かれ、大正の初年より禪道に志し、故大德寺派管長松雲室、前妙心寺派管長清竹軒老師に師事して已事究明にいそまれ、人格愈々高く、徳望益々加はり實に土佐禪界の重鎮なりき、今回市内井口に宏壯なる禪宗土佐護國會専門道場の新設せられたるは先生に負ふこゝろ多大なるものあり。今や此の人を失ふ。惜むべき哉。

(会誌十九号より)

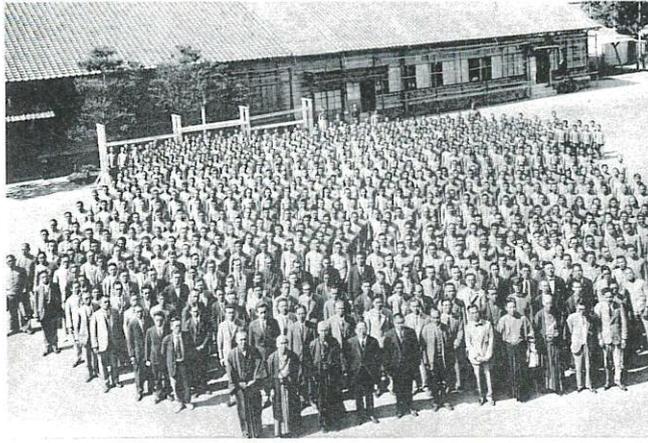
前工業校長

吉崎氏祖道宴

愈廿三日出發

前高知縣立高知工業學校長吉崎七次郎氏の祖道宴は二十日午後六時半から得月樓中店に於て開會したが來會者は工業學校職員をはじめ同窓會員、中等學校職員、教育關係者、護國會員その他一般の知友ら百二十名、發起人を代表して縣教育會長中島和三氏開會の挨拶を述べこれに對し吉崎氏は謙遜にして莊重なる句調をもつて謝辭に併せて「身は大分の地にあるも心は常に土佐の天地に存す」と述べ會衆に非常の感銘を與へ、それより開宴、余興に二、三の舞踊あり吉崎氏は教へ子のため酒杯の包圍攻撃を受け満悦の裡に主客歡を盡して八時半ごろ散會したるは吉崎氏は明二十三日午前十時五十二分高知驛發の上り列車にて一先づ神戸に出で二令息の許に暫らく滞在し郷里大分縣中津市に歸省するこ

(高知新聞)



6月7日午後1時より送別式、本校職員、生徒の外學校關係者各位、卒業生諸君の參列者60余名、終了後校庭に於て一同記念撮影を行う。

送吉崎校長辭職歸郷

高知工業學校 晨風 岡林九敏

其一

誘掖群髦二十年。出爰多士悉英賢。
果然名遂功成日。高臥青山好學仙。

其二

教育英才二十年。彬々文質認多賢。
一朝頓悟掛冠去。歸臥安禪意廓然。

恩師吉崎先生を追慕す

東京市蒲田區小林町三二八

磯二卒 岡崎保吉

母校の校友會誌も號を重ねるこゝ漸く十九、今回は吾等が慈父に仰ぎ慕慕措く能はざりし吉崎前校長先生御引退の記念號として、花々しく御發刊の由、之を先生に捧ぐるの意味に於ての壓巻たらしめられんこゝ切望に堪へざる所です。願みれば郷黨の大先輩故竹内兩先生の、高遠の御理想、崇高の御精神により設立せられた由緒ある母校に、初代の校長として御就任、爾來今日に至る二十有二星霜、實に此の間一日の如く、此の野望なく微塵の虚飾なく、飽く迄大先生の御眞意を體して、ひたむきに母校の向上發展に銳意之れ努められた先生今日の、突如の御引退は吾等の等しく最も意外せし處です。而も謙讓寡黙、自ら持するこゝ最も堅き先生の御熱慮の結果は申せ、吾等はひそかにその御心事を忖度して誠に感慨の無量なるものがあります。

第一に私が最大の感銘は、殆んど絶對的に申上げてよい先生の御健康いふ點であつた。

恐らく自分の窺ひ知る範圍に於て御病氣にて御休みになられた記憶がない。之れは自分が在學中及び卒業後二ヶ年の學校勤務中に於ての短かい経験ではあるが、爾後十數年、毎學校務を以て御上京の際、或は御宿舎に於て、又或は桂工會の會合に於て、先生の御聲咳に接せし際も、何時も乍らにお變りなきその御健康、私が常に同窓に語り合ふ所であつた。

而も年を経て益々豐饒、而して年と共に自ら加はる御風格ミ、その御固熟さ、只々敬慕の念のいや増し行くものがあつた。それは全く文字通りの慈父に接するこゝ一語に盡きてゐる。

吾等は海の子、南海の母校に毎夏水泳が課せられてゐるこゝは變りはないと思ふ。

大正三四年の盛夏であつたと思ふ、潮江の埋立棧橋附近で水泳の試験があつた。吾等若人ミ雖も數時間の長時間泳には相當の疲勞を覺えたものである。此の間終始、先生は吾等と共に游泳せられて自ら體育の範を示されたこゝは當時の會誌へ同窓中屋晴氣君が得意の美文で游泳記中に稱へ申上げた所に明らかであらう。以て先生御健康の一面を窺ひ得やうと思ふ。

最後に一つ、先生のかくれたる半面について御披露申上げてみよう。願みれば今より十餘年前、吾が桂工會の大會があつたが、當時は未だ吾が會員でも勿論現在の如き多數ではなかつたが、それだけにお互ひに親しみ、且つ頼り合ふこゝいつた念に燃えて出席率も一〇〇%、今東京にゐられる豊田寶先生なども喜んで御參會、寔漸くにして、吾等士佐人同志の會合でなくば見られぬヨサコイのコーラス、箸奉の熱戦と思ふこゝ四回の眞城君が一人二役の即席貫一お宮を蝙蝠、立等の使ひ分けて身振り身真似よろしく鮮かによつてのける、満場はもう爆笑の増場だ。これが終るや吉崎先生がつま立ちあがられた、会場肅然一瞬、何が出るかと思ひきや、唯か「鞭聲轟々……」か何かをおやりになられた。忽ち起る拍手の雨、感激の嵐だ。

平常謹嚴の一面のみを知る吾等は、茲に初めて、興一度至らんか劍舞の隠し藝も出づるこゝいふ先生の床しき半面を窺ふこゝが出来た。而して得たるものは何か、師弟の渾然融和、是こそ得難い本大會の大收穫であつたのです。屢々當年を回顧して微笑の禁じ得ないものがあります。

傳へ聞くが如くば先生には御引退後やが大分へ御歸郷遊ばさる、こゝいふが、遠隔の地にゐる尚且つ先生の、吾等が郷土を離れらる、こゝに無限の衷情を持つ。此の心情こそは恩師を思慕する吾等子弟の眞の魂の叫びでなくて何であらう。願はくば吉崎先生よ、吾等の微力は遂に先生をして未だ尙早思はる、今日に此事あるに至らした無形の罪を御寛恕下され、御歸郷後雖も是非々々高知工業の發展に御援助下され吾等子弟に御教導を給はらんこゝを。

而して私の確信する先生の絶對御健康の上に輝きあらんこゝを祈り上げます。

(會誌十九号より)

1934年・昭和9年

1. 3 四国中等学校選抜野球大会、徳島商業戦9A：7勝、
～4 2回戦、松山商業戦5：4敗。
 1. 17 坂本連隊長、本校生徒訓練査閲を行う。
 1. 22 校内武道大会、寒気強く氷点下4度3分。
 3. 9 第18回卒業式 機械科 25名、電気科 26名、応用
化学科 17名、土木科 13名、建築科 17名、技術
員養成所 4名。
 3. 15 4学年以上仁井田方面に行軍。
 3. 24 入学志願者276名に入学考査及び身体検査実施し、
合格者145名。
 4. 23 5学年、県外修学旅行に出発。
 5. 1 4学年は大柵、3学年は須崎、2学年は越知、1学
年は宇佐にそれぞれ一泊旅行実施、残留組は龍河洞
見学。
 5. 4 開校記念日。
 5. 26 市内中等学校合同体操大会を高知高等学校で開催。
 7. 1 公園グラウンドで故中村策實教諭の追悼野球試合挙行。
 7. 16 4・5学年、露營行軍実施、翌朝帰校。
 7. 19 弓道、柔道の道場開きを行う。
 7. 22 全国中等学校野球大会県予選。
～27 安芸中17：1勝、城東11：10勝、市商2：7敗、
城商16：1勝、決勝戦、城商に9：8で勝、県代表
権獲得。
 8. 1 全国中等学校野球大会四国予選、1回戦、松山中10：
～2 9勝、2回戦、高松中9：0敗。
 9. 7 相撲、庭球、バスケット、弓道の校内大会開催。
 9. 22 第12回県下男子中等学校体育大会。
～26 庭球優勝、柔道3位、水泳団体3位。
 10. 11 5学年、朝倉射撃場で射撃訓練実施。
 10. 30 第6回校内陸上運動会開催。
 12. 1 実業教育50周年、記念事業として工場開放、坂間知
～3 事も視察、3日は市小学生に特別開放。
 12. 5 学校開放に関し生徒に感想文を書かし11時30分まで
生徒の慰安会を行う。
- ※ 卒業生の寄贈で新校旗作成（現同窓会資料室にある
旧校旗）

県内 国内外関係

2. 7 県立図書館を中央図書館と改称。
 9. 21 室戸台風、奈半利町に上陸、安芸郡を中心に死者行
方不明者122名、（最低気圧911.6m/b、関西でも被
害甚大、死者3,036名）。
 3. 1 満州国帝政実施。
文部省、国号の呼称を「ニッポン」と定める。
 3. 21 函館市で大火、焼失家屋2,300戸。
 5. 30 東郷平八郎、死去（国葬）。
 8. 2 ヒットラー、ドイツ統一なる。
 10. 20 実業教育50周年記念式典を日比谷公会堂で開催。
 11. 17 湯川秀樹、中間子論を発表。
 12. 19 ワシントン条約廃棄を米国に通告。
 12. 26 職業野球団、大日本東京野球倶楽部設立。
- ※ 赤城の子守唄、国境の町、ダイナ



（弓道の道場開き）

工業学校の 盛な工場開放

第一日は一万人の入場

高知工業学校の實業教育五十周年記念工場開放第一日たる一日は折柄の好晴に恵まれて來會者は豫想以上の多數にのぼり同校未曾有の盛況を呈し締切時刻の午後四時に至るも人足は断えず午後五時過ぎに至つて漸く閉鎖するを得たが遂に總數一萬名を突破する程であり學校當局は非常に満足してゐる、製作品廉賣もその廉價と精巧なのが人氣をよんで飛ぶ様な賣行を呈した、開放はいよ／＼今日限り午前九時から午後四時までであるが第一日以上以上の盛況をみせるであらう。（高知新聞）

小學生の爲め 工場を開放

けふの工業學校

一、二兩日に行はれた縣立工業学校の工場開放は非常な盛況にて豫想以上の入場者あり二日間を通じて二萬四千餘人に達し所期の目的を達した。さて學校當局は勿論出品商人も大喜びである、特に學校製作に係る機械科、應用化學科の製品は全部賣切れとなり中にも建築科の木工家具類は廉價に堅牢な意匠の妙味まで好評を博し八百餘點の製品は殆ど賣切れ新規に注文を受けたものも二百餘件に上つた、同校プリント班の賣演も非常な好評にて新たに數百點の印刷の注文を受けた、なほ今三日特に市内小學校のため工場の備付をそのまゝ、にして希望の學校に對しては小學生に理解の出来るやうに説明の勞を執るはずで成るべく多數の參觀を希望する。（高知新聞）

人造人間 機械科の工場

工場へミ入るミ第一は機械工場で入口には機械科生徒が苦心の製作にかゝる人造人間が置かれてある、グロテスクな形ミ奇怪な動作で怪聲を發したり口演したりするので恐らく當日の人気者ミなるだらう、次は相對速度應用の「走れミも動かない自動車」である赤道上を地球の自轉の周速ミ同じ時速一六七〇軒で西へ西へミ募進する自動車がある、この位置にミまみつてゐるのが自慢である「視覺の妙」は活動寫眞の原理を説明するものである、この間學生の工作機械の實習状態をみて鑄物の實演ミその作品の廉賣がある、「空ミ陸ミ水」は各種交通機關の精巧なる模型「風洞による空氣抵抗比較實驗」では今流行の流線形の抵抗の少いのが試験されてゐる、次は生徒が世界に一つしかないミ自慢してゐる「世界一の變色盤」で色の配合の利用で廻轉盤の模様が無數に變化するのは全く不思議である「飛行機操縦練習機」は自由に練習してもよいミのこミであり「機械龜」は大きな龜に乗るミ思つた方向に動くので子供達の大喝采を博するであらう、その他同校製作のガソリン・エンジンの試運轉もしてをりガソリン・モーター附の見事な新調の小舟もある機械科生徒の作つた装甲自動車は勇ましく校庭に活動してゐる

電磁曲藝の珍趣向をこらす電氣工場

次の電氣科工場には「燈火の變遷」「金魚スクイ」「廻轉磁場」鏡利用の「蜘蛛人間」「オシログラフ」等參考ミなるものが多い中にも電磁曲藝の珍趣向は面白くてきてゐる鐵道省から「タブレット」の出品がある、これは單線鐵道の事故防止裝置で今まで一般によく知られてゐないのでくわしく説明してゐる

石鹼の製造 應用化學科

應用化學科工場では石鹼や化粧クリームの製造實演廉賣をしてゐる「化學工業ミ原料の關係」「定性分析説明器」「香水塔」等參考ミなるものが多い大きな日本地圖に全國應用化學科の所在地を電球で表はしたものが人目を惹く、素人寫眞儀があつて電氣寫眞三枚三十錢ですぐ出来るミいふ

木工家具廉賣 土木建築科

土木建築科工場に入るミ古代エジプトのアモンの神殿の復元があり人々を數千年の昔の莊重な建築美術の中にある思ひあらしめる次にはセメント試驗機械、種々の木工機械等をみて外に出るミテントの中に家具類が山積されてある、これ等は皆研究的に作られてゐるので美事なものである、しかも實費

で文字通りの廉賣をするミのこミであるが目下建築科では一般の建築を引き受けて實習してゐるが仲々の好成績である最近には安樂寺大師堂を建築した



(装甲自動車)



(人造人間)



1935年・昭和10年

1. 3 四国中等学校選抜野球大会、宇和島中11：1敗。
1. 24 松井少将一行、本校青年訓練を視察し成績優秀と講評。
1. 27 県下中等学校サッカー大会、2位。
2. 1 校内武道大会実施。
3. 9 第19回卒業式 機械科 36名、電気科 27名、応用化学科 14名、土木科 17名、建築科 18名、技術員養成所 5名。
3. 24 入学志願者296名を6席に分けて入学考査実施。
～25 合格発表(28日)。
4. 1 高知県立高知工業学校に実務学校(青年学校の前身)
～2 を併置、工場見習の入学考査施行、4日に合格発表。
4. 22 5学年、県外修学旅行に出発。
5. 4 開校記念日、実務学校開校記念をかね記念式及び茶話会開催。
5. 27 第3回中等学校連合体操会開催。
5. 31 浦戸湾で本校新造の小艇運転実施。
6. 23 県下中等学校バスケットボール大会、海南中で実施。
6. 26 校内武道大会。
7. 18 第2艦隊第6戦隊、青葉・古鷹・衣笠を浦戸港外に拝観。
7. 26 山岳部、石鎚山・松山方面・剣山方面の登山実施。
9. 3 長野長広、満州事情について本校講堂で生徒に講演。
9. 27 第13回県下中等学校体育大会。
～28 水泳200m自由型2位(成岡)、400m自由型優勝(成岡)、100m背泳3位(安岡)、800mリレー3位、柔道3位。
10. 2 野球、庭球校内大会開催。
10. 4 1学年は七ツ洲、2学年は川口方面、3学年は岡豊山、4学年は十市、5学年は平山発電所に修学旅行。
10. 15 5学年、実砲射撃を朝倉連隊射撃場で実施。
10. 26 5学年、兵営宿泊訓練実施。
10. 31 第7回校内陸上運動会開催。
11. 10 山内神社大祭、職員生徒参拝、相撲、陸上競技、奉納試合に出場。
11. 10 愛冠倶楽部主催、県下軟式庭球選手権大会、優勝。
12. 2 県下中等学校、発火演習に4・5学年参加。
12. 3 拂曉戦を柳原対岸で実施、終了後視閲分列を市グラウンドで挙行。
12. 10 高知県立高知工業実務学校を高知県立高知工業青年学校と改称。

県内 国内外関係

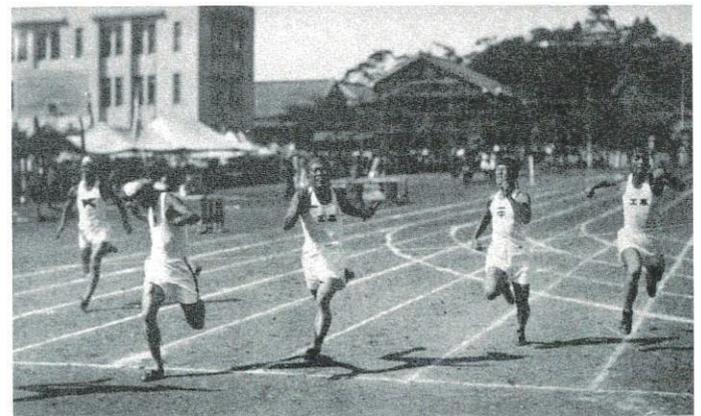
5. 7 室戸岬で中岡慎太郎銅像の除幕式。
 11. 28 国鉄土讃線、高知一高松間全通。
 3. 12 東京一ベルリン、東京一ロンドン間無線電話開通。
 4. 1 青年学校令公布(14年義務制となる)。
 5. 1 第16回メーデー、戦前最後、内務省翌年に禁止通達。
 6. 10 実業教育振興委員会設置。
 10. 1 国勢調査、人口9,769万名(台湾、朝鮮含)。
内地 6,925万名
- ※ 二人は若い、船頭可愛いや、野崎小唄、明治一代女、あなた、なんだい。



(野外軍事教練)



中等学校運動会





◇教師がおらねば◇

昔の思い出

大久保長幸（昭10キ卒）

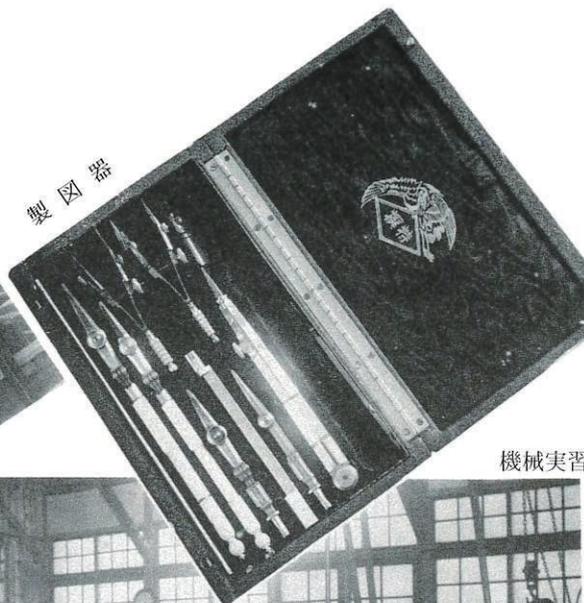
昭和10年3月北門筋の母校を巣立って、もう半世紀余り孫が大学高校にご厄介になる年となりました。同窓会長の岸之上さんから昔の思い出話を、と言う注文書がまいりまして書く事にしました。

昭和5年のロンドン軍縮会議に米国、英国、日本、フランス、イタリーが参加して行われ、米、英が5日本が3の比率で海軍の軍備縮小が実施され、まるで我国は村八分にされた様に思われる。

然し陸軍は関係ないだろうが、陸軍士官学校を出た歩兵少佐、大尉クラスが学校に教官として着任し、軍事教練を担当され私等在校生に、軍隊の教育を実施した科目の名も教練の時間と呼んだ。勿論軍装しての行軍、夜間演習、突撃散兵のあり方など色々でした、教官殿に浅間、福田、前田と三人の方に教育を受けた事でした。

前田教官は、1935年（昭和10年）1936（昭和11年）の事である。これを1935、6年と言って戦争がはじまるので丁度間に合うのだ喜んで居れという譯で本人は出世して階級は上り給料も上がる事であろう。私たちは軍人ではない。下級といえども技術者として社会に役立たねばと思いこの方面に全身全霊を打ち込む決心で軍人で飯を食う心算は毛頭ないのにこの将校も自分だけの事を言っていると思い、いやらしく感じた。昭和11年の徴兵検査には見事甲種合格であった。就職先の現川崎重工業で当時川崎車輛に姫路師団に居た先輩が仕事を生かせるので自動車隊を希望する様にと行って教えてくれた。徴兵検査当日その旨言ったら善通寺師団には自動車隊はない馬部隊だと言う。今さら変更も言えず結局乗馬部隊に3年居た。昭和12年

製図器



機械実習



1月10日善通寺輜重兵第11連隊に入隊の通知があった。入隊を控えた1月の学期はじめの日に北門筋の母校で全校生にお別れの挨拶をせよとの事で母に縫ってもらった新品の着物を着て朝礼の後である松本校長先生のあがる高い段の上でご挨拶したがその時の着物も1回着ただけで神戸の空襲で家財道具と共に焼失した。

お別れの挨拶も何を言ったかあんなに澤山の人の前で話するのは、はじめてで覚えていない。

入隊の年の7月7日蘆溝橋事件が勃発し動員令が降り9月7日揚子江岸に上陸南京攻略戦に参加した。

その後満州守備にも行った。復員後の昭和18年頃より川崎車輛(株)鉄道部機関車製造担当技術者としての勤務中海軍の艦政本部より発注された、輸送用の三段膨張スチームエンジンの製作担当者として召集延期の取扱となり終戦時にはS Lの製造を担当したが戦時型と言って、部品材料共に代用品を使ってあり耐用年数が危ぶまれた然し今はその姿は見えない。この為立派で有名な歴史に残る人物の銅像も皆戦争にかり出され再建されていない銅像も多い。

因に高知市比島の児童公園のC 58335は戦時型ではない。私の在職中に製造された物であるが、当時の国鉄に渡したら何処の機関区に配属されるかわからないものである。

思えば20才から30才位までは赤紙（召集令状）に名誉な事だとは言え怯えながらの10年間であった事も忘れ得ぬ人生であろう。幸に勝ちいくさばかりの戦闘参加で戦死した戦友に申譯ない思いである。

1936年・昭和11年

1. 28 吉崎記念図書館、地鎮祭挙行。
3. 9 第20回 機械科 43名、電気科 24名、応用化学科 21名、土木科 17名、建築科 17名、技術員養成所 6名。
3. 24 入学考査実施、志願者306名、28日に合格者148名発表。講堂に父兄同伴で参集。
4. 14 5学年、県外修学旅行に出発。
4. 21 4学年以下、県内一泊修学旅行実施。
5. 4 開校記念日。
5. 26 吉崎記念図書館落成式挙行、午後4時より祝賀会。
5. 28 県下中等学校連合体操大会。
6. 10 第4小学校下婦人会連本校を参観。
7. 15 生徒全員、野外教練実施、4・5学年は種崎で夜営。
7. 25 全国中等学校野球大会県予選、市商と対戦、3：2惜敗、本年より県予選はトーナメント方式となる。
8. 2 全国中等学校庭球大会（神戸）西日本中等学校庭球大会（奈良）全国中等学校伊勢神宮奉納庭球大会出場。
8. 2 徳島工業学校の職員生徒10名が本校工場見学、講堂階上に宿泊。
8. 24 県下中等学校相撲大会開催。
9. 3 全校生徒、玉島付近で遠泳実施。
9. 20 第14回男子中等学校体育大会、弓道団体優勝。
9. 25 朝倉連隊、銃工兵約20名、機械工場見学。
10. 7 5学年、甫喜ヶ峯、新改発電所見学、4学年以下は野外教練実施。
10. 10 第1回県下中等学校庭球大会、ダブルス優勝。
10. 23 4・5学年、高岡町方面で野外演習実施。
10. 27 4・5学年、朝倉兵営宿泊訓練実施。
10. 30 第8回校内陸上運動会。
10. 学校移転改築の陳情書提出、実業家連が工業学校後援会組織結成。
11. 3 第5回体操祭をプログラムに従い職員生徒実施。
11. 16 四国四県中等学校野球大会県予選始まる。
11. 22 4・5学年、師団仮設兵演習に参加、終了後観兵式に参加、3学年以下は見学。
11. 27 行啓記念日、学校全員鴻ノ森に遠足実施。
11. 29 県下中等学校射撃会、5位。

県内 国内外関係

1. 28 帯屋町に高知警察署落成。
 7. 24 高知市50mプール開き式挙行。
 2. 5 日本職業野球連盟結成式（7チーム）9日に日本初のプロ野球対抗試合。
 2. 26 2.26事件、陸軍将校クーデターを計画、重臣を殺害。東京戒厳令布告。
 3. 4 内務省、メーデー禁止を通告。
 5. 18 阿部定事件おこる。
 8. 11 ベルリンオリンピック、水泳競技で河西省三アナの「前畑がんばれ」の放送有名となる。
 11. 25 日独防共協定締結。
- ※ 忘れちゃいやよ、ああそれなのに、東京ラブソディ、うちの女房に髭がある。



吉崎記念図書館とその内部



吉崎記念図書館建設ノ由來

吉崎先生ノ御退職遊バサルマヤ職員生徒同窓生ノ間二期セズシテ先生鴻恩ノ萬一ニ報イ御盛徳ヲ永遠ニ傳ヘンガ爲メ或ハ御慰勞金、記念品ノ贈呈、銅像建設、安住家屋ノ新築等數々計劃致シマシタガ何レモ先生ノ御承認ヲ得ルコトガ出来マセンデシタ。然シ吾々報恩感謝ノ念禁ズルコト能ハズ最後ニ平素先生ガ其必要ヲ痛感力説サレテ居ツタ圖書館建設コソ先生ノ御意志ニ添フ最適ノ事業デアリ又將來ニ於テ先生ヲ追慕スル好記念物デアルト信ジ先生ニ御願致シマシタ處先生是ハ竹内先生ノ御意志デモアルト申サレテ御快諾ヲ得テ茲ニ圖書館建設事業ヲ進メルコトニ相成リマシタ。（松本校長ノ落成式式辞ヨリ）

吉崎記念図書館建設概況

起工式	昭和十一年一月二十八日
落成式	昭和十一年五月二十六日
建設費	四千九百五拾八圓九拾四錢也



吉崎記念図書館落成祝賀会

高知工業
移轉改築 陳 情 書

高知縣立高知工業學校移轉改築ニ關シ同校七百ノ父兄ヲ代表シ微衷ヲ開陳シテ縣當局ノ御賢慮ヲ仰ガントス。
惟フニ教育ハ國家百年ノ大計ニシテ國家ノ興隆ハ教育ノ振興ニ依ツ所大ナリ。而シテ國運ノ隆昌ハ一ニ産業ノ振興ニ依タザルベカラザルハ實言ヲ要セザル所ニシテ産業ハ國力増進ノ原動力タルノミナラズ國民生活ヲ安定セシムル所以ナルヲ以テ我國産業ノ現勢ト時代ノ要求トニ適應シテ産業ノ振興ニ貢獻シ以テ國家社會ニ奉仕スル眞ニ實力アル人物養成ノタメ今ヤ實業教育振興ハ我國產ノ趨勢ニ鑑ミ最モ吃緊ノ事タリ。就中我國ハ國土狹少天然資源ニ乏シク而モ人口ハ年々百分ハ激増ヲ示シ消費又之ニ伴フ國情ニアリテハ工業ノ發達如何ハ産業隆昌ノ鍵ヲ握ルモノト言フモ敢テ過言ニアラザルベシ。
今ヤ世界ヲ舉ゲテ工業立國ニ向ツテ邁進シツアリ而シテ我國工業ノ進歩發達ハ實ニ世界ノ驚異ニシテ日本製品ハ世界ノ市場ヲ壓シ「躍進工業日本」ヲ謳歌スル今日國民タルモノ過去五十年ニ亘ル實業教育苦難ノ歴史ヲ省ル所ナカルベカラズ。アラユル教育ニ於テ國體ヲ明徴ニシ日本精神ノ真義ヲ闡明シ人格ノ陶冶徳性ノ涵養ニ努ムベキハ勿論ナレ共實業教育ニ於テハ勤勞ヲ愛好シ産業ノ第一線ニ立ツ工業技術ノ中堅人物ヲ養成スベク専門智識技能ヲ習得ト身體ノ強健ハ特ニ重要ナリ。施設ノ如何ハ教育ノ効果ニ至大ノ影響ヲ及ボシ而シテ



(吉崎記念図書館前で職員記念写真)

實業教育ニ於テ實習實驗ハモ重視スベキモノニシテ常ニ内外産業ノ現勢ヲ精査シ又將來ノ發展ノ動向ヲ洞察シ日進月歩ノ科學ト時勢ノ進運ニ後ルルコトナク其ノ設備ノ充實改善ニ留意スル所ナカルベカラズ。幸ニ文部省ニ於テハ今回實業教育ノ重要性ニ鑑ミ全國各地方ニ實業教育振興會ヲ組織セシメ該教育ノ普及徹底改善發達ヲ圖リ以テ是ガ振興ニ遺憾ナキヲ期スルモノノ如ク事宜ニ適スルノ舉トイフベキナリ。
抑モ我高知縣立高知工業學校ハ常ニ吾人ノ崇敬措ク能ハザル本縣出身竹内綱氏ガ我國將來ノ工業ヲ洞察セラレ其ノ要求スル主要ナル技術者ノ養成並ニ郷土愛ニ基キ本縣子弟教育ノ爲巨萬ノ淨財ヲ投ジテ設立セラレタル一私立學校ナリキ明治四十五年ノ春縣公會堂ニ於テ我國ノ多數教育者及ビ名士ヲ招待シ盛大ナル開校式ヲ行ヘリ。爾來多額經費ヲ以テ校地ノ擴張校舍工場ノ増築内容設備ノ充實ニ留意セラレ校運年ト共ニ隆盛ニ赴キ我高知工業學校ノ名聲縣ノ内外ニ普ク入學志願者縣下中等學校中最モ多ク隨ツテ優秀ナル生徒入學セリ、而シテ大正十二年四月當時評價五十萬ト稱セラルル學校一切ヲ舉グ無償ヲ以テ縣ニ移管シ今日ニ至レリ。現在卒業生ヲ出スコト實ニ一千五百餘名卒業生就職ノ成績又他縣ノ工業學校ニ比シ斷然優位ニアリ。縣ノ内外ニ活躍シ學校又ハ地方産業開發ノ爲貢獻スル所尠カラズ縣民タルモノ創立者ニ對シシノ恩義ニ感謝スル所ナカルベカラズ。
創立已ニ二十有五年一部ノ建物ヲ除キ校舍、工場共腐朽甚シク補強工事ヲ施セルモ尙危險ノ狀態ニシテ多數子弟ヲ托スル危懼ノ念ナキ能ハズ既ニ改築ノ必要ヲ痛感スルノミナラズ創立後中途時代ノ要求ニ從ヒ應用化學、土木、建築ノ三科ヲ増設セルタメ現在生徒定員七〇〇名(二〇學級)ニ倍加セリ。隨ツテ教室ノ不足及設備ノ充實ニ伴ヒ工場ハ愈狹隘ヲ告ゲ實習作業室等ニ支障ヲ來シ已ニ購入セル多數機械モ利用セズ死藏ノ止ムナキ狀態ニアリ。
校地總面積僅ニ三千四百餘坪ニシテ七〇〇名ノ生徒ニ對スル運場ニモ足ラズ現在運動場約一千餘坪近時體育ノ強調セララルノ時誠ニ遺憾トスル所ナリ。
本校ハ校舍工場ノ増築止ムテ得ザルモノアルニ加ヘテ武道ガ正課トナリテ十數年ヲ經過セル今日尙道場ヲ有セズ假道場トシテ普通教室ヲ充當セルモ狹隘ニシテ十分ナル稽古ヲ行ヒ得ザルノミナラズ怪俄ヲナスモノ續出シ且劍道ノ如キ隣教室授業ノ妨害トナリテ授業ノ不可能ナラシムルコト殆ンド毎日ナリ。
他ノ學校ハ何レモ完備セル是等ノ施設ヲ見ルニ實業教育ヲ以テ學校教育制度上傍係ナリトスル誤見ノ惰性的ニ今尙存スルハ實業教育ノ主要性ニ鑑ミ遺憾千萬トスル所ナリ。
又昭和九年度文部省補助四、〇〇〇圓ヲ以テ購入セル電氣製作ノ諸機械ノ如キ校友會ヨリ尙一、〇〇〇圓ヲ支出シテ所要機械ヲ整ヘタルニ拘ハラズ据付場所ナキ爲利用シ得ザル狀態ナリ。

前述ノ如ク校舍、工場、武道場、雨天體操場等早急ニ建築ヲ要スルモノ多クアリ是等ヲ現在ノ位置ニ建設センカ運動場僅ニ六〇〇坪トナリ體操教練等ハ勿論ノ他ノ運動遊戲等ハ不可能ナルベシ。高坂女學校舊敷地ヲ供用セルモ弓道場、相撲土俵場、テニスコート、バスケットコート等ヲ設ケ一般運動場トシテハ殆ンド利用シ得ズ。尙プール建設ノ如ク生徒ノ切望ニヨリ早クヨリ之ガ計畫ヲナシ已ニ資金ノ調査ヲナセルモ地所ナキ爲實現ニ至ラズ。プールノ無キハ唯本校ノミ、斯ノ如ク工業學校ノ現狀ハ教育上遺憾ノ點多クアルコトハ實地調査ノ上明白ナリ。之ヲ要スルニ本校ハ直ニ改築ノ必要ヲ痛感スルノミナラズ増築ノ止ムナク唯移轉ノ一途アルノミト思考スルモノナリ。
尙工業校ニ於テハ少數ノ例外ハアレドモ一般子弟ノ家庭ハ中産階級以下ニシテ經濟的ニ恵マレズ同情スベキモノ尠カラズ又卒業生ノ大多數ハ縣外ニ在リテ極メテ地味ナル技術者ナルコトモ御賢察ヲ賜ヒ縣御當局ノ御裁斷ニヨリ父兄一同ノ熱望ヲ充タサルナラバ我々子弟ノ幸福之ニ過グルナク而シテ本縣唯一ノ工業學校ハ光明ニ輝キ工業教育ノ實績愈揚リ且内外ノ産業ノ振興ニ一層貢獻ヲナシ得ベク本具實業教育ノ爲宜敷御證議ノ程委員一同謹シテ陳情候也
昭和十一年十月 日

委員 松山 秀美
全 橋本 杵造
全 熊澤 只次郎



1937年・昭和12年

- 1. 23 五藤光学研究所長、五藤脊三（県出身）の天体に関する講話を聴く。
- 3. 9 第21回卒業式 機械科 37名、電気科 34名、応用化学科 20名、土木科 16名、建築科 16名、技術員養成所 5名。
- 3. 24 入学考査実施（2日間）28日合格発表。
- 4. 2 青年学校の入学試験実施、3日合格発表。
- 4. 11 5学年、131名県外修学旅行に出発。
- 4. 19 4学年以下は全員甲斐海浜に1日旅行実施。
- 4. 27 永野海軍大将の講演を城東中校庭で謹聴、当日軍艦を浦戸湾で拝観。
- 5. 4 開校記念日、記念講演及び西郷南州に関する講演を聞く。
- 6. 校内武道大会、綿貫 誉のパイプハーモニカ吹奏会開催。
- 7. 25 移転改築の寄付金問題につき父兄会を講堂で開催。
- 9. 4 明治神宮体育大会庭球競技県予選並びに県下中学校庭球選手権大会、優勝（田村勝・田村）・（森・松本）組と神宮大会出場（10月26日）。
- 9. 6 朝皇軍将士、本校関係出征軍人の武運長久、国威宣揚祈願祭を市八幡宮に催し全校職員生徒参拝祈願。
- 9. 18 第15回県下中等学校体育大会。
- ~26 庭球優勝、バスケット2位、水泳団体5位、800mリレー3位、100m自由型3位（竹崎）。
- 10. 1 第2部技術員養成科（入学資格中等学校卒業・修学年限1年）を設置、生徒定員720名となる。
- 10. 17 午前6時に職員、生徒が山田八幡宮に国威宣揚、武運長久の祈願を行う。
- 10. 29 第9回校内陸上運動会開催。
- 11. 19 第11回中等学校連合演習を2日間実施。4・5学年参加。
- 11. 18 全国中等学校選抜野球大会県予選、2位。四国大会~12.5の出場権獲得。
- 12. 11 南京陥落。公園・山之戦没者慰霊祭に参列後祝賀提灯行列に参加。

県内 国内外関係

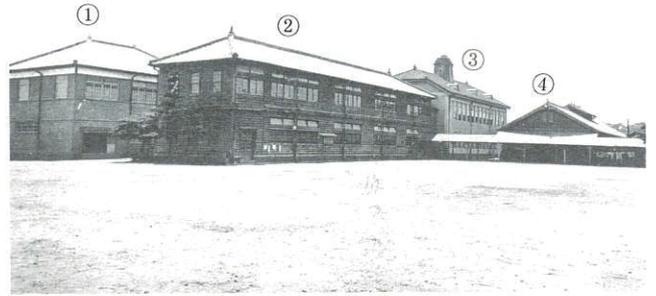
- 3. 22 土讃線全通記念南国土佐大博覧会開催。
 - 5. 26 フランスのドレー世界一周機（早回り機）諸木戸原海岸に不時着。
 - 8. 11 高知城午砲廃止。
 - 2. 11 文化勲章制度、4月26日第1回受章者9名。
 - 4. 1 37年振り郵便料金改定、ハガキ2銭、封書、4銭。
 - 7. 7 蘆溝橋で日中軍衝突（支那事変）、日中戦争の発端。
 - 9. 10 戦時経済体制へ移行。
 - 11. 20 大本営設置。
- ※ 裏町人生、人生の並木道、もしも月給が上ったら、妻恋道中、流転、別れのブルース。

学校ノ要求学

324,506圓75

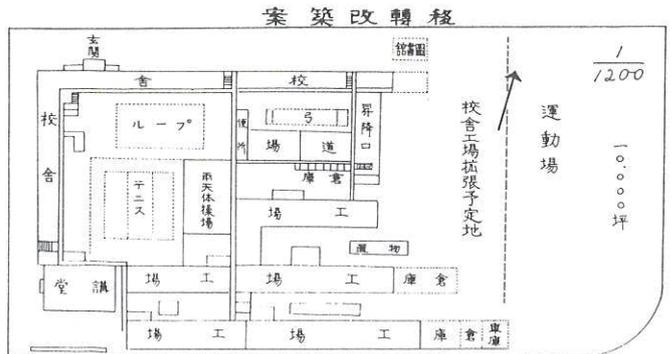
内 譯

1、敷地費	63,336.00	2、校舎建築費	177,980.75
3、工場建築費	65,975.00	4、工場設備費	4,500.00
5、附属工費	7,635.00	6、体育設備費	5,080.00



移転改築をひかえ運動場側よりみた校舎

①②教室 ③講堂 ④機械工場



學校移轉改築

（会報二十三号の巻頭言より）

本校ハ時勢ノ要求ニ順應シ逐年發展擴充校運益々隆昌ニ向ヒツ、アルコトハ御同慶ノ至リナリ。然ルニ現在校舎工場ノ不足殊險ナルハ勿論講堂ノ如キモ全生徒ヲ收容困難ナリ。尙必要ヲ痛感スルモノニ武道場アリ雨天体操場アリ、「プール」アリ、其施設ヲ要スルモノ尠カラザルモ校地僅ニ三、五〇〇坪ニ滿タズ運動場ハ又一、〇〇〇餘坪ニシテ國民体位ノ向上ガ強調セラル、時本校ノ現状ハ教育上誠ニ遺憾トスル所ナリ。

而モ校舎ノ腐朽甚シク一部校舎ハ既ニ危險ニ瀕シ、改築ノ時期ニ在リ。學校ハ將來ノ發展ノ爲、種々研究調査ノ結果廣大ナル地ニ移轉改築スルヲ最モ適當ノ策ト認メ昭和十年其準備ニ着手シ切ニ當局ニ要望スル處アリシガ十一年五月縣當局ノ決意ヲ察シ具體的計畫ヲ進メタリ、而シテ種々ノ障害ヲ懸念シ公表スルコトヲ憚リタリ、幸當局ノ熱誠ナル努力ニヨリ極メテ順調ニ進捗シ、愈々十一年度通常縣會ニ總額二十八萬圓十二年度ヨリ二ヶ年繼續事業トシテ提案サレ關係各位ノ御同情ト御援助ニヨリ議決ヲ見タルハ本校ノ爲同慶ノ至リナリ縣當局並ニ關係各位ニ深甚ノ感謝ノ意ヲ表スル次第ナリ。

然ルニ本年二月學校ハ縣ノ内意ヲ受ケテ將來ノ工業界ノ動向ト時勢ノ趨勢ニ適應シテ適切ナル工業教育ヲナスタメ慎重調査セリ既ニ移轉地ニツキ一般ニ多大ノ關心ヲ持タル、折柄斯ル問題ニハ有勝ノ種々ノ運動額出セルモ、皆是學校ノ至誠ノ逆レルモノニシテ颯風一過、明朗タル碧空ヲ仰グニ至リシハ御同慶ニ堪ヘザルナリ。

又日支ノ關係ハ益々惡化スルニ至リ戰時經濟政策ノ反映ヲ焦慮セシガ遂ニ事變ノ擴大重要性ヲ加フルニ從ヒ本事業ニモ影響シ十二年度ハ何等具體的進捗ヲ見ザルノミナラズ三ヶ年繼續ニ繰リ延ベノ上材料ノ暴騰ニ苦慮スルノミナラズ移轉改築費ノ起債認可ニ難色ヲ見ルニ至リ非常時ニ直面シ止ムヲ得ザルモ本校ノ爲遺憾トスル處ナリ。

本校ニ取り重大ナル此大事業ノ完成ニ伴ヒ各般ニ亘リ施設スベキ事項尠カラズ殊ニ落成ハ本校創立三十周年ト時ヲ同シクシテ愈々本校ハ内外共ニ劃期的面目ヲ一新スベク微力ヲ傾注シ事業ノ遂行ニ邁進セントス。切ニ關係各位ノ御援助ヲ乞フ。

茲ニ經過ノ概略ヲ報告シ多大ノ御高配ヲ蒙リツ、アル父兄並ニ同窓各位ニ厚ク敬意ヲ表スル次第ナリ。

第二部工業技術員養成科設置

近年我國ノ工業界ハ實ニ驚異ノ大躍進ヲナシ技術者ノ要求切ナリ。殊ニ支那事變ニ際シ戰時体制下ニ工業生産力擴充ハ極メテ緊要ニシテ政府ハ非常時國策トシテ全國四十五校ノ工業學校ニ中等學校卒業生ヲ入學資格トスル第二部ヲ併設スルニ至レリ。

本校ハ曩ニ工業青年學校ヲ開設シ、熟練工養成ニ努メ斯界ニ其存在ヲ認メラル、ニ至レルガ更ニ今回右第二部ヲ設置シ關係各位ノ御援助ニ依リ所期ノ成果ヲ收メ以テ我工業界ニ寄與スル處アラントス。

幸ニ優秀ナル入學生徒ヲ選抜スルコトヲ得、工業報國ニ向ツテ邁進スルコトハ本校ノ爲欣快トスル所ナリ尙生徒諸氏ハ夫々出身學校ヲ異ニスルモ現下ノ時局ト自己ノ使命ノ重大ナルヲ認識シ和協一心良ク本校教養ノ趣旨ニ基キ希望ニ燃エツ、明朗ニシテ而モ眞剣ナル學習態度ハ、多大ノ犧牲ヲ拂ヒテ渾身ノ努力ヲ致シツ、アル關係教職員ノ熱心ト相待ツテ必ズキ期待ニ添フベキヲ確信シ感激ニ堪ヘザル處ナリ。

將來同窓校友諸兄共益々本校傳統ノ精神ニ則リ緊密ナル連絡ヲ保チ互ニ相扶ケ相倚リ母校ノ名聲ヲ發揚セラレンコトヲ切望スル次第ナリ。

第二部學科課程

學科目	每週教授時數	摘要
修身	一	國民道德、社會生活ノ要旨
體操	一	
教練	二	
材料及工作法	三	機械材料及機械工作法
應用力學	三	力學、材料強弱學及機構學
電氣工學	二	電氣工學大意
熱機	三	蒸氣汽缸、蒸氣機關、蒸氣タービン、内燃機關
水力學及機械	二	水力學、水力タービン、ポンプ及水壓機械
製圖	一	機械設計法及機械製圖
實習及實驗	一六	木型、鑄物、手仕上鍛工、熔接機械實習及實驗並ニ電氣ノ實驗
計	四四	

備考 實習及實驗ハ休業中モ課スルコトアリテ實際ハ課程表ニ於ケル時數ヨリモ多シ

第二部經費ノ概略

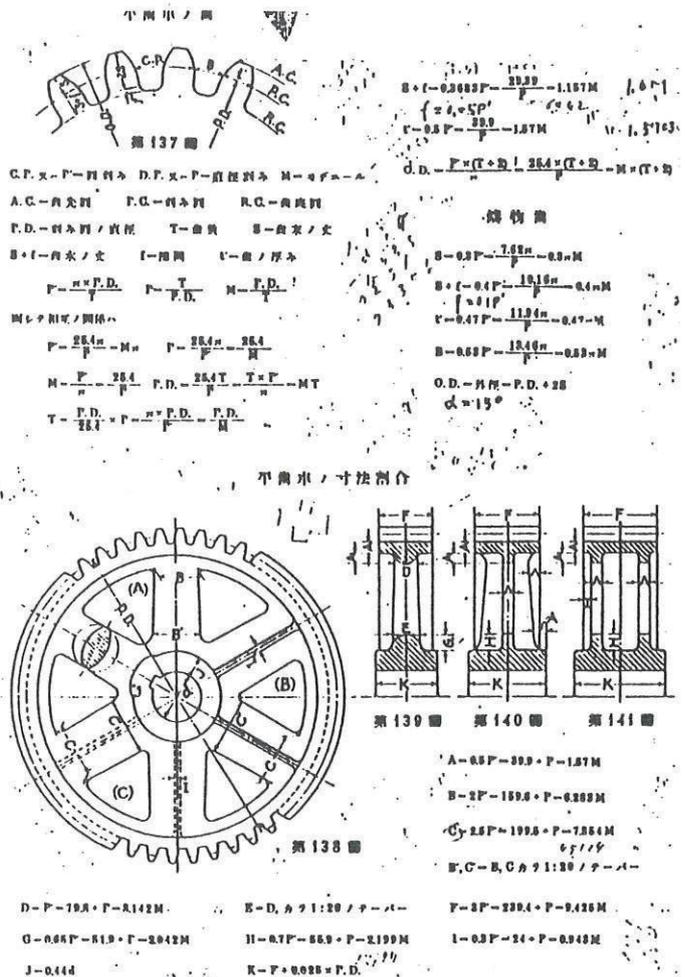
- 六、五二〇圓〇〇 設備總額
 - 内半額 三、二六〇圓〇〇ハ國庫ノ補助
 - 一、〇〇九、〇〇〇 十二年十月ヨリ來年三月迄ノ人件費
 - 五八八、〇〇〇 實習材料費
 - 一〇五、〇〇〇 消耗品費並通信費
- 尙實習製作品質上高四七〇圓〇〇、養成費國庫補助六〇〇圓(生徒一人ニ付毎月金五圓)授業料三六〇圓〇〇ニシテ差引經常縣費支出ハ僅ニ一七二〇圓〇ナリ。

(軍事教練後記念撮影の機械科生徒)



軍事教練は結構きびしかった。授業の方では設計・製図を勉強した事があとの教育にたずさわって大いに役に立った。またバスケットボール部での活動も思い出として残っている。

徳久隆義 (昭12機卒・旧職員)



1938年・昭和13年

- 1. 3 全国中等学校、選抜野球大会、四国予選、高松中と対戦、9：4敗。
- 2. 4 本校青年学校教練、宇野中佐査閲、午後全生徒を5班に分けて道路の清掃作業実施。5学年、土木・建築ははりまや橋通に植樹。
- 2. 5 東京文理科大学依頼の教育テスト実施。
- 3. 9 第22回卒業式 機械科 41名、電気科 27名、応用化学科 22名、土木科 22名、建築科 24名、技術員養成所 5名、第2部機械科 19名。
- 3. 24 入学考査実施（2日間）28日合格者発表。
- 4. 1 グライダー部新設。
- 4. 3 青年学校。入学試験施行、3日に合格者発表。
- 4. 5 第2部機械科、入学試験施行。
- 4. 11 5学年、県外修学旅行に出発。
- 5. 4 開校記念日、全校職員生徒長浜で地曳綱引きを行う。
- 5. 27 市立運動場の体操大会に参加。
- 5. 28 午後より学芸会を開く。
- 7. 21 第9回県下中等学校サッカー大会、2位。
 集団勤労作業開始、市設グラウンド除草整地、連隊招魂社、拡張工事及び営庭整地。
- 7. 23 大島岬招魂社の拡張測量に土木科生徒着手。
- 7. 26 全国中等学校武道大会、京都武徳殿に柔道部出場。
- 7. 29 全日本中等学校庭球選手権大会、3回戦進出。
- 9. 10 集団勤労作業で鏡川沈下橋付近より砂利を校庭に運ぶ。
- 9. 22 第16回県下中等学校体育大会。
 ~23 庭球優勝、柔道3位、バスケット2位、水泳100m背泳3位（奥宮）
- 9. 25 第14回実業学校卒業程度検定試験を本校で実施。
- 10. 12 全校生徒種崎海浜に遠足4・5学年は捕鯨船極洋丸見学。
- 10. 19 靖国神社臨時大祭遙拜式挙行、4・5学年は城東中の慰霊祭に参列。
- 11. 14 査閲官、稲川高知連隊区司令官、青年学校教練査閲。
- 11. 27 行啓記念日鴻ノ森に遠足実施。
- 12. 26 棧橋通新築移転敷地で地鎮祭挙行。

県内 国内外関係

- 1. 24 浦戸港を高知港と改称、4月開港。
- 7. 16 児童生徒の訓育重視につき訓令。
- 12. 4 横綱玉錦、死去。
- 3. 1 衣料切符制始まる。
- 4. 1 国家総動員法公布、5月5日施行。
- 6. 9 集団の勤労作業運動実施につき通牒、勤労働員始まる。
- 7. 5 阪神間に豪雨、死者933名。
- 7. 9 公定価格制度の確立（物品販売価格取締り規則公布）。
- ※ 愛国行進曲、愛染かつら、旅の夜風、麦と兵隊、宵待草、人生劇場。



(新校舎敷地地鎮祭)

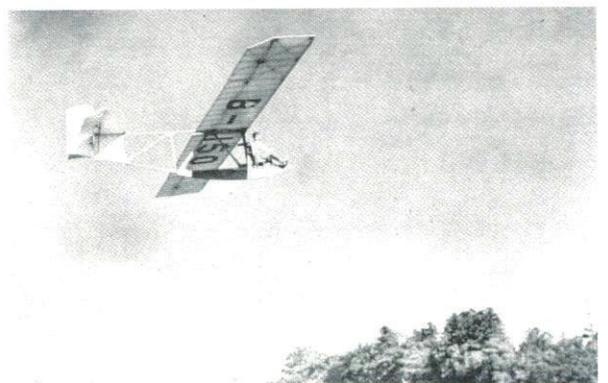
近時航空界ハ飛躍的發展ヲナシ今事變ニ於テ鬼神ヲモ泣カス我空軍ノ活躍ハ如實ニ之ヲ物語リ空ヲ利スルモノハ天下ヲ制ス其ノ絶對的威力恐怖ニ餘リアリ。平時ニ於テモ産業、交通、通信其他アラユル人類文化ノ向上ニ偉大ナル貢獻ヲナシツ、アリ航空ノ整備ノ充實ハ最モ緊要ノ事タリ。

而シテグライダー滑空ハ航空思想ヲ普及セシメ學校體育トシテ青年ノ徳性ヲ涵養シ規律節制アル團體訓練トシテ心身ノ鍛錬ニ最モ適切ナルベキヲ確信シ本校ハ率先シテ之ヲ計畫シ職員生徒數名ヲシテ各地ノ訓練大會講習會等ニ参加セシメ研究スル處アリ。本年度グライダー部ヲ創設シ、製作工場ヲ建設シ、又フライコーヒ機一臺ヲ購入シテ訓練ヲ開始セルガ部員一同ノ熱誠ニ依リ、著々好成績ヲ擧ゲツ、アルコトハ欣快ニ堪ヘザル處ナリ。尙製作ハ二臺分ノ材料ヲ購入シ生徒ノ實習トシテ課シ略完成ヲ告ゲ一兩日中航空官ノ検査ヲ受クルコトナレリ。製作ハ航空機智識ノ修得ノミナラズ共同集團作業トシテ適切ナルノミナラズ、人命ニ關スル眞剣ナル作業ニシテ細心ノ注意ト責任ヲ以テ各自非常ナ熱心ト興味ヲ以テ従事スル態度ニハ教育的効果ノ偉大ナルコトヲ疑ハズ。近ク冬季休業ヲ利用シ、帝國飛行協會主催第二回講習會ガ新居滑空場ニ於テ開催ノ筈ニテグライダー熱ノ熾ガ上ニモ高揚サレツ、アルコトハ我々ノ見地ヨリ邦家ノ爲慶賀ニ堪ヘザル處ナリ。

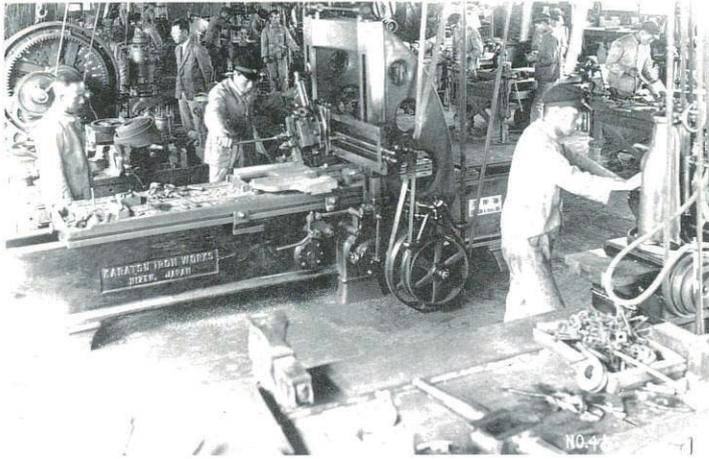
採本校ニグライダー部創設ノ意アルヤ我同志ノ先輩關東製作所寺尾豊氏ハ直チニ賛意ヲ表示ル即チ口繪ニ示セルモノハ全氏寄附ニヨルモノナリ。

グライダー部新設

(滑空練習のプライマリー機) 寺尾 豊寄贈



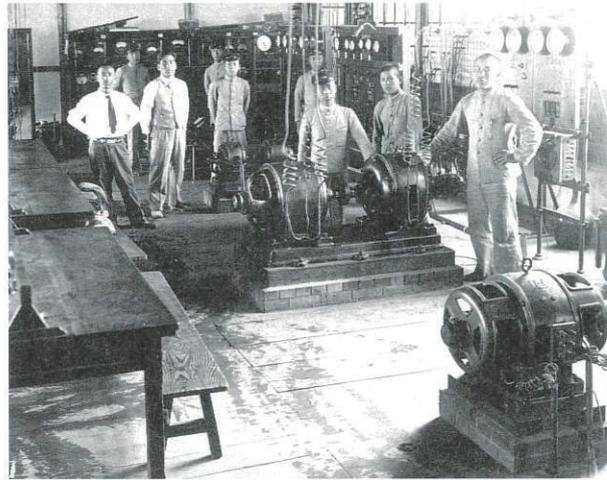
(職員一同)



機械科実習
シカル盤を使って
の切削加工の実習



図書館をバックに
運動場で土木科測量実習



上 電気科実習
下 化学科実習



(製図の授業風景)



建築科の模型製作実習

1939年・昭和14年

1. 5 四国中等学校野球大会、松山中に延長11回、14:13敗。
2. 11 紀元節奉祝の挙式後公園丸ノ内の建国祭列席、終了後市中行進を行い山内神社に武運長久の祈願を行う。
3. 9 第23回卒業式 機械科 40名、電気科 28名、応用化学科 25名、土木科 19名、建築科 18名、技術員養成所 17名、第2部機械科 19名、青年学校 30名、市工芸建 4名。
3. 23 入学考査実施、3日間。27日合格者発表。
3. 24 吾川郡川内村（現吾川郡伊野町大内）学校林植林作業。
~26
3. 26 5学年、県外修学旅行に出発。
4. 1 生徒定員、820名に変更。
第2本科電気科、応用化学科（入学資格高小卒、修業年限2年）を増設、生徒定員、980名。
4. 3 2部、青年学校、入学試験施行。
4. 4 第2本科、入学試験施行。14日合格者発表。
4. 26 第2代校長、松本政良、大分県津久見町立工業学校長に転出。教諭、仙頭 隆校長事務取扱となる。
5. 4 開校記念日、全校職員生徒が浦戸南浦に遠足。
5. 19 御親閲拝受代表職員生徒、13名高知駅出発。
5. 23 校長事務取扱、仙頭 隆逝去、教諭、森本長太郎校長心得となる。
5. 25 校長事務取扱、仙頭 隆の校葬を校庭で挙る。
5. 27 海軍記念日、体操大会に参加（市設運動場）
6. 25 安芸一高知駅間、駅伝競走細雨をついて実施、優勝。
7. 21 県下中等学校サッカー大会、2位。
7. 勤労集団作業はじまる（6日間）、移転先の潮江に鏡川の柳原より砂利運搬。
7. 25 大毎主催全国中等学校サッカー選手権大会、四国予選高松商と対戦。
7. 28 香長平野で応召家族農家手伝作業、30日終了。
8. 13 本校図書館で「八百川長作を語る」座談会開催、26日世界一周飛行を祈願して山田八幡宮参拝。
9. 22 県下中等学校体育大会、バスケット2位。
9. 25 第15回実業学校卒業程度検定試験、本校で1週間実施。
10. 19 八百川長作「昭5機卒」搭乗のニッポン号の台北安着大飛行を祝福して6時より提灯行列。追手門で万才三唱解散。21日東京空港帰着。（注）機関士兼通信士で搭乗。
10. 21 高知工業学校防護団編成、防護訓練実施。
10. 27 県立高知工業学校の移転改築起工式を潮江新校舎敷地で挙る。
10. 28 大阪毎日新聞社主催全国中等学校相撲大会出場。
11. 1 校内運動大会。
11. 明治神宮体育大会、弓道大会個人戦に小笠原・水田、陸上競技大会に溝淵出場。

県内 国内外関係

3. 8 田中光顕伯死去、97才。
 10. 4 郷土236連隊（鯨部隊）南支方面に出征。
 10. 26 中等学校入学者選抜方法審議委員会規程制定。
 3. 27 NHKテレビ試験放送成功。
 4. 12 米穀配給統制法公布（大人1日の消費量、2合3勺）。
 5. 12 ノモンハン事件起こる（日ソ軍衝突）。
 7. 15 国民徴用令施行。
 9. 1 ドイツ軍、ポーランド進撃（第2次大戦始まる）。
 9. 28 中学校の学力検査廃止（内申書、身体検査）。
- ※ 愛馬行進曲、一杯のコーヒーから、上海の花売り娘。



本校工事は建築費並びに移転費321,千余円、土地購入並びに敷地購入並びに整地費48,千円、総計37万余円。

高知縣立高知工業学校校舎改築起工式

同窓會、父兄會、學校後援會、其他諸賢の心から御努力下されし、本校移轉改築工事は昨年十二月二十六日地鎮祭を舉行して以來同窓會の手にて敷地埋立をなし、漸く大部を了し今回第一期校舎建築工事を七萬餘圓で岡山縣野崎組の手で建築する事となり、十月二十七日午後三時より潮江新校舎敷地に於て嚴肅な起工式を舉行し、縣より知事代理其他多數の御臨席を得本校全職員生徒參列のもとに刻高野縣教育課首席屬の開式の辭に次ぎ宮地宮司の厳かな修祓祝詞奏上の儀あり芝教育課長の歛入、知事代理芝教育課長、山本營繕技手、重松野崎組代表、森本校長、井上縣會議員代表、丁野中等學校長代表、橋本同窓會代表、松山後援會會長、水野父兄會代表、成岡一般代表等の玉串奉奠あり。昇神の儀終つて知事式辭（芝教育課長代讀）祝電の披露高野縣屬の閉會の辭あり同五時散會した。

経過報告

吾が同窓多年の懸案であつた母校移轉改築を本格的に運動を始めて以來已に三年、中途に於て或は事變勃發のため阻止せられ、或は幾多の障害に遭遇する等、相次ぐ難關に際會し

て相當の迂餘曲折は有りましたが、愛校の至誠は遂に酬ひられて、敷地一萬坪要求に係る縣費豫算不足額一萬五千圓の支出問題に折衝を重ねる内支那事變に遭遇して物資統制のため建築繰延となり、起債は遷延して遂に許可不安の状態にさへ措かれたのでありますが、敷地買収だけは此機を逸すべからずとなし、萬難を排して地元各位の絶大な御支援のもとに十三年五月着手し、十二月見事に之を完了し同月廿六日地鎮祭を舉行したのであります。

引續き本年正月には敷地費に對して六千圓の縣費追加の承認を得、二月には約十一萬圓の追加豫算を計上して建築を決定することゝなつたのであります。

そして第一期工事として一般校舎を十四年度に、第二期工事として工場を十五年度に完成の豫定であります。右第一期工事を更に二つに分けて、其の一つを岡山縣野崎組との間に請負契約を結び、去る十月廿七日起工式を舉行し、現在基礎工事に着手して居ります。

そして後の一つは十二月中には入札に付することゝなりませう。尙埋立工事は附記の通りを以て同工會に於て請負ひ着々進捗中でありませんが、人夫不足其他のため竣工期日は明年三四月頃迄延期せられる事と御諒承願ひます。

1940年・昭和15年

1. 5 全国中等学校選抜野球大会、県予選で優勝。四国大会出場、松山商と対戦、12：0敗。
1. 15 ニッポン号乗組員、八百川長作（昭5機卒、通信士兼機関士）、午後2時より講堂で生徒全員に世界一周大飛行について講演、校庭で記念撮影、5時30分丸新で同窓会主催、歓迎会開催。
1. 16 高知市高等小学校で八百川長作、世界一周飛行報告講演を行う。
2. 21 校長心得、森本長太郎、第3代校長となる。
3. 9 第24回卒業式 機械科 40名、電気科 26名、応用化学科 21名、土木科 18名、建築科 18名、技術員養成所 10名、第2部機械科 19名、青年学校 15名、市工芸建 11名。
3. 16 教諭、宮地格馬の同窓会葬挙行。
3. 25 入学考査4日間実施、30日合格発表。
4. 1 第2本科機械科を増設、生徒定員1,060名。
5学年、県外修学旅行、高知駅出発（12日間）
4. 2 第2本科、第2部機械科、青年学校入学試験実施。
職員生徒代表護国神社参拝。
5. 4 開校記念日、物故職員・同窓会員の慰霊祭挙行。
5. 6 第2本科機械科入学式挙行。
6. 12 高知県下の傷痍軍人義肢修繕を委託される。
7. 12 朝日新聞社主催、紀元2,600年記念、全国中等学校体力総力大会に溝淵原己、眞鍋秋聲出場（甲子園）。
7. 17 四国一周駅伝競走（21日まで）、溝溝・濱口・千頭出場。
7. 21 勤労奉仕作業はじまる（10日間）、移転先への砂利運搬、市グランド埋立作業。
9. 20 第18回県下中等学校体育大会。
～21 バスケット3位、サッカー3位、弓道個人3位（松本）。
9. 28 航空記念日、種崎に行軍、工兵隊の爆破作業見学。
9. 29 武徳殿で開催の弓道優勝旗獲得大会で団体優勝、個人3位（三谷）。
10. 1 興亜奉公日、各組別に遠足、作業を行う。
10. 13 大政翼賛会三国同盟高知大会に全校職員生徒出席。
10. 25 2,600年記念大会、明治神宮剣道大会に県代表で腰山静雄出場。
11. 1 校内運動大会。

県内 国内外関係

8. 1 郷土部隊第144連隊編成される。
9. 28 県戦時、生徒児童の生活刷新につき訓令。
4. 8 国民体力法公布、17～19才の男子身体検査義務化。
4. 22 生活必需品に切符制採用。
6. 22 修学旅行の制限通牒。
8. 30 文部省、学生、生徒の映画、演芸観覧を土、日、休日に限る旨学校長に厳達。
9. 23 日本軍、北部仏印に進駐。
9. 27 日独伊、3国同盟ベルリンで調印。
10. 12 大政翼賛会発会式。
11. 2 大日本帝国、国民服令公布。
11. 10 紀元2,600年の式典、祝賀行事開始。

※ 湖畔の宿、誰れか故郷を想はざる、目ん無い千鳥。



第3代校長

森本長太郎

昭和15年～昭和24年

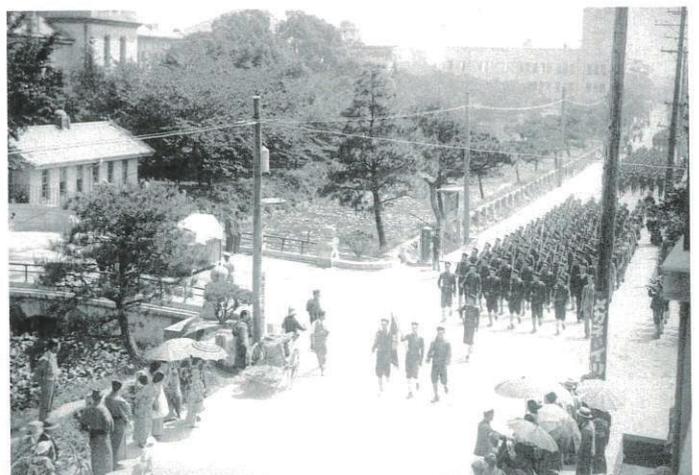
（校長心得昭和14年～昭和15年）



（職員一同）



（グライダー練習の森本校長）



青少年学徒に対する勅語1周年記念日
県庁前で行進、5月22日

弓道部

弓道大會記

〃第一二部〃

九月廿九日！武徳殿に於て行はれたる優勝旗獲得大會には、堂々たる實力を發揮して、遂に我に榮冠獲得に成功しぬ。此の大會には前年先輩の奮闘に依り、優勝して居たので、其の名譽を再舉せんものと我が戰士、悠々迫らず、あせらず、仇敵市商何物ぞとばかりに、善戦せしかば、我が威に恐れをなせしか、仇敵市商、農業、海南何れも頭角我に迫らず、我が戰士堂々と勝を得るに至りぬ。亦個人戦に於ては、本校新人三谷君、海南の勇將改田君と貳位の息詰まる、熱戦を展開し、力闘せしも遂に惜敗すと雖も、堂々参位に入賞せし事は榮譽の二重奏となり、本校全員の喜快とする處となりぬ。其の選士名及戰績を左に記す。(但し、此の會は員數の關係上六射とす)

團體

壹位 工業 十六中
貳位 市商 十二中

参位 農 十一中
女 女 十一中

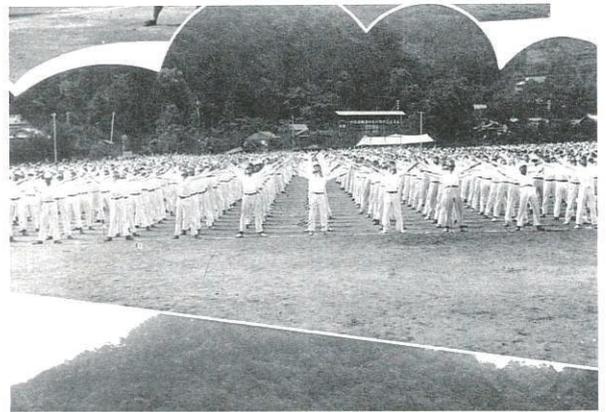
個人入賞者

壹位 牧野博吉(市商)六中
貳位 改田尙(海南)五中
参位 三谷洋海(工業)五中

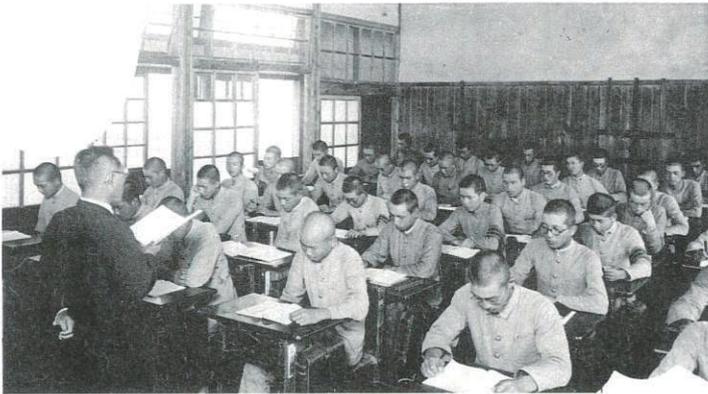
〃終り〃

明治神宮豫選大會記(剣道)

九月二十一日、この日本校より腰山、池川、若松の三君が出場し大いに奮闘されましたが、腰山君は六勝一敗の好成績を以て海南中學の西野門丸の兩君と共に曙れの二千六百年記念大會の出場選手として選ばれました、これは先輩諸兄の念願であつたが本年始めて君がそれを實現することが出来ただ希はくば君のあらん限りの奮闘を乞ふ。



(男女中学校合同体操祭)

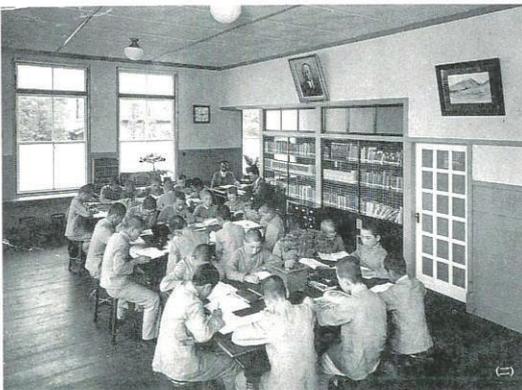


(授業風景)

宮地格馬先生同窓會葬

大正六年三月本校電氣科を卒業し、その後二十餘年の長年月を母校の教員として専念せられ、内外の信望を一身に集められし宮地格馬先生は、昨年七月關東正機株式會社常任監査役に榮轉し、大いに將來を矚目されつゝ、ありしに、不幸病魔の犯す所となる。其の報一度傳はるや新舊の同窓期せずして集ひ、在京者はその病床に、地方在住者は神佛に、平癒を祈願する等、舊師を懷ふ子弟の熱情も遂に空しく、昭和十五年三月五日東京の地に逝去さる。悼惜の情相寄る所同窓會葬の議一決し、依りて三月十六日午後一時母校校庭に同窓會葬を舉行す。此の日葬儀に列する者、遠くは東京桂工會代表寺尾豐氏を始め同會中屋晴幾氏、大阪同窓會長松村幸兵衛氏、松山四國モータース武市勝利氏等々、近くは縣内關係者橋本同工會長、松山後援會長、前田父兄會長、學校職員生徒等一千數百名の臨場を得て嚴肅なる告別式を終了し。式後吾川郡三瀬村なる先塋の地に埋葬す。當日弔電をおくられしもの前校長吉崎先生始め百名を超ゆ。

(図書館内で勉強中)



1941年・昭和16年

- 2. 4 楠瀬大佐の教練査閲、講評良好。
- 3. 9 第25回卒業式 機械科 42名、電気科 27名、応用化学科 22名、土木科 19名、建築科 19名、技術員養成所 5名、第2部機械科 11名、第2本科 電気科 36名、応用化学科 32名、市工芸建 11名、市工芸 19名、市工芸建研 2名。
- 3. 31 第2部機械科廃止、生徒定員1,040名。
- 4. 1 第2本科、建築科を増設、生徒定員1,120名。
- 4. 14 高知工業学校報国団の機構決定、10月指導者決定。
- 5. 4 開校記念日、創立30周年記念式挙行。
- 5. 県外修学旅行団が食中毒（集団赤痢）で大騒動。
- 9. 19 第19回県下中等学校体育大会。
- ~21 弓道優勝、バスケット3位、相撲3位。
- 10. 県下中等学校秋季野球大会、城東中、15：3勝。城東、9：7勝。戦争激化のため各種大会中止となり野球部一時解散。
- 12. 27 第26回卒業式（戦争のため繰り上げ卒業）
機械科 37名、電気科 27名、応用化学科 26名
土木科 21名、建築科 17名。

県内 国内外関係

- 4. 19 県立須崎工業学校、開校。
 - 4. 1 中学校の新入生、制服男子は国民服に戦闘帽。小学校を国民学校と改称。乗用自動車ガソリン使用禁。
 - 4. 13 日ソ中立条約、モスクワで調印。
 - 7. 25 米英など日本在外資産を凍結。
 - 8. 1 対日石油輸出を禁止。
 - 8. 8 学校報国団の体制確立について訓令。
 - 10. 18 東条内閣成立。
 - 12. 8 日本軍、真珠湾を攻撃、太平洋戦争勃発。
- ※ めんこい仔馬、森の水車。



(30周年記念式典)



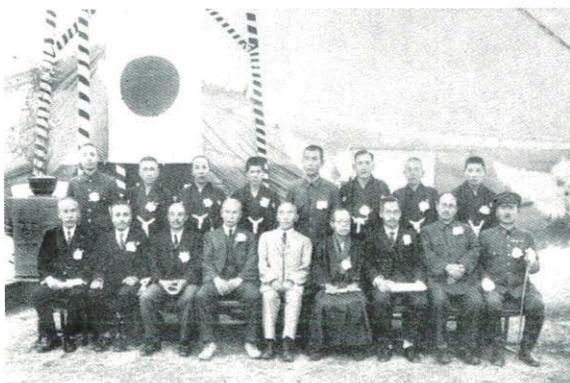
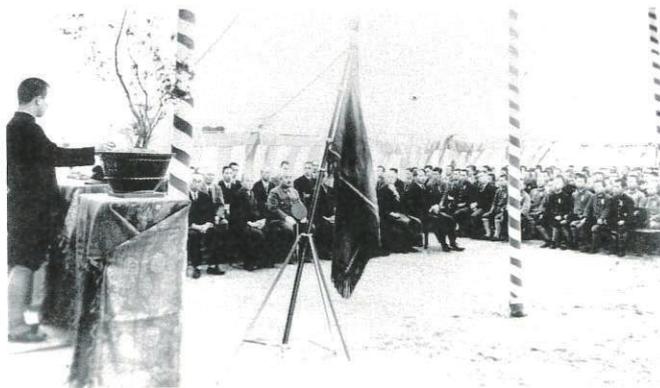
開校三十周年式典

昭和十六年五月四日午後二時ヨリ同窓會主催ニテ本校々庭ニ
大天幕ヲ張り後授會、父兄會、同窓生、在校生等千四百餘名
出席ノ下ニ創立三十周年記念式典ヲ舉行先ツ勝委員長ノ開式
ノ辭有リテ左ノ順序ニテ式典ヲ舉行ス。

- 一、着席
- 一、敬禮
- 一、開式ノ辭 (委員長)
- 一、宮城遙拜
- 一、校旗奉持
- 一、國歌奉唱
- 一、教育勸語奉讀 (校長)
- 一、學校長式辭
- 一、後援會長祝辭
- 一、卒業生總代祝辭
- 一、父兄會代表祝辭
- 一、生徒總代祝辭

- 一、祝電披露
- 一、勤続職員へノ謝恩
- 一、校歌斉唱
- 一、閉式ノ辭
- 一、敬禮

生徒總代祝辭
をする岸之上
守代司
(昭16建卒)



(勤続功勞者記念写真)

勤続功勞者

- 勤続二十年以上 現職者
 - 宮地 豊喜先生
 - 川崎善三郎先生
 - 竹内 正義先生
 - 退職者
 - 吉崎七次郎先生
 - 村井 義孝先生
- 同
 - 門田 清春先生
 - 北村 宗壽先生
 - 深田 暁先生
 - 久保田春美先生
 - 退職者
 - 森岡 貞徳先生
 - 小林 秀雄先生
 - 門田 盛衛先生
 - 小南 吉時先生
- 特別功勞者
 - 溝淵 守先生
 - 森澤 菊吾先生
 - 以上二十六名
- 同
 - 野々村正喜先生
 - 浮田 馨男先生
 - 加藤 秀季先生
 - 西原 駿治氏
 - 岡林 九敏先生
 - 武内 宏先生
 - 濱田 晴喜先生
 - 松本 政良先生
 - 上島 茂彦先生
 - 池田寅之助先生
 - 高田 龍藏先生

米英鷹の懲大詔の漢發



修学旅行の出来事

加藤秀季(大十二技機卒)

昭和十六年五月、東京での出来事がいまだに頭から離れず毎年修学旅行に生徒が行くたび記憶が新になる。(日誌を昭和二十年七月四日の空襲で焼いたので、日時生徒数が正確でないこと及び東京の宿泊所、病院の名前を忘れたのでおことわりします。)

宣戦布告の大詔下る

十五日臨時議會召集

東京は八月八日未明、米英海軍部隊が本島に侵入し、同日午後一時四十分、米英宣戦布告に關する詔書が、閣議で採決され、同日午後一時五十分、臨時議會は召集された。詔書は、八月八日未明、米英海軍部隊が本島に侵入し、同日午後一時四十分、米英宣戦布告に關する詔書が、閣議で採決され、同日午後一時五十分、臨時議會は召集された。詔書は、八月八日未明、米英海軍部隊が本島に侵入し、同日午後一時四十分、米英宣戦布告に關する詔書が、閣議で採決され、同日午後一時五十分、臨時議會は召集された。

英米と交戦状態に入る

八日未明西太平洋上にて

千八百八日午前六時大本營陸海軍部發表、帝國陸海軍は本日未明西太平洋上において英米兩軍と戦闘状態に入れた。

ハワイ方面米艦隊等に 大奇襲作戦に成功

一、帝國海軍は本日未明ハワイ方面の米艦隊並に航空兵力に對し大奇襲作戦に成功せり。
二、帝國海軍は本日未明ハワイ方面の米艦隊並に航空兵力に對し大奇襲作戦に成功せり。
三、帝國海軍は本日未明ハワイ方面の米艦隊並に航空兵力に對し大奇襲作戦に成功せり。
四、帝國海軍は本日未明ハワイ方面の米艦隊並に航空兵力に對し大奇襲作戦に成功せり。

昭和十六年五月引卒者勝、島内、竹村、北村、田村各先生と、私と六名、生徒数約百名位で、風雲急をつけるとかいふ何か重苦しいとき、橋より船で修学旅行に出発しました。先生、生徒全員グートル巻、生徒はカバンを背におい、胸には校名と名前を書いた布切れをつけ、竹村北村両教練の教官は日本刀をぶらさげ、戦地にも行く様で今の修学旅行とは想像もつかぬいでたちでした。コースは江の島、鎌倉、小田原、東京……東京までは妙にむせ暑い天候でした。江の島で朝九時頃親子井を全員が食べました。この親子井が東京で意外な事件を起すとは



(鎌倉大佛前で記念写真)

神のみが知っていたでしょう。東京の宿屋へ午後五時半頃着き食事後、自由行動、生徒の大部分は外出し、私も東京は生れて初めてなので竹村先生に連れて行ってもらい銀ぶらし、七時頃帰つて来てみると、生徒二、三名位が腹がいたむとの事で買い薬を吞ましたがいかがい止らず、益々増える一方で医者を呼ぶやら氷を買いに行くやらで、大混雑し九時頃までに約三十五名位の患者が出来た。集団赤痢。宿屋は小室が多かつたので全部「スマ」をはずし寝かした所、中を通ると熱のため足が熱くなる様に感じた。熱は四十度から三十八、九度でうめく者も大分おり知らず／＼に横向くと、大便がパンツに黄色くついている者もあり、それを取替えてやつたり氷を替えたりで一晩中寝られず、お医者も夜通して注射をしたり、看護したりしてくれ、ほんとに感謝の気持ちでいっぱいでした。電気科の戸梶君が一人重体で、お医者一人つききりでリンゲルの注射を三本位打ちました新聞に出ていたとかニュースで聞いたとかで、父兄や学校側が心配して長距離電話がひっきりなしにかゝり病人の世話や、電話の応待に全員汗だくであった。十時頃より病人は増えず一まず安心した。

翌日救急車が来、病人全部を隔離さし残りの者も警視庁より係官が来、外出禁止され、いやな重苦しい一日を過す。宿屋は全部消毒され、翌々日検便があつたが残りの者には保菌者はなく安心した。然しまだ外出は出来ず、生徒の中にはぶつ／＼云う者も出来たが警視庁の係官がいるのでどうすることも出来ず、永い／＼一日であった。病院からは絶えず経過の報告があり皆順調との事で一同胸をなで今までの苦勞も忘れた。学校からは三名の先生が御出てくれ、一部父兄の方も見えた。(会報No.1より)

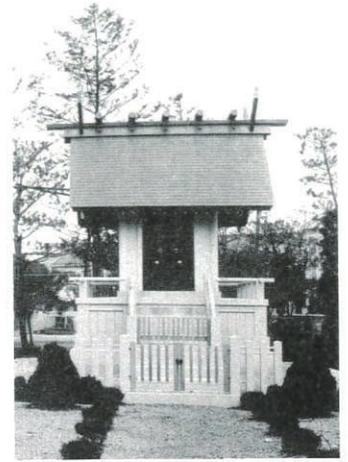
1942年・昭和17年

1. 8 県学徒報国隊、結成式。
3. 20 旧校舎と惜別式を行い、北与力町校舎より現在の棧橋通りの校舎に移転のため実験実習用具、机、椅子等の運搬作業を行う。
3. 第2本科卒業式 機械科第1回 35名、電気科第2回 35名、応用化学科第2回 37名、技術員養成所 6名、市工芸建 6名、市工芸 21名。
4. 8 北与力町より現在の高知市棧橋通2丁目に移転。敷地 9,700坪、内220坪私設道路、建築敷地 2,437坪（延3,053坪）、運動場 3,780坪。
5. 4 開校記念日。
6. 3 5学年、県外修学旅行、大阪・京都・奈良（6日まで）。
9. 14 第13回明治神宮国民練成大会高知県予選会に柔剣・弓道・バレー・庭球・射撃出場。
12. 27 第27回卒業式 機械科 41名、電気科 24名、応用化学科 18名、土木科 20名、建築科 26名。

県内 国内外関係

1. 10 高知県実業教育振興会設立、会長は服部知事（現高知県産業教育振興会）。
 1. 20 県学徒防衛隊組織を指令。
 4. 8 県下初の空襲警報発令。
 1. 9 学徒出動命令下る。
 2. 1 衣料、みそ、醤油も切符制になる。
 2. 15 シンガポール占領。
 4. 1 配電統制令にもとづき9配電会社開業。
 4. 18 米空軍機、東京、名古屋、神戸など初空襲。
 6. 5 ミッドウェー海戦、日本海軍決定的な打撃受ける。
 7. 12 全国中等学校野球大会中止。
 7. 17 中学校4年、高等学校2年の短縮案閣議決定。
 11. 15 関門海底鉄道トンネル下り線開通（18年8月上り線開通）。
- ※ 朝だ元気だ、新雪、鈴懸の径、南から南から。

（ご親閲記念写真）



（第1棟校舎）

（奉安殿）



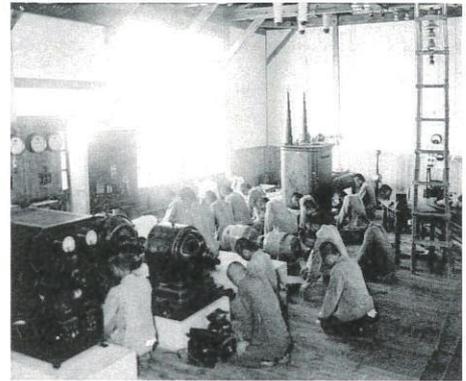
移転について

- ◆昭和11年11月野村茂久馬氏を会長に高知工業学校後援会を結成し学校移転改築の運動開始。
- ◆土地の買収に着手。地元の最有力者池知速水氏、服部久太郎氏、成岡楠弥氏、熊沢忠次郎氏、山脇国馬太氏を土地買収委員に委嘱。
- ◆昭和14年になって土地急騰し県の予算では坪当たり4円であったが買収に着手したときはすでに棧橋道路沿いで15円、奥の方でも7～8円になる。
- ◆当時の県の慣例として学校の新設または改築の様な場合には関係者から相当額の寄付金を要請していたので学校に対する寄付金の要求額は15,000円であった。
- ◆吉崎記念図書館の建築にも4～5,000円かかるので当時の同窓会としては負担にたえず県に対して9,000円の寄付の申し込みをする。県が仲々承知しない。
- ◆土木請負業の永野民也氏が9,000円で請負う。県のレールとトロッキを無償で借りること、埋立用土代を極めて安く入手すること、この二つの条件が叶うなら上記金額で請負うことに相談がまとまる。
- ◆昭和16年6月21日埋立工事完了届を県に提出。
- ◆昭和17年3月20日旧校舎と惜別式を行いご眞影、校旗を先頭に約1,000名の生徒が隊列を組んで一つ一つ物を運んだ。この作業は2～3日続いた。
- ◆夏休みに集団作業で学校に泊り込み鏡川原より砂利を車に積んで新校舎の敷地に運搬する。

(早飯食い……)



—非常時乃秋—



(反省はしてみたが……)

思い出いろいろ

弘田速男 (昭17技機卒)

長浜から巡航船で棧橋まで行き、そこから電車ではりまや橋まであとは歩いて北与力町の学校まで行きました。

学校の機械設備は充分ではなかったが生徒の基本的な実習が出来る程度の設備はしてあり生徒もまじめに取り組んでいました。焼玉エンジンも製作しており私達も上級生になったときには、部品のクランクやピストン、ロッド等を加工していました。シリンダーは14呎旋盤で加工していました。刃物台を移動させて切削していました。久保先生が専門に加工していました。ベッドの方は貞広先生が担当しておりました。焼玉エンジンは10HP・15HPで手抜きをすることなくまじめに作ってあったので故障がなく仲々評判がよかったです。しかし勉強のあいまに作ってましたので納期が3ヶ月位かかりました。

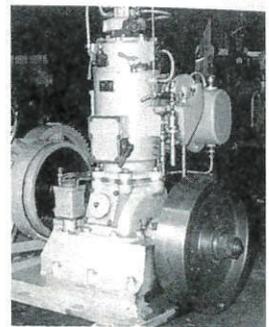
また旋盤も製作していましたがその主要部品は私達が担当して作りました。伊野の製紙のローラーを加工したこともあるし下駄の表面に張ってある竹を伸ばす機械も作ったことを覚えています。私達技術員養成所の生徒は卒業時には知識と技術を習得してましたので就職した会社では他校からきていた生徒とは格段の差がありました。

修学旅行には16年の5月に行きましたが途中江ノ島で朝食に親子丼を全員で食べたのが悪かったか東京で35名位が腹痛をおこし診断の結果、集団赤痢、病人全部を隔離し残りの生徒も外出禁止の処置を受けました。幸いに経過もよかったので翌日バ



(学校運動場の荒地で軍事教練)

スで東京見物をして日光に行くのは取やめにして帰校しました。その棧橋に降りたところで機械科長から弘田すぐにご親閲(青少年に賜わりたる勅語を記念して毎年行っていた)に行かなきゃいかんすぐ準備せよと言われて他校の生徒達と一緒に東京皇居前広場に行きました。そのとき私は学校で生徒長



(15HP焼玉エンジン)

をやっていたのでこの大役がまわってきたと思います。ご親閲が終ったときに修学旅行で入院している生徒を見舞に病院に行ったことも思い出の一つである。

棧橋の新校舎に移転するときには白岩忠一が免許を取ってオート三輪を運転して機械などを運搬するのを一緒にやりました。

宿直を2人一組で小使さんと一緒にやりました。米とオカズを家から3食分持参してやりました。校舎が木造のため火の廻りを時間を決めてやりました。遠い昔のことになりました。

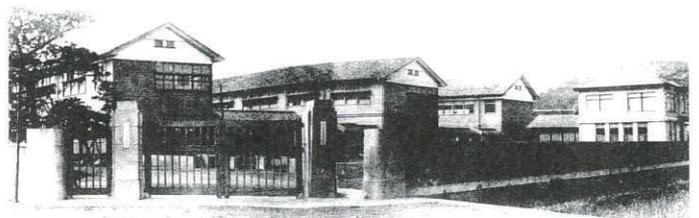
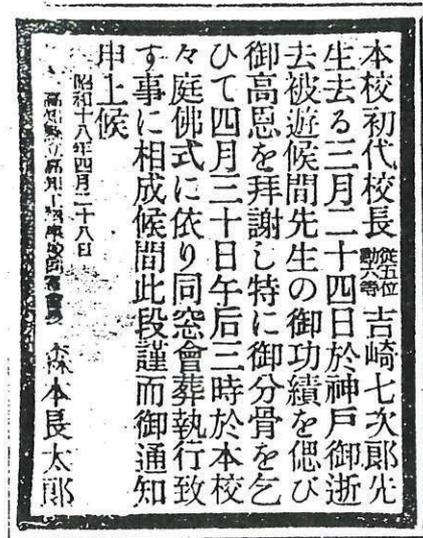
1943年・昭和18年

- 3. 第2本科卒業式 機械科 34名、電気科 32名、応用化学科 32名、建築科 29名、技術員養成所 15名、市工芸建 9名、市工芸 19名。
- 3. 24 初代校長、吉崎七次郎逝去。
同工会代表、橋本亀郎、図書館長、武内 宏、深田音障、神戸に赴き26日午後2時～3時までの吉崎邸告別式に参列。大阪同窓会長、松村、黒潮会会長、乾、同窓生30余名列席。
- 4. 30 吉崎三郎を迎えて初代校長、故吉崎七次郎の同窓会葬を校庭で挙る。
- 5. 4 開校記念日。
- 12. 24 第28回卒業式 機械科 36名、電気科 44名、応用化学科 33名、土木科 18名、建築科 19名。

県内 国内外関係

- 2. 3 田岡典夫、「強情いちご」で直木賞。
 - 3. 16 大土佐開拓団、先遣隊渡満。
 - 9. 2 板垣退助の銅像供出。
 - 11. 22 高知高校、出陣学徒壮行会。

 - 1. 21 中等学校令公布、修業年限4年、教科書固定制となる。
 - 4. 6 東京6大学野球連盟解散。
 - 4. 18 連合艦隊指令長官、山本五十六元師、ソロモン上空で戦死。
 - 5. 29 学徒動員要綱決定、学生の勤労奉仕を法制化。
 - 9. 8 イタリア無条件降伏。
 - 10. 21 学徒出陣、明治神宮外苑壮行会。
 - 12. 24 徴兵適齢年齢、1年引き下げ決定。
- ※ 勤太郎月夜唄、お使いは自転車に乗って、若鷺の歌、夜来香。



(電車通りからみた校舎全景)



繰上げ卒業記念写真



学生時代 (第一棟玄関)

大塚善久 (昭18電卒)

私は吾川郡神谷村小学校(今の伊野町)の出身です。わけあって高等小学校2年を卒業して高知工業の第2本科電気科に入学したのは、昭和15年4月でした。電気科の定員は40名で、オッサンの感じの同級生が10名程居った様に記憶しています。

当時の校舎は北与力町で、西隣りが県立第一高等女学校(通称ワン)でした。授業は午後1時から7時頃迄でした。製図の時間は、西隣りのワンに面した2階が教室でしたから、帰校の女学生をからかったり、修善寺物語りのY本を廻し読みして思春期をいやしたものでした。亦第2次大戦が始まった前年でしたから支那大陸でご苦労されている兵隊さんに感謝して高知市内は電車利用は禁止され、私達は市内の西の入口本町5丁目下車して徒歩で通いました。途中高知城追手門の東隣りにあった山内の殿様の銅像に深く頭を下げましたので明治維新75年過ぎてても山内家への感謝の気持が受け継がれていたものと思えます。亦道路で行き交う先輩に拳手の礼を失したとビンタをとられる事は当然と許されていました。

当時の成績通知書は甲乙丙丁の評価で全科目の平均点とクラスでの成績順位が記入されていました。尚1年生の第1学期の成績通知書は出身小学校の校長先生の閲覧證(印)をもらって来る事になっていましたので、平均点83点、成績順位8位で校長先生の注意を受けたのでしょう2学期6位、学年4位となっています。亦此の成績通知書は昭和18年4月から優良可制に変更され、平均点や成績順位も記入されなくなっています。

北与力町から現在の潮江に校舎移転がされたのは昭和16年秋



(機械科教員)

ではなかったでしょうか。

12月8日開戦の日には新校舎のグラウンドで草引きをしていた様に記憶しています。

第2本科2年の卒業時の成績が良ければ第1本科の4年に編入出来る制度があったものですから昭和17年4月に平井君と間崎君と私の3名が編入させてもらいました。

ひるがえって昭和15年3月第1本科の入学試験で「門田君(私の旧姓)此の学校には第2本科もあって若し第1本科が不合格の時は第2本科に入りますか?」の質問に対し私は気の弱さで「ハイ」と返事した事を後悔していましたが結果的には高知工業は4年間で卒業させてもらいましたので人の運とはわからないものです。

第2次大戦がだんだんきびしくなるに従って男性は戦場に引張られるので農家の人手不足が生じた為7月下旬野市方面の留守農家へ勤労奉仕を済ませてから8月の夏休みに入りました。馴れない百姓仕事でしたが泊った家の娘さんが土佐女学校生(チェリー?)であったり結構楽しい思い出となっています。

亦敵国語の英語は廃止、たしかテニスも中止、野球もストライクを(良い球)と呼ぶとかで昭和18年秋の中学生体育大会には野球はなく、棒高飛、相撲、鉄棒、集集体操などが中心で、女学生のトレパン姿に胸を踊らせた記憶があります。

戦力増強の為男子中学生の体力強化の一つの手段としてか男子体力章検定試験が始まりました。初級、中級、特に上級のバッチを衿に付けていると女子学生にもてるので私も一生懸命努力しましたが初級しかもらえませんでした。ちなみに私の検定証を見てもみると、100mを13.7秒、2,000m(新校舎から栈橋を往復)、懸垂20回、手榴弾投37m、特に苦労したのが40kg俵をかついで50mを走るのがにがてで、10.5秒となっています。

卒業は本来昭和19年3月ですが、第2次大戦開戦直後に(私達より1年先輩から)3ヶ月間の繰り上げ卒業が実施され始めたので昭和18年12月に卒業して居ります。

苦しい青春ではありましたが、戦争に勝つことの一つの目標に向って精一杯努力した高知工業時代でした。

最後に在校生諸君へのご提言ですが、普通高校に比し、工業高校の場合は英語の授業が少ないのではないのでしょうか? 私は英語不得手の為ずいぶん苦労もし損もしました。これからの国際社会で活躍する為には是非英語をマスター出来る教育制度と各人の努力を期待します。

1944年・昭和19年

- 2. 6 19年度生徒募集、土木、建築科は停止、第一本科機械科100名、電気科50名、工業化学科100名、第二本科機械科、電気科、化学科各40名。
- 3. 第2本科卒業式 機械科 38名、電気科 28名、応用化学科 34名、建築科 36名、市工芸 19名。
- 4. 1 応用化学科を工業化学科と改称。
- 5. 4 開校記念日。
- 5. 4・5 学年、1週間泊り込みで日章飛行場（現高知空港）で作業実施。
- 9. 各科勤労働員始まる。
機械科—土佐電気製鋼所・谷村鉄工所・野村組工作所・学校機械工場。
電気科—土佐電気製鋼所・土佐機艇・日本プラグ・宇治電化。
化学科—日本セメント土佐工場・南海化学・宇治電化。
土木科—県耕地課・日本セメント土佐工場・山本造船。
建築科—浦戸航空隊・仁井田兵舎建築現場・日本セメント土佐工場・土佐造船。
- 12. 3 教諭、則岡定雄（大15機卒野球部選手）の学校葬挙行。

県内 国内外関係

- 1. 27 山内一豊の銅像供出。
- 4. 1 県立中等学校・修業年限を4年と定める。
- 5. 30 阪神航路貨客船「滋賀丸」室戸岬沖で撃沈される。130名遭難。
- 7. 16 中等学校生徒の県外勤労働員始まる。
- 1. 26 東京、名古屋に初の疎開命令。
- 6. 6 連合軍ノルマンジー上陸開始。
- 6. 16 マリアナ沖海戦で日本軍敗北、西太平洋の制海権、米軍へ。
- 7. 16 サイパン島守備隊玉砕。
- 8. 22 沖縄から疎開船「津島丸」魚雷攻撃で沈没、学童700人含む1,500名死亡。
- 9. 18 17才以上の兵役編入を決定。
- 10. 24 フィリピン海戦で連合艦隊事実上消滅。
神風特別攻撃隊、第1陣出発。
- 11. 24 B29、東京を初空襲（約80機）。
- 12. 7 東海地震、M8.3、死者998名。
※ 国民学校初等科児童の集団疎開決定。
※ ラバウル航空隊、同期の桜。

（ 軍 事 教 練 ）



奉安殿前で技術員養成所生徒の記念写真

思い出 山本正盛（大15機卒）（旧職員）

工業学校を卒業して県外に出ておりましたが大へんな不況で家に帰ってきて農業をしておりました。しかしこれではいけないと思い高知師範学校の第2部へ入り教員になる勉強をして体育の教師になりました。機械科を卒業しているが180°の転換です。島田比榮先生の原書（10円で購入）と製図器とT定規が残っていたが第二高等女学校（市内塩屋崎町）で焼けてしまいました。工業学校には昭和16年～19年まで勤めたが棧橋通りに移転もない頃でしたので運動場の整備に精一杯でした。戦争が激しくなってきたので銃剣術も盛んにやっていました。また運動場の西隅方にジグザクの防空壕を体育の時間に生徒を使って掘ったりしていました。そしてその上に芝生を植えるため潮江の北の道路縁の芝生をとってきて植えました。冬場になると西風が強いので楠ノ木を森林組合から分けてもらって運動場の西側に植えました。肥料がないので棧橋通りへ車力（シロリキ）を引っ張って行き馬糞を捨てて根元にやったりしましたが馬糞が発酵して若干枯れてしまいました。

7月4日の空襲で焼けた学校に行き何か記念になるものを探しているとタガネ（学校のタガネは刻印を打ってあった）が見つかったのでもらってきました。奉安殿は焼けずに残っておりました。

当時の先生では生徒部と一緒にやっていたゴリさん、天狗さんがいました。天狗さんは踊りが上手でした。宮地のゴリさん所に呼ばれて行ったとき、天狗さんは羽織、袴を持ってきておって輿が乗ってくると、レコードをかけて「青柳の影に誰

かいるわいな、一人でござんせん、おぼろ月夜の……」これに合せて舞う処作は得月の芸者さんより上手でした。

私の勤めていた時期は軍国主義一色であり各科の先生方も応援してくれましたので体育教科の面でも生徒部でも思うようにやることができました。（山南のご自宅にお伺いしてお話しをお聞きしましたが先生はしっかりした口調で昔の話しをしてくれました。）

土木・建築科は停止

高知工業の生徒募集

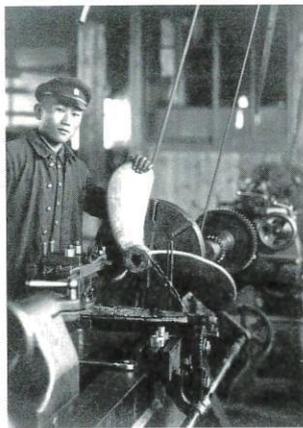
高知工業学校昭和十九年度生徒募集
第一本科の募集は、
本年は土木科、電気科、工業化学科を
停止し、機械科の募集を
とどめておきます。募集人員
を右の如く増加した。募集人員
の如し

第一本科	本年	昨年
土木科	40名	40名
電気科	40名	40名
工業化学科	40名	40名
機械科	100名	100名
第二本科	本年	昨年
土木科	40名	40名
電気科	40名	40名
工業化学科	40名	40名
機械科	40名	40名

太平洋戦争激化に伴い国内体制強化策の一環として商業学校の工業学校転換或は整備縮小の問題が起っていた。高知商業学校は第一本科を1学級減じて3学級とし、第二本科は募集停止となった。高知工業学校の土木・建築科募集が中止となったので、工業科2学級（土木・建築科は一学級、採鉱科一学級）100名を募集し校名を高知商工学校と改める。終戦によって21年4月より土木・建築・採鉱科（工業化学科へ）は高知工業学校に復帰した。

回想

中沢 忠(昭19技機卒)



(スクリー加工)

昭和15年の入学で白木谷から通っていたので冬の時期などは朝の暗い中に家を出て家に帰ってくるのは日が暮れて真暗くなってからでした。高等小学校からの入学で授業の方は講義もあったが殆んど実習主体であった。

仕上の方に入り当時学校で製作していた15HP焼玉機関の部品などの仕上げを担当していた。加工、仕上組立作業が

終わって試運転をするときには

何んとも言えない気持ちであった。15HPの焼玉は結構大きく铸造は加藤先生が担当して月に2回程度溶解鋳込み作業を行っていた。スクリーは真鍮でしたが、これの工程は仲々複雑で技術を要するものであった。加藤先生が作ったスクリーはバランスも良く仲々評判が良かった。

栈橋の学校に移転するときには机・椅子実習用具を何日もかけて運んだものでした。又北与力町の学校のとなりは女学校でしたので結構いろいろ楽しい出来事もありました。

当時の同級生2～3人とは付き合いがあるが他の者とは音信もなく何処でどうしているだろうかと思うものになるものである。

私の兄も弟も工業学校を卒業しており卒業して50年近くになるが話をしていると当時の事が思い出されてなつかしいものである。



(シリンダー鋳造)

戦雲の中に学び巣立つ “母校創立80周年に寄せて”

市川 信雄(昭19本2電卒)

鯨鯨吼ゆる南溟の

怒濤逆巻く快天地

万岳の翠北に負い

ここに生れし健男児

校歌を声高らかに歌い工業在学時代を存分に謳歌した時を思うと、一入の感慨が去来し、当時の諸先生、同窓生の姿が想い浮べれます。

私達の在学中は、大東亜戦争に突入し、陸海空軍の華々しい戦果のニュースが、毎日ラジオ新聞等でデカデカと報道されていた時であり、学校・官公庁や民間(隣組)でも、軍国主義一色の世代でありました。また朝倉の44連隊を出発した兵隊(勇士といっていた)が、ハリマヤ橋交差点を左折し、高知駅に向けて、38式歩兵銃や機関銃に白包装をグルグル巻き付け、隊列も凛凛しく、鍛えられた歩調は、ザックザックと軍靴の音が一条

乱れることなく、戦場へ赴いた出征兵士の姿を何度か見送ったことが印象に残り、また感激していたのも時勢でありました。

一方工業学校においても、登校・下校や軍事教練でもゲートル(巻脚絆)を巻き、時々ラップ隊を先頭に隊伍を組み、校歌を歌いながら行軍したものでした。その時の宮地先生その他体育の先生が思い出されます。

昭和18年には、日本軍の旗色が悪くなりつつあるとき(ラジオニュースや新聞では、戦果が誇大に報道されていた)、同年8月、全国的に13期甲種飛行予科練生(通称予科練)の志願募集があり、高知市内校でもその例外ではなく、城東中・海南中・市商・城商等よりも多数の志願者があり、私もその一人として、ただ一途に純粋な気持ちで国難を打開しようと意気に燃え志願いたしました。高知工業からは20数名が合格し、18年12月1日付にて、松山海軍航空隊へ入隊いたしました。入隊後は厳しい訓練を積み重ねたものの、戦況は吾れに利あらず、昭和20年8月15日の終戦を迎えました。同期からは特別攻撃隊(特攻隊)・基地での機銃掃射や訓練中の戦死・そして戦病死など合わせて一千余柱の若者が散華いたしました。高知工業からも一名の戦病死者が出ました。

可惜、若き尊い命が遠く、空に海の彼方へと散って行ったのであります。今こころして考えた時、これら多くの犠牲者のうえに今日の日本があるということを、私は常日頃思っております。

一方同窓生達も19年以降に戦列に加わったり、また勤労奉仕にと駆り出され、勉強どころではなかったようでした。

齢も60半を過ぎとなった今日、半世紀前の昔は程遠くなって参りました。学帽をかぶりゲートル姿の在学時代が想い起され、同窓生は勿論のこと、会報でご消息を知りました、電気科の主任永瀬邦男先生の“土佐のハチキン”を読まさせて戴き懐かしく思いました。また山中信義先生には時折、高知市内でお見掛けし今でも記憶に残して戴いております。尚永野先生には仕事の関係でよくお会いする機会もありましたが、数年前に亡くなられました。残念に思いご冥福をお祈り申し上げます。最後に「工業富国基」の精神は、今も変わりありません。戦後の日本の繁栄を築いたのは、技術の進展と革新であります。高知工業高等学校は、この伝統に基づいて益々技術教育の発展に寄与して戴きたいと思ひます。

全生徒が
「運轉できるやうに」
戦利自動車进行研究する高知工業校

大山(昭19本2電卒)の語は、戦利自動車の研究に力を入れたが、当時の状況に基き、戦利自動車の研究は、戦時体制下では行われなかった。戦利自動車の研究は、戦時体制下では行われなかった。戦利自動車の研究は、戦時体制下では行われなかった。

1945年・昭和20年

- 3. 7 市商玄閣付近に100kg爆弾6個直撃、本校東入口門ブロック壁に無数の破片。
- 3. 9 第29回卒業式（5年制）
機械科 43名、電気科 34名、工業化学科 32名、
土木科 20名、建築科 18名、市工芸 16名、
第2本科 機械科 37名、電気科 34名、工業化学科 29名、
建築科 33名。
- 3. 9 第30回卒業式（4年制）
機械科 48名、電気科 44名、工業化学科 40名、
土木科 17名、建築科 20名。
- 5. 4 開校記念日。
- 7. 4 空襲のため全校舎、工場、図書館、道場等全焼。
- 9. 1 本校事務所を高知県工業試験場に置き分校教育の事務を執る。
- 10. 1 授業を工業試験場、市立商業学校、海南中学校、長岡組合立小学校、県造船株式会社葛島工場、高須小学校、須崎小学校を借りて開始。

県内 国内外関係

- 1. 19 B29高知市郊外（神田）に初投弾。
 - 7. 4 高知空襲を受け主要地区焼失、家屋2,500戸、被災市民42,000名、死者401名。
 - 8. 16 住吉震洋隊爆発事故、111名死亡。
 - 10. 1 高知市中等学校、正常授業に復帰。
 - 11. 4 連合軍、高知に進駐、日章朝倉の旧兵舎に入る。

 - 1. 13 東海大地震、死者1,961名、全半壊17,000戸。
 - 3. 10 東京大空襲。※決戦教育措置要綱を定め国民学校初等科を除き、学校における授業を1年間停止を決定。
 - 3. 17 硫黄島玉砕。
 - 4. 1 沖縄本島に米軍上陸。
 - 5. 7 ドイツ無条件降伏。
 - 8. 6 広島に原爆投下、9日長崎に原爆投下。
 - 8. 8 ソ連、対日参戦。
 - 8. 15 ポツダム宣言受諾、日本降伏。
 - 8. 28 連合軍司令部（GHQ）設置。
 - 8. 30 マッカーサー厚木に進駐。
 - 9. 2 ミズリー艦上で降伏文書調印。
 - 9. 17 西日本に枕崎台風、死不明者2,400名
- ※ リンゴの唄。

戦災前の校舎（運動場より）



（職員一同）

学徒動員

横田善助（昭20機卒）

昭和19年5月から土佐電気製鋼所に学徒動員で行きました。海軍の15センチ砲（高角砲）の部品、潜水艦のバルブの部品などを鋳鋼で作っていました。検査と鋳物工場で作業をしていましたが一般の工員が召集でいなくなったので私達学生が主力になっていました。

高知の検番の芸者衆もきていました。鋳物工場で中子等を作っていました。いろいろと艶話も聞きましたし男まさりの人々がいたので私もいろいろと教えてもらいました。

仕事の方でも随分あらっばい事をしていました。寸法検査をするときに免許をもっていないのに天井クレーンを動かして、製品をつり上げて小さなジャッキを3つ使って2.5tonもある品物を検査していましたが今から思うとぞっとするような事を平気でやっていました。

海軍の図面は○65°（例）マルに棒書いて角度だけ入れてあるので寸法が解らない。若い職工さんは困っている私達は三角を習っていたので計算してすぐに出してやると神様のように思われていました。この動員に行っている間、数学でも勉強しなければと最初は教師が教えにきていましたがこれもだんだん無くなっていきました。結局5年生のときには授業は全然なしでした。

会社の手動送りのプレーナーを自動送りにするために学校のプレーナーをスケッチしてこいと言われてやってきたとき線が一本抜けているだけで殆んど完璧に出来ていたので自分でも可成り力を持っていると思ったことでした。



工場動員中の化学科・電気科生徒

1946年・昭和21年

- 3. 25 第31回卒業式（午後1時 須崎、高岡分校は除く）。
機械科 43名、電気科 41名、工業化学科 38名、
土木科 18名、建築科 24名、市工芸 11名、市工
芸建 16名。
第2本科 機械科 34名、電気科 27名、
工業化学科 29名、技術員養成所 6名。
 - 3. 31 第2本科を廃止、生徒定員 1,000名となる。
 - 4. 7 市立高知商工学校に在学していた土木・建築・採鉱
科（工業化学科へ）が高知工業学校に復帰。
 - 4. 10 寺尾 豊（大6機卒）、衆議院議員選挙で当選。
 - 4. 8 分校関係記録。
後免野田国民学校、1年 99名、1学級。
長岡組合国民学校、2年 189名、4学級。
朝倉国民学校、1年 128名、2学級。
高岡中学校 } 城東・海南
朝倉中学校 } と合併
1年 19名、2年 45名。
1年 12名、2年 21名。
高須国民学校、4年機械科 125名、2学級。
3年機械科 57名、1学級。
市立商業学校、3年電気科 }
土木科 } 121名、2学級。
建築科 }
4年電気科 }
土木科 } 74名、2学級。
建築科 }
工業試験場、3年化学科 131名、2学級。
4年化学科 41名、1学級。
 - 5. 4 開校記念日、挙式せず休業。
 - 5. 24 開校記念日行事として仁井田浜に遠足。
 - 6. 3 工場雨漏り激しく杉皮10坪、釘200円購入。
 - 6. 13 校友会、設置委員会開催。
 - 7. 23 本校、市商関係生徒、復興奉仕作業に登校、高須分
校24日、長岡、後免、野田各分校25日、朝倉分校26日。
 - 8. 1 市内非農家生徒登校、21日まで復興作業を行う。
 - 9. 10 假校舎、5棟1,140坪（内4棟1,004坪は旧海軍航空
隊仁井田兵舎を譲り受け移築、1棟130坪は県造船
の工場を移築（機械工場）落成全校生徒収容、授業
開始。
 - 10. 19 新築落成を機として同窓生11名来校、今後の学校の
歩み方等について懇談、内祝のことについても言及
決定。
 - 12. 21 南海大地震のため校舎屋根瓦殆んどずり下り被害甚
大。
 - 12. 24 終業式、欠席生徒364名瓦葺換作業出場可能者150名。
- 県内 国内外関係
- 5. 14 高知県連合教職員組合結成（現教職員組合）。
 - 8. 18 全国中等学校野球大会、城東中学校、2回戦進出。
 - 12. 21 南海大地震、中村、須崎、高知などで被害甚大、死
者679名。
 - 2. 17 金融緊急措置令（新円発行旧円貯金封鎖）。
 - 5. 1 メーデー復活。
 - 5. 22 吉田 茂、自由党内閣成立。
 - 11. 1 大阪、京都で第1回国体開催。
 - 11. 3 日本国憲法公布。
- ※ 悲しき竹笛、東京の花売り娘、かえり船。

**安政
以来の
強震
來襲**

全縣下に巨り被害甚大

關東大震災

より強度

【中央氣象臺地震観測】
【地しんの発生時北一三三度の地點】

【渉外局二十一日十
四時三十分發】

連合軍飛行機も出動

【この地しんは一昨年
南海大地しんより
また關東大しんより
りも大きく、本邦野
近は輝じた、本邦野
ものである。しん災
は海中のため直接地
い、津波を伴つて

【中央氣象臺地震観測】
【地しんの発生時北一三三度の地點】

【渉外局二十一日十
四時三十分發】

【この地しんは一昨年
南海大地しんより
また關東大しんより
りも大きく、本邦野
近は輝じた、本邦野
ものである。しん災
は海中のため直接地
い、津波を伴つて



戦災で焼けた野村デパートもこの震災で崩壊。

古材料を利用して

波谷 巖（昭十四技機卒（旧職員））

昭和二十一年に焼け跡の基礎の上にバラック校舎が建てられたが、夏は暑く寒い冬は震えながらの授業で、機械科の実習などは雨もりがして傘をさす有様でした。又食糧物資共に乏しく教師も生徒も腹をすかし学用品も満足でなく、加えて将来に対する不安やとまどいはありましたが、生徒達には生き生きとして明るくよく勉強もしたし、クラブ活動も空腹をかかえての活動でしたが活発で、教師も生徒と一体となって信頼しあい、助けあって実に楽しい毎日であったと記憶している。

最近当時の卒業生に逢い一席を囲む機会に恵まれた。最初は仕事や家庭の話が中心であったが次第に生徒時代にうつり、ある年の開校記念日に全員で桂浜に地引網を引きに行き漁はさっぱりでがっかりしたこと。文化祭には焼け跡の古材料を利用して放課後おそくまで製品を作ったこと。教師と共にスポーツを楽しむこと等、懐かしい話から次へともちあがり夜の更けるのを忘れていました。

妙によくない鋳物砂

塩田 一郎 (昭13機卒)(旧職員)

キューポラは鋳造実習室の外にあった。

昭和21年12月21日の南海震災の際、海水が潮江地区に侵入した。満潮時には、海水が電車通りを越えて流れ込む状況だった。

このとき、鋳物砂が海水につかったので、加藤先生らは水洗いをして使っていた。だが、塩分を完全に除去することはできなかった。

やがて、紹介する人がいて、鋳物砂を購入した。たしか、小豆島の砂だった、と私は記憶する。

ところが、松村源吉先生が、「塩田さん、この砂は妙に良うないぜよ。握った感じでは、粘土分が少し多いような気がする」

と、言い出した。

「工業試験場で、いちど分析してもらったらどうじゃろう」

松村先生の提案で、となりの工業試験場へ鋳物砂の分析を依頼した。

分析の結果、砂の成分について問題はなかった。だが、その後も鋳造するたびに、松村先生はふに落ちない顔をしていた。

ある日、松村先生が、

「塩田さん、塩田さん。まあ一、これを見とうぜ」

と言いながら、私のところへ教科書を持ってきた。

それを見て、私も驚いた。教科書の鋳物砂成分表と先日の工業試験場の分析表と、全く同じだったからである。小数点以下まで同じだった。

松村先生が、

「教科書を見ているうちに、妙に見たような成分表だと思って、工業試験場の分析表を取りだしてみたら、全く同じだったのでびっくりした」

という。

「少しぐらい数字を変えておけば、こちらも気が付かなかったろうに、小数点以下まで同じにするきに、ばれらあろう」

と、二人は大笑いした。

工業試験場の分析表には、工業試験場長の氏名と公印をきちんと押しあてた。

昭和27年に、産業教育振興法による予算がはじめて交付された。そのとき、私らは河内砂を購入した。小豆島の砂は、鋳造実習室の床に敷いて、床砂にした。

「祝」80周年の歴史ある母校の発展を祝い
社会貢献できる人材教育を願う。

蒲原 正 秀 (昭21電卒)

卒業後直ちに、日本セメント(株)土佐工場に入社しましたが戦後復興のさ中であつた事は確か業務的にも多忙を極めました。昭和29年に、日本セメントが世界最新の新工場と銘打って建設を始めました埼玉工場の建設要員として転勤し、以来転勤後大阪に住みついて30年余を大阪で過ごしてきました。その間母校の諸行事にも参加する事ができず、近年やっと大阪支部鯨工会常任幹事として、度々諸先輩と顔を合わしている次第です。今



58 昭和21年12月21日
この日の大地震で決壊した裏島堤防。
懸命の復旧工事が続けられた。

では日本セメントも退職し、関係会社の役員をやったり、専属輸送会社の代取を兼務したりという、63才。いまだ現職の中にあります。

昭和21年の卒業とえば、私共が最も勉学の期間が短かった生徒ではなかろうかと思ひます。と言うのは在学中に、船用エンジンを製作する内燃機工場に、学徒動員された。その工場が空襲で全焼し学徒動員が解かれた。

又高知航空隊(今の高知空港)の、飛行機の避難壕作りに、泊り込みで学徒入隊をして、軍人同様の厳しい生活を経験した。こう申し上げますと、極めて勉学期間の短い生徒期間であつたと思ひます。最大のショックは戦災の翌日ひる頃、まだくすぶり続ける母校を自転車で見舞に行った。(私は自宅が五台山でした)跡かたもない校庭に、数え切れない焼夷弾が突きささっていた。途中の道路には2~3体の焼けただれた遺体もあつた。幼ながらに戦争の悲さんさを、深く感銘した記憶は、消す事が出来ない。工業試験場での補修授業に限られた期間続けられたが、精神的混乱の中で、果たして自分にどれだけの価値が残ったかは。それを今迄、私ながらにどの様に仕事の中に生かされてきたかは……今振り返って、俺は学業とは縁がいの仕事の中で生きてきたな、という、追憶がある。クラブ活動を通じ機械体操部で県大会、銃剣道部で他流試合等は、断片的な思い出としてなつかしい。その中での友達が、今でも親友感として残っているものの、概して早くから、高知を離れて38年程友達と接していない事から、特定の親友以外、面影が定かでない事は、残念の限りである。お互いに、名乗り合つて昔話を花を咲かせるならば、古い想い出話が、ぽんぽんと出てくるだろうと、思つてはいますが……今静かに振り返って、名門の高知工業に入学でき電気科の専門を選定したものの、会社の中で特に専門科目にこだわつたのでなく、新たな問題に対し、たえず首を突込んだので、必然的に他の職種感が強いのは何故だろうかとの意識がありますね。製造業の中で電気とかの専門職は、縁の下の力もち的であり、統轄リーダーとなり得ないという認識がありましたね。電気もやつた。機械もやつた。営業もやつた。対労関係にも首を突込んだというのが私の人生であり今日があるのだから、総括的なプラント建設のリーダーをやつたり、厳しい対労関係に取組み、労使関係の正常化を図つたり、企業戦士で終ろうと自負しています。

母校創立80周年の感想を依頼されたが、とも角お目出たい限り。その間何も母校の為に果たせなかつた反省は残ります。従つて、これからは鯨工会でも通じて極力接触を図りたいというのが本心です。ともあれ、長い歴史を持つ母校の益々の発展を祈念し筆を置きます。

1947年・昭和22年

1. 13 始業式、校長より今後の教育につき説明。
 1. 17 3・4学年登校、机等整備、職員協議会。
 1. 30 授業2時限以降打切り職員闘争に関する会議を行う。
 1. 31 授業1時限終了後、闘争関係について生徒に説明。
 2. 17 大映劇場で「にんじん」映画鑑賞会。
午後より職員懇談会、生徒自治委員会。
 3. 市工芸第7回卒業 24名、市工芸建専第2回卒業
23名。
 4. 20 寺尾 豊、参議院議員選挙で当選。
 5. 4 開校記念日。
 11. 戦後初の文化祭行われる。
- ※ 17年入学の生徒は4年生に短縮されて卒業した関係で高知工業としての卒業生なし。

県内 国内外関係

7. 29 川村知事（民選）追放該当、11月1日失職。
 9. 21 高知県教職員組合発足（県教組）。
 10. 1 臨時国勢調査、県人口、848,312名、高知市で146,165名。
 10. 15 室戸岬町三津で機雷爆発38名死亡。
 11. 9 第1回美術展（県展）開催。
1. 21 総司令部、2.1スト中止を指令。
 3. 3 6.3.3制実施、国民学校を小学校と改称。
教育基本法公布。
 5. 3 日本国憲法公布。
 6. 8 日本教職員組合結成（日教組）。
 8. 9 全日本水上選手権、400m自由型決勝で古橋広之進
世界新の4分38秒4で優勝（以後2年間に23回世界
新を出す）。
 8. 22 GHQ、追放教員11万名を発表。
 9. 14 キャスリン台風来襲、関東地方大雨水害、死傷者2,
808名、行方不明者853名。
- ※ 「流行」不逞の輩、隠匿物資、栄養失調、裏口営業、
ベビーブーム、ストリップショー、ブギウギ。
- ※ 東京ブギウギ、星の流れに、夜のプラットホーム、
夜霧のブルース、港が見える丘。

思いつくままに

高田 潔（昭23機卒）

やっと分散授業とも別れをつけ21年9月より帯田の跡地に仮校舎の落成在校生一同の喜びひとしおジブシー生活に別れを告げた。

校舎は立派とは言えず廊下側の窓ガラスもなく寒々としていた事、基礎は丸太の打ち込みで根太はカスガイ止めであった。

4棟は仁井田航空隊の兵舎移設、残る一棟は県造船の工場を移設、機械実習工場として使用、何となくあわただしかったが学校としての体裁を保つ事が出来た。本当に学校長並びに諸先生方のご努力の賜ものと感謝の念にかられたのは小生だけではないと思う。

戦後米軍の駐留と例のGHQの生活、学校教育とりわけスポー

日本国憲法きょう施行

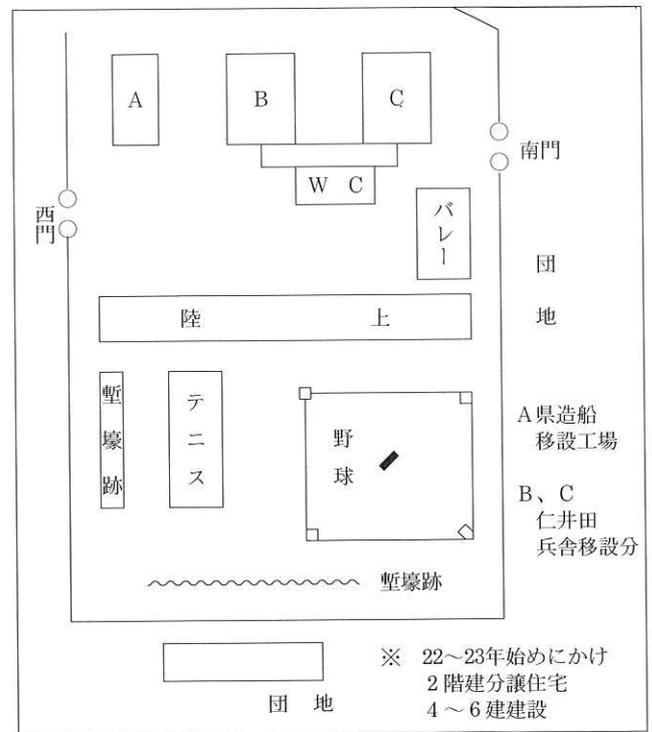
平和日本の黎明！

陛下親臨 盛大な記念式典

昭和二十二年二月十一日發布以來かつて不承の
大典とられた日本国憲法は、本邦大日本帝國憲法を
五月二日をもつて五十八年のその生命に終りを
告げ昨年十一月三日公布された新しい日本國憲
文化開蒙、平和國家のシンボルとして國民の理
想高らかに達し、第一歩を踏み出したのである
の意義は、誠に重大である。

再びひかかげよ國旗 民主憲法の象徴として

「陛下親臨 盛大な記念式典」
昭和二十二年五月三日、東京皇居内、皇極殿
に於て、陛下親臨の盛大な記念式典が挙
行された。陛下は、皇座より、新憲法を
御覽覧の上、御勅語を宣讀され、新憲法
の公布を御慶び、國民の理、理想高らかに
達し、第一歩を踏み出したのであるとの
意義を、誠に重大であると、御訓示され
た。



ツ関係の指導、道のつくスポーツすべて禁止、もっぱらグランドでの球技が主体であった。当時高知に来ていた進駐軍の中には元プロ野球の選手はざら楽しみのない小生達を野球によって楽しませてくれた。

朝倉兵舎内のグランドに通ったものである。母校のグランドも影響を受けたわけではないが昭和16年より休部の野球部、テニス、バレー、陸上部が復活し、グランドの奪い合い、上記略図の通り各クラブの配置を記す。グランドの廻りには、実弾射撃場、塹壕跡等が残っていた。又正門すぐの奉安殿が無傷で残っていたのが印象的であった。またショート後方のテニスコートは打球が飛んで危険であるので移転しよう交渉したが良質の土と水捌けが良くコートに適しており仲々聞き入れてもらえなかった。

昭和20年代の機械科

塩田 一郎 (昭13機卒)(旧職員)

施設と設備

昭和22年当時の機械科実習室は、木型実習室、手仕上・機械実習室、鋳造実習室だけであった。校舎は戦災を受けて焼失したので、木造平屋建のバラック建築だった。

南北に通ずる長い渡り廊下が、本校舎と職業科の実習室・職員室とを連絡していた。その渡り廊下のなかほどに、一棟の実習棟が本校舎と平行に建っていた。廊下の東側が電気科と化学科の実習室・職員室、西側が土木科と建築科の実習室・職員室だった。

土木科と建築科の実習室の奥に、木型実習室があった。機械科専用ではなく、建築科と共用していた、と記憶する。

手仕上・機械実習室は、土木科と建築科の実習棟の北側に建っていた。そして、渡り廊下を北に突き当たって右側(東側)に、鋳造実習室があった。

ここでお断りしておきたいのは、当時の校舎は現在の校舎と、方向が約30度違うことである。したがって、長い渡り廊下の方向を南北と書いたが、現在の廊下とは約30度の角度がある。

もちろん、校地も現在と形が違っていた。当時は、帯田公園あたりまでが校地で、体育館・プールのあたりは校地外だった。

鋳造実習室にっついて、右側(東側)に機械科職員室があった。職員室は、教室の1/3足らずの広さだったと思う。鋳造実習室と職員室の間にはドアがあって、行き来できた。だが、鋳造実習室から渡り廊下へ出るには、いったん外へ出なければならなかった。だから、雨天の際には、傘をさして教室へ出掛けたものである。

手仕上・機械実習室は、屋根を杉皮でふいた粗末な木造平屋建だった。

万力や旋盤などは、戦災で焼けたのでなまっていた。もちろん、精度はなかった。機械は、すべてベルト掛けだった。たしか、七馬力のモーター1台で、大部分の機械を運転していたように思う。スイッチを入れたら、所定の回転数になるまで、久保先生がベルトを懸命に引っ張っていた姿を思い出す。

雨もりがひどかったので、傘をさして仕事をした。それに、室内は暗かった。雨天のときには、とくに暗いので、池田先生などは、

「よく見えん」と言って、ローソクの明かりでノギスの目盛りを読んでいた。

昭和25年7月、手仕上・機械実習室の補強改修工事がおこなわれて、屋根が瓦ぶきになった。

当時は、手仕上実習で、立方体をつくっていた。鋳物の材料をタガネではつって、ヤスリで削り、キサゲで仕上げた。タガネやキサゲは、池田先生が実習の合い間につくった。

鍛造の実習設備はなかったので、手押しの「ふいご」で火造りした。この重要文化財^①は、その後実習室改築の際に撤去されて、鋳造実習室に保管されていたが――。

「塩田さん、なかなか良い材料を手に入れた。これなら、よう切れるぜよ」

池田先生が、タガネにする良い材料を手に入れたという。さっ

そく、その材料でタガネをつくって、生徒に持たせた。

が、すぐに池田先生が、

「いかん、いかん。あの材料は硬いことは硬いがもろい。

生徒に使わせたら、すぐに折ってしもうた」

と、言いだした。

若い生徒は、無理やり力にまかせてはつるからである。お陰で、池田先生はタガネづくりに追われてほかのことができない、とこぼした。

軟かくてもよいから、折れない材料でなければ駄目だ。なまくらでも、生徒は力があるから大丈夫はつることができる。

切れなくなれば、何べんでもグラインダーで研げばよい。

結局、こういう結論になった。

昭和27年度産振予算で、旋盤用の超硬バイト一式を購入した。

だが、使いはじめたら、たちまち折れてしまった。ベルト掛けのガタ旋盤だから、振動のために折れるのは当然だった。

南国産業博覧会の回転木馬

昭和24年4月、私は定時制へ移ったが、年度の途中、再び全日制勤務にもどって、機械科に勤めるようになった。寺尾義男先生が人事院に務めることになって、退職したからである。

私が機械科にもどるとすぐ、高知市役所の依頼で、南国産業博覧会の回転木馬を、機械科が製作することになった。設置場所は、高知城の三の丸である。

円盤上に固定した木馬に、子供を乗せて回転させるものだった。私らにとって、はじめての経験であった。山田先生を中心に、みんなが相談して、次の構造にした。

回転盤の裏側へ、厚さ4―5ミリぐらいの帯鉄を円形状に固定する。その帯鉄に対し、もみ摺り機のゴムローラを、ばねで下から押し上げる。ゴムローラを回転させて、摩擦力で円盤を回転させる、という構造であった。

回転盤の回転数の見当をつけるのに苦心したことを覚えている。ゴムローラを回転させるために、自動車の差動歯車を利用した。

木造の回転盤の設計を、建築科の門田宗市先生に頼んだ。山田・久松両先生と私が、回転装置の設計を分担した。ほとんど、手仕上げと機械仕上げ作業だったので、製作にあたっては池田・久保・貞広先生が中心になり、全員が協力した。免許を取ったばかりの甲原先生が、小型ダットサンで三の丸に運んで組み立てた。

回転木馬は、完成したものの故障が多かった。会期中、貞広先生がほとんど付き切りで修理にあたった。

この博覧会は、昭和25年3月18日から開催された。したがって、製作したのは2月ごろからではなかったろうか。とにかく、寒かったことを覚えている。毎日、暗くなるまで、機械科全員の先生が働いた。

このときに高知市役所からもらった報しゅうで、ホブ盤を購入した。貞広先生らが出向いて、大阪市生野区の中古機械販売店で見つけたものである。機械科の先生全員の汗と油の結晶であるホブ盤だったが、廃棄されて今はない。

回転木馬の設計図については、散逸するのを心配した私が、持ち帰って保存している。

1948年・昭和23年

- 3. 9 第32回卒業式
機械科 59名、電気科 39名、工業化学科 37名、土木科 17名、建築科 12名、技術員養成所 5名、市工芸 23名、市工芸連 25名。
- 4. 1 新制高等学校令により高知県立高知工業高等学校が設置され工業学校4・5学年は同高等学校に編入され2・3学年は併設中学校生徒となる。
高等学校設置科は機械、電気、工業化学、土木、建築。
- 5. 4 開校記念日。
- 6. 1 土木、建築につき定時制（昼間授業4カ年）の課程を置く。
- 7. 22 全国高等学校優勝野球大会、四国第1次予選決勝戦、高知商に7：6で敗れたが代表権獲得。
- 7. 28 森実投手、不慮の病気のため出場断念。
- 9. 17 第1回県体。
- ~19 卓球団体3位、サッカー3位、バレー3位、野球3位、陸上砲丸投3位（山崎）。

県内 国内外関係

- 4. 1 新制高校発足、公立26校、私立3校、
- 7. 29 須崎工業高等学校全焼。
- 9. 17 第1回高知県高等学校体育大会開催、男子19校
~19 女子10校参加。
- 10. 6 教育委員選挙。
- 11. 高知県高等学校体育連盟発足（高体連）。

- 1. 26 帝銀事件発生12名死亡。
- 4. 28 夏時刻法公布（サマータイム）、27年4月11日廃止。
- 6. 28 福井大地震、死者3,769名。
- 8. 13 大韓民国成立。
- 9. 9 朝鮮民主主義人民共和国成立。
- 9. 15 アイオン台風、関東、東北地方に上陸、死者行方不明者2,368名。
- 11. 12 A級戦犯、東条英機らに判決下る。
※ フランチェスカの鐘、湯の町エレジー、異国の丘、憧れのハワイ航路。

「フッ飛んだ」球児の夏

高石 泰雄（昭25土卒）

昭和23年7月、「ヤッター、徳島だ、南四国だ、蔵本（徳島商投手）のインドロを打ちまくるぞ」県予選を勝ち抜き飛び上って喜んだ。県代表のはこりと母校の名誉と青春の情熱をたぎらせ炎天の運動場で、市営グラウンドでと甲子園目指して猛練習にはげむ工業野球部、成るか甲子園、夢ふくらむ甲子園。筆山にひびけとばかり市営グラウンドで猛練習にはげんでいる或る日突如練習中断を命ぜられ補助球場ポプラの木陰に集合、そこには南四国大会出場決定後数回姿を見せた後援会、先輩達数名が居る。はげしい練習に息がはずむなかな異様な雰囲気を感じた。「諸般の事情で徳島には行かない」我々の耳に飛びこんだ結論である。愕然として一瞬声も出ない。「なぜ?」「どうして?」我々の抗議も後援会は無視。だが我々は一縷の望みをもち猛練習に打ちこんだ。数日後練習中バラック校舎の一室に集合を命ぜられた。深淵にひきずりこまれるようなすくみが全身を貫き

工業の懸念 不出場に疑惑

森実投手は假病?

生徒大会で真相判明

森実投手が、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。森実投手は、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。森実投手は、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。

工業 不出場か

森実投手急病で辞退申入れ

森実投手が、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。森実投手は、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。

先輩の言葉 病気に

「森実投手の病気に」

森実投手が、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。森実投手は、昨午（十七日）高知商業高等学校の練習場にて、練習中に突然倒れ、意識を失った。

（高知新聞より）

皆の顔を見た。皆は何がおこるかわからない何かを恐れているふうであり、主戦投手の彼は特に異様におびえているふうである。にわかにはげしい動悸におそわれガクガクッと足にきた。後援会は「今から彼を医者連れて行く」と言った。「なぜだ」とさげび「ピンピン練習しゅうぢゃないか」とさげんだ。「サア行こう。手当てがおくれたらいかん」彼はそう言われ教室北側の廊下を玄関の方に去って行った。皆一言の声もない。バラックのすき間だらけの床につくざりこんだ、途端にいっそう動悸がはげしくなり大粒の涙が真黒なユニホームを通し膝が熱かった。数分間の出来事であった。彼よりも一段と頭腦的ピッチングをする控え投手がいたが一蹴され一顧だにされない。假病をつかい出場辞退は我々の手の届かないはるかかなたで仕組まれたのである。毎日毎日早朝5時起床約10軒のランニング、夕飯後200本の素振り、甲子園目指し必死で実践した者でなければこの時のくやしき憤りは計り知れないであろう。数多くの先輩諸兄にこわれるままに真実を公表し清潔な学校を維持向上さす事を念願し勇気をもって執筆した。

（当時の野球部員）



6馬力焼玉機関

塩田 一郎 (昭13機卒)(旧職員)

戦前、本校では焼玉機関を製造していた。私が生徒のころは、試運転する焼玉機関の音が、ポンポンと景気よく聞こえていたものだった。池田先生の話では、1カ月に1台ぐらいの割合で製造していたという。

その池田先生の話。

「本校製の焼玉機関は馬力が強かったので、漁船仲間に評判が良かった。

その漁が終わって港へ帰るとき、漁船どうしが競走する。そのとき、本校製の焼玉機関をつけた船が一番速かった」

私が機械科へ来てまもなく、室戸の漁船の持ち主から手紙を受け取った。

その人の漁船には、本校製15馬力の焼玉機関をつけている、という。手紙の内容は、次のとおりであった。当時は、米も油もすべて配給の時代だった。

「実際は20馬力あるが、公称は15馬力である。したがって、農林省(今の農水省)は、重油を15馬力分しか配給してくれない。

20馬力分の重油の配給をうけたいので、実際は20馬力あることを、学校で証明してもらいたい」

参考事項として、シリンダーの内径を書き添えてあった。

戦前は、農林馬力、警視庁馬力というのがあった。

重油の配給を決めるには、農林馬力が基準になる。私が計算してみると、本校製15馬力焼玉機関の農林馬力は20馬力を超えていた。

「本校製の15馬力焼玉機関は、公称は15馬力としてあるが、実際は20馬力以上の出力があった。

計算の結果、農林馬力もこのとおりである」

という、証明書を書いて室戸の船主に送った。

私が機械科へ来てから、注文を受けて6馬力焼玉機関を一台だけ製作した。

だれが設計図を書いたか忘れたが、本校に勤務する以前の濱口身幸先生が木型をつかった。

ところが、鋳造したシリンダーを旋盤にかけたら、パイトの方が逆に削られた。新鉄を相当入れたはずだが、硬かった。そこで、神戸製鋼所高知工場(現在の土電本社のところにあった)から珪素鉄を買ってきて、鋳造し直した。やっと軟かくなって、旋盤で切削できた。

組み立てが終わり、試運転になったとき、

「今の若いもんはどもならん。

ハンドルをようふらんぜよ。わしが、やっちらにゃあーなるまい」

長老池田先生が、むかし取ったきねづかを披露することになった。

当時、機械科には、技術員養成所最後の生徒がいたが、フライホイールのハンドルをよう回し切らんという。圧縮比が高いので、回すには力とコツがいる。

池田先生が私に、

「この旋盤を学校でつくったとき、わしゃーまだ若かったきのう。

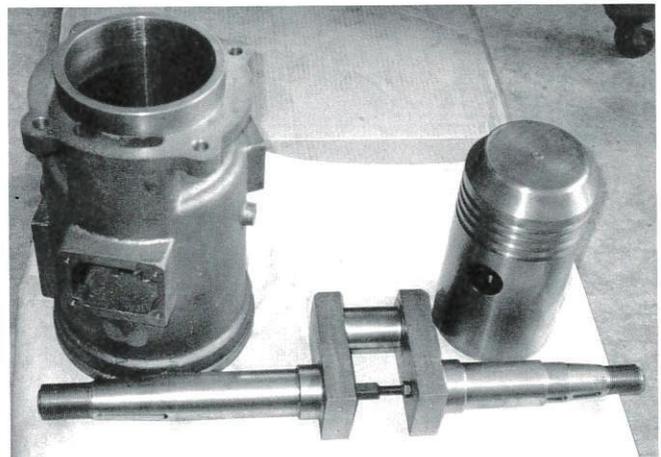
鋳込みが終わったベットの砂のなかから取り出して、一人でひっくり返したぜよ」

と、自慢した。

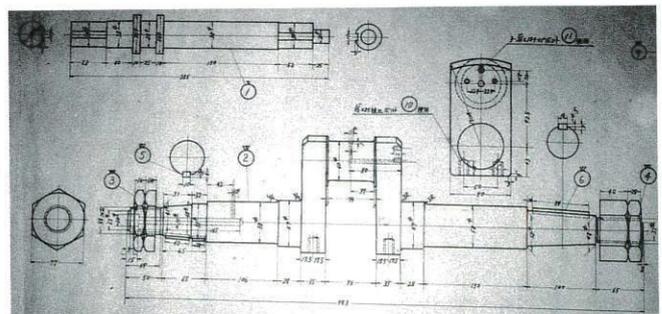
現在、焼玉機関を見ることはできない。が、焼玉機関は、本校機械科の歴史を語る貴重な記念品である。この設計図を残しておかなければならない、と私は思った。

そこで、新制第1回の卒業生(昭24機卒)の卒業製図に、私は6馬力焼玉機関の設計図を書いてもらった。そして、そのなかの優秀作品をいくつか、機械科に残した。木型も鋳物の半製品も、鋳造実習室の隅に残っていた。

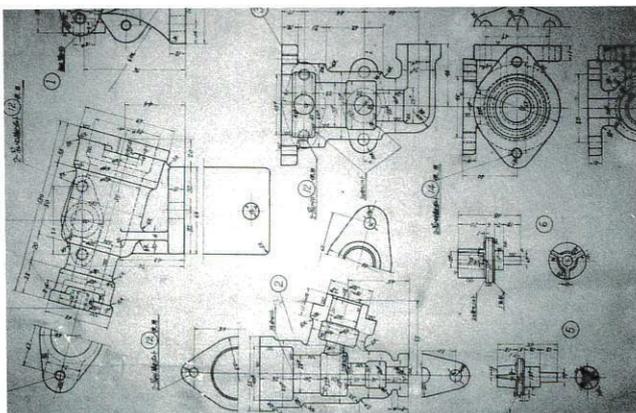
現在も木型は鋳造工場に残っている。卒業製図は同窓会資料室で保管している。



(加工中のシリンダー・ピストン・クランクシャフト)



(バルブ鋳造品)



1949年・昭和24年

1. 8 第2棟2階建達東半部延290坪の校舎落成。
普通教室4、電気実験室等。
1. 11 吉田総理大臣来校
3. 9 第33回卒業式。
機械科 98名、電気科 46名、工業化学科 104名、
土木科 24名、建築科 19名、技術員養成所 12名、
市工芸建専 26名、市工芸木材工芸 15名。
第1回高等学校卒業式。
機 32名、電 21名、化 21名、土 9名、建 5名。
3. 31 併設中学校廃止、定時制に機械、電気、工業化学の
課程を増設、夜間授業に切り替える。
森岡貞篤（大6機卒）第4代校長となる。
5. 4 開校記念日。
5. 18 「大学法案」設置反対の運動に対する緊急職員会。
5. 19 「大学法案」につき生徒総会を開いた結果投票により「スト」突入賛成426、反対380。
8. 全国高校相撲選手権大会、個人3位（沢田）。
9. 1 第2棟西半部延270坪の校舎落成、普通教室7、製
図室1。
県下高等学校再編成により県立高知工業高等学校と、
高知市立工芸高等学校を統合し高知県立高知工業高
等学校とし全日制の設置課程は機械、電気、工業化
学、土木、建築、木材工芸の6科となり工芸高等学
校の職員生徒は工業高等学校へ移って授業を行う。
但し工芸実習は当分元の工場設備を使用（高知市大
原町180番地、2棟120坪及び78坪）、生徒数1,100
名となる。なお工芸高等学校1カ年制の建築別科生
13名も収容。
10. 15 運動会。
10. 14 第2回県体。
～16 陸上砲丸投2位（山崎）、円盤投3位（山崎）、相
撲団体2位、個人2位（沢田）、バレー3位、ラグ
ビー3位。
10. 18 機械科、電気科、工業化学科の3学年は愛媛県新居
浜に見学旅行、土木科、建築科、木材工芸科はセメ
ント工場見学。

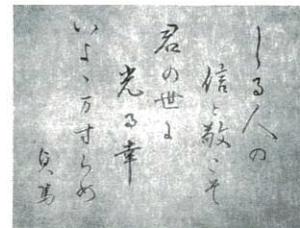
県内 国内外

7. 25 県立5校を3校に統合（追手前、小津、丸ノ内）
8. 3 県立高校へ抽選による生徒配分。
9. 1 新制高校の男女共学実施。
1. 26 法隆寺金堂全焼。
4. 23 為替レート、1ドル360円実施。
7. 下山、松川、三鷹事件発生。
8. 16 古橋広之進、全米水上選手権大会で世界新記録樹立。
400m、800m、1,500m、「富士山のとびうお」と
いわれる。
11. 3 湯川秀樹博士にノーベル賞、物理学賞決定。
12. 1 お年玉つき年賀ハガキ初めて発売。
※ 青い山脈、銀座カンカン娘、悲しき口笛、トンコ節、
イヨマンテの夜、長崎の鐘、三味線ブギ。

定時制創立の頃

田所胤雄（旧職員）

校舎もやっと出来た半棟を除いてはバラックのままであった。
この棧橋通り一帯には戦火の名残りが数多く残され、時折砂塵



第4代校長
森岡貞篤
昭和24年～昭和27年



（職員一同）

を巻き上げてトラックがやって来ては、付近の田圃へ瓦礫の山
を投げ込んでいった。

昭和24年4月のある夕方、その校舎の一角で定時制の入学式
が行われていた。私は20坪の土間一杯に集まったオンちゃんか
ら少年迄、巻脚絆の人夫姿からネクタイを付け靴を持った紳士
姿に至る迄、種々雑多な人種否服装の人々に目を見張った。こ
れが高等学校の生徒！なんと我々の今迄に抱いていた生徒観を
打ち破るものであったであろう。入学式の式辞は校長が述べら
れたが、最後に「働きつつ学ぶと言うこの定時制こそが、新生
日本の教育の本道である」と言う言葉で結ばれた。

これは昭和29年7月発行高知県教育委員会の教育月報に掲載
された、（高等学校めぐり高知工業高校定時制の巻）の一節で
ある。正確に言うると定時制の創立は、これより10ヶ月前の23年
6月に、1週3日制の昼間定時制として土木・建築の二科が置
かれた時に始まっている。翌年夜間課程毎日制に切り変わり、
新たに機械・電気・工業化学の3科が増設された時、初めて専
任の教職員が置かれ、全日制に並ぶ定時制コースとして独立し
た体制が出来たのであった。

私もその創設時代の教員の一人であったが、最年長の主事の
築取先生でも40歳にはなっておられなかったと思うが、殆んど
の教諭は30歳前後で、最年少の数学の坪井先生は20歳そこそこ
であった。一方生徒には確か33歳の土木科の弘光君などもおり、
また教職員はジャンパー、生徒には背広姿も居ると言う具合で、
外から見ると誰が教師か分からないような風景もあった。

然しとにかく教職員全員が若く、しかも多くの方が戦後教員
になり、教育については素人に近かった事や、また当時は新制
大学を始め總て教育制度は新制の時代であり、戦後の民主主義
の風が教育界にも強く吹き込んでいた時代であった事。而もこ
の定時制教職員の中に、高知県教員組合の設立に尽力された東
元善次郎氏が社会科の教師として存在しておられた事も、定時
制の教育には大きな影響があったと思うのである。

1950年・昭和25年

1. 第1回全国高校相撲新人選手権大会、団体3位、個人2位(沢田)。
1. 19 男女共学を推進する対策委員会設置。
3. 9 第2回卒業式。
機 67名、電 26名、化 76名、土 17名、
建 12名、工 13名。
3. 18 南国産業博覧会に回転木馬を市役所の依頼で機械科が製作出展。
3. 31 建築別科廃止。
5. 4 開校記念日。
5. 15 第1棟本館2階建西半部、10教室、付属便所、廊下、251坪竣工。
PTA会長(全)久岡俊一郎選出。
6. 4 寺尾 豊、参議院議員選挙全国区で当選。
7. 14 機械実習工場(136坪)大修理して竣工。これは元県造船株式会社所有建物を昭和24年度県有に移管した杉皮葺バラック建築を瓦葺とし更に補強改修。
8. 27 全国高校相撲選手権大会。
団体優勝(沢田、小田、釜原)
9. 9 工業化学科教室(139坪)竣工、これは都市計画に関連し計画線外にあるバラック建教室164坪を移転改築。
10. 13 第3回県体。
- ~15 相撲団体2位、個人優勝(沢田)、バスケット優勝、バレー優勝、ラグビー優勝、卓球2位、野球3位、ハンド2位、陸上1,500m優勝(岡崎)、水泳平泳200m優勝(浜田)。
12. 4 第1回四国高校選抜相撲大会団体優勝
12. 8 第1棟本館2階建中央以東部延290坪、(玄関、事務室、校長室、応接室、職員室、宿直室、以上1階、145坪)(普通教室4、合併教室、以上2階建、45坪)衛生室7坪、小使室17.5坪、便所2坪、物置4坪、廊下36坪、(中央24坪、東端12坪)合計356.5坪、起工式竹村建設合資会社四国営業所々々代理岡部芳明、市知寄町1丁目32番地、現場監督、鈴木一幸、工事請負。

県内 国内外関係

1. 10 高校全員入学制を決定。
 3. 18 県、市共催、「南国高知産業大博覧会」開催(5.7まで)
 3. 22 天皇陛下巡幸。
 6. 10 県立中央図書館閉館。
 7. 21 高知県高等学校PTA連合会発足。
 10. 8 高知市の日曜市45年ぶり帯屋町から追手筋に移る。
 1. 7 千円札発行。
 6. 25 南北朝鮮軍衝突、朝鮮戦争始まる。
 7. 2 国宝、金閣寺放火で全焼。
 10. 1 国勢調査、総人口8,319万。
- ※ 水色のワルツ、星かげの小径、あざみの歌、白い花の咲く頃。



相撲部

栄冠郷土軍に

高知工優勝す 第二位 高知商

高知工 栄冠郷土軍に
高知工は、昨(24)日、高知市で開かれた「高知工優勝大会」で、栄冠郷土軍に敗れ、第二位の成績を収めた。この大会は、高知工、高知商、高知北陽、高知南陽、高知西陽、高知東陽、高知中央の各校が出場した。高知工は、団体戦で高知北陽に敗れ、個人戦でも高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。

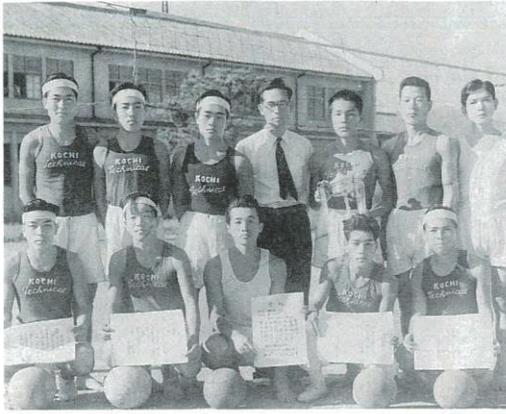
高知三種目に優勝
高知工は、昨(24)日、高知市で開かれた「高知工優勝大会」で、栄冠郷土軍に敗れ、第二位の成績を収めた。この大会は、高知工、高知商、高知北陽、高知南陽、高知西陽、高知東陽、高知中央の各校が出場した。高知工は、団体戦で高知北陽に敗れ、個人戦でも高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。

相撲
高知工は、昨(24)日、高知市で開かれた「高知工優勝大会」で、栄冠郷土軍に敗れ、第二位の成績を収めた。この大会は、高知工、高知商、高知北陽、高知南陽、高知西陽、高知東陽、高知中央の各校が出場した。高知工は、団体戦で高知北陽に敗れ、個人戦でも高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。

ハンドボール
高知工は、昨(24)日、高知市で開かれた「高知工優勝大会」で、栄冠郷土軍に敗れ、第二位の成績を収めた。この大会は、高知工、高知商、高知北陽、高知南陽、高知西陽、高知東陽、高知中央の各校が出場した。高知工は、団体戦で高知北陽に敗れ、個人戦でも高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。



高知工優勝大会の結果
高知工は、昨(24)日、高知市で開かれた「高知工優勝大会」で、栄冠郷土軍に敗れ、第二位の成績を収めた。この大会は、高知工、高知商、高知北陽、高知南陽、高知西陽、高知東陽、高知中央の各校が出場した。高知工は、団体戦で高知北陽に敗れ、個人戦でも高知北陽の選手に敗れた。高知工の選手は、団体戦で高知北陽に敗れたが、個人戦では高知北陽の選手に敗れた。



排 球 部



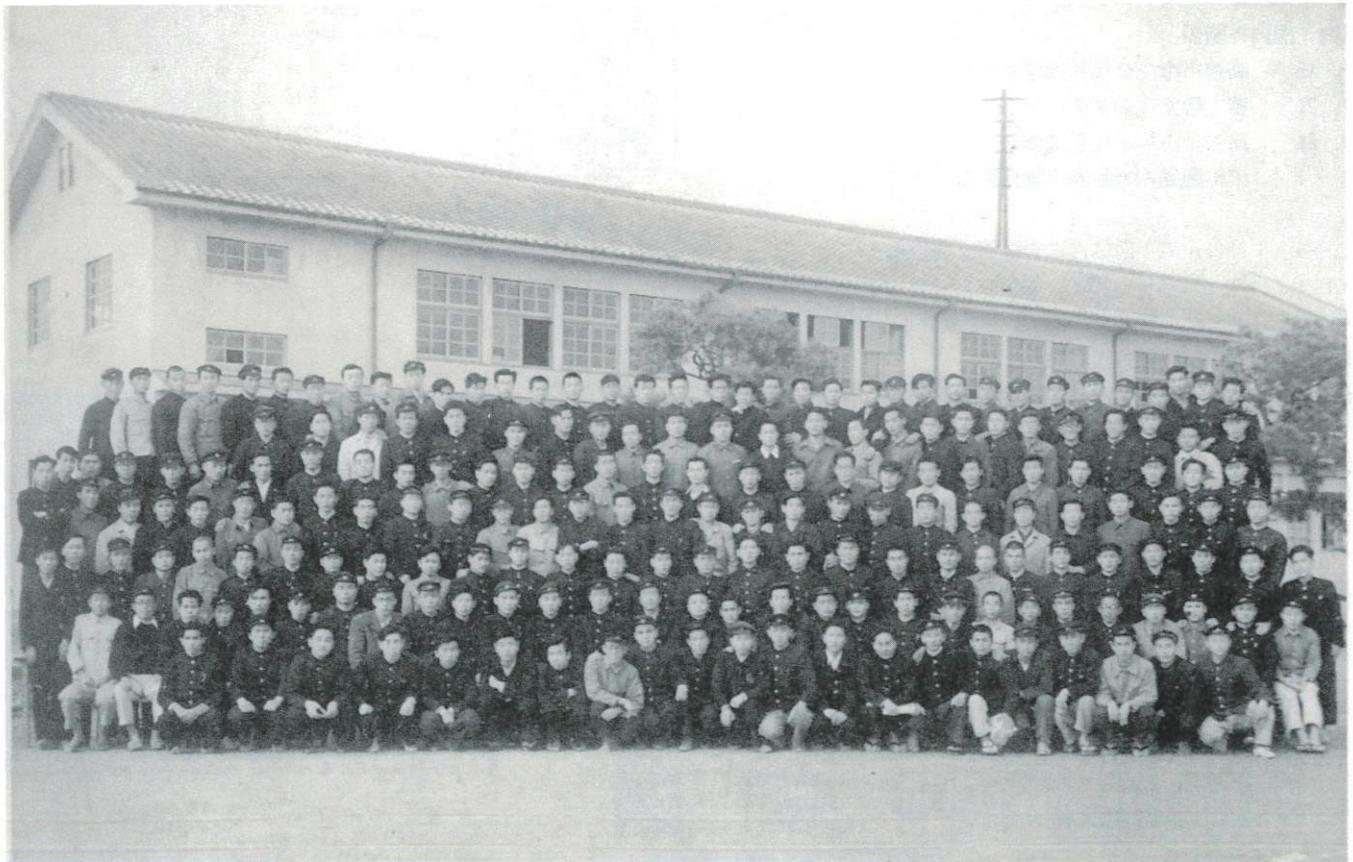
陸 上 部



籠 球 部



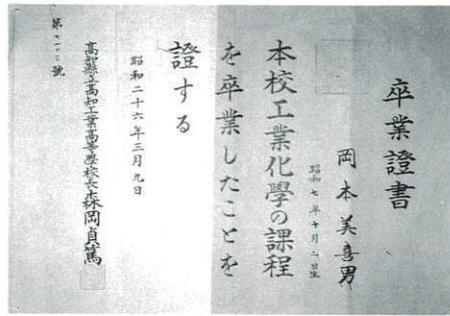
ラ グ ビー 部



(第 1 棟 校 舎 を バ ッ ク に 卒 業 記 念 写 真)



(陸上部)



(体操部)

瓦礫の学園

大西宏志 (昭26電卒)

手元にある同窓会報「開校75周年記念」No.27の、沿革概要を見てみたが、私達の入学した年には何の記述もない。(あたりまえであるが)私達は、昭和20年に県立高知工業学校に入学し、昭和26年に県立高知工業高等学校を卒業した。

入学の年昭和20年は、日本人にとっては太平洋戦争の終戦の年として記憶に深い年であるが、私達にとってはそれ以上にインパクトの強い年であった。

まず母校との縁は入学試験で始まるが、その入学試験の日にアメリカ軍艦載機の空襲にあい、試験のスケジュールが著しく短縮された。特に体育に弱い私にとって、予定された鉄棒、跳び箱の試験に替わって、徒手体操で済まされたことが非常に有り難かった。

なんとか入学した少年を待ち構えていたのは、高知市大空襲である。学校から自宅が比較的近くであったが、なんとか自宅は焼失を免れた翌朝、私は道端に転がった遺体や散乱物を避け、くすぶる焼け跡をたどり学校に向かった。このとき目にした途中の惨状は今でも強烈に脳裏に焼き付き、忘れようとしてもなかなか忘れることの出来ない光景であった。

昨日まで聳えるように並んでいた校舎は跡形もなく、また校庭に突きささった六角形の油脂焼夷弾の林にまたビックリであった。本当に足の踏み場もないという表現が当てはまるくらいのピッチでそれは地面に突きささっており、「ここまでやらなくても」と少年ながら思ったことであった。

そのあと私達を待っていたのは、学校の焼け跡の後片付け、終戦になってからの疎開、他の学校を借りての授業、仮校舎(旧兵舎)での授業、等々であった。

こんな共通体験を持ちながら、私達は新学制による県立高知工業高等学校併設中学校から現在という高校生になったわけであるが、貧乏であった。私の家庭は勿論、学校が世間一般が貧乏ではあったが、その混乱の中であって先生方も同級生も何か純粋であったような気がする。

こんな時代、かえってお互いに心の中で求め合うのか、体育系・文化系の部活動が活発になっていった。ことに文化系は映画・演劇・絵画彫塑・文芸とその活動は、故小松生幹先生をして「高知工業のルネッサンス!」と言わしめた時代になっていた。

何がどうなったか私は当時文芸部員であり、そこには嶋岡辰、

奥村昭二(旧姓松崎)、川上矩顕、西村晋、伊藤憲介といった連中が居り、また俳人には小松六居(生幹)先生を師匠に岩原裕などの才人、また一年後輩には片岡文雄が居る。有能な彼らに伍して私は単に恥をかくぐらいが関の山であったが、本業の電気の勉強そっちのけで部活に入りびたりの学校生活であった。(おかげでその後の苦労が始まる)

こんな展開をみたのも、ひとえに指導して頂いた先生方のおかげで、それぞれの生徒の持つ才能が開いていったものと思われる。今、当時の話をしながら久闊を叙したいが恩師方の多くが故人になられたのが残念である。

瓦礫の学園で出会った元文芸部の悪童達も今は詩人(作家)、会社代表、教師、等であるが、いまだに親交が続いている。また最近は同じ電気科の同窓会がブランクを経て活発になってきた、どちらも姿は変わっても会えば、話は戦中戦後の貧乏で楽しい時代に一足飛びである。本当に同じ学園での体験は何事にも変えがたいものである。

過日、TV画面で湾岸戦争の夜の対空砲火を見たとき、私は少年時代の降り注ぐ焼夷弾の火の雨を思い出していた、こんなことがあってはならない、あってはならない戦争を私達は在学中に体験してきた。(さらに前線で修羅場を体験された先輩も多いことであろう)

今の平和な時代の在校生に、私達の学校生活が想像出来るであろうか?。私達で丁度卒業40年、さらに遡って40年は?、今は80年前、創立当時ご苦勞された先生方、先輩方の時代を偲びながら、我が母校が平和のなかで、さらに百周年に向かって力強く歩み続けることを祈ってやまない。

(1991年8月15日・終戦記念日)



(文芸部)

1952年・昭和27年

1. 第3回全国高校相撲新人選手権大会、団体2位。
1. 西日本高校バスケットボール選手権大会出場。
2. 24 県下ハンドボール総合選手権大会優勝
3. 高知県児童生徒文化賞受賞。
相撲部(保健体育部門)、山本義輝(科学部門)(定)。
3. 9 第4回卒業式。
機 83名、電 96名、化 29名、土 41名、
建 53名、工 10名。
3. 11 定時制、第1回卒業式、土木6名、建築5名。
3. 31 小松(八木)生幹、第5代校長となる。
4. 1 定時制独自で「あうる文庫」、創設。
4. 11 第7棟木材工芸科、木材試験室、木材工作室、塗装
室倉庫等(120坪)、第8棟機械科、材料試験室、
製図教室、精密測定室、機械科職員室等(123坪)、
清水建設株式会社施工で完成。
5. 4 開校記念日、同窓会長に吉村重隆(大6採卒)就任。
6. 2 PTA会長(全)尾崎徳吉再選。
6. 2 全国高校相撲金澤大会、個人2位(釜原憲)。
7. 1 電気科卒業生に対電気事業主任技術者資格検定の第
1次試験免除の認可を受ける。
9. 1 第5回県体。
~7 体操団体優勝、個人総合優勝(池田)、2位(堀内)、
3位(中平)、相撲団体2位、個人3位(釜原憲)、
柔道2位、バスケット2位、ハンド2位、ラグビー
3位。
9. 19 吉田総理大臣来校。
10. 第7回国民体育大会相撲競技、個人2位(釜原憲)。

県内 国内外関係

1. 9 高知県産業教育審議会発足。
10. 27 龍河洞の電気照明竣工式。
4. 10 文部省、中学校以上の体育教材に竹刀競技を採用許
可。
4. 28 対日平和条約、日米安保条約発効、GHQ廃止。
5. 1 独立後初のメーデー、デモ隊皇居前で警官隊と衝突。
7. 19 第15回ヘルシンキオリンピックに日本戦後初参加。
9. 17 八丈島沖に明神礁発生、調査の第5海洋丸爆沈、31
名殉職。
11. 1 米、世界初の水爆実験をエニウェトク環礁で行う。
※ 憧れの郵便馬車、リング追分、ああモンテンルパの
夜は更けて、ゲイシャワルツ。

母校は人生の土俵

澤田俊男(昭27機卒)

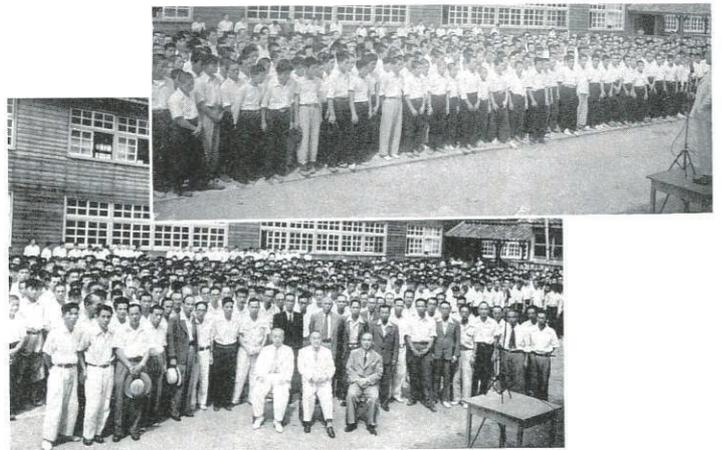
「沢田、早う起きよ。」真冬の午前6時。まだ真っ暗。ぐっすり眠っている心に、突きささるような福永道場の親父の朝毎の声。声。身を斬られるような北風の吹く朝、死ぬるような思いで凍りつくまわしを始めて土俵に上がる。親父の目が横で光る。ゆっくり、しかも力を入れてシコを踏む。300回ふんで大体50分。始めの百回ぐらゐまでは足先がしびれて人の足のような感じ。……シコを踏み終わる頃は、足先からぬくもり、テッポウ、出足の練習と、終わった頃は寒い北風も大した敵ではな



第5代校長
小松生幹
昭和27年～昭和32年



(高知新聞より)



(上) 生徒に講演する吉田首相
(下) 職員・同窓生・生徒と記念写真。

くなる。井戸水を汲み上げ頭からぶっかぶる。
すぐ朝めし。茶碗に大盛り3杯。そこで道場の親父が横からの口癖。「腹がはってからもう一杯食わんと太らんぞ。」カバンをかかえて、(実は中味は大きな昼弁当。)田辺島通りまで堤みの上を走らなくては、8時3分の引返ししの電車に乗れない。それに遅れたら朝のホームに遅刻する。(正直言っていつも乗り遅れ。)

昭和24、5、6年、工業高校時代の苦しくもあり又楽しくもあった思い出の日々。

嶺北の田舎(土佐町田井)に育った私は、高知工業高校機械科に入学と同時に、人一倍相撲を合いたした父の考えで、当時相撲愛好者には県下的にも有名だった、大津田辺島の福永相撲道

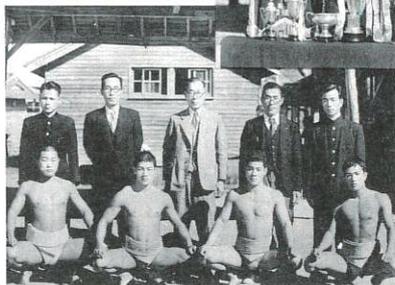
場に下宿させられ、前述のような練習が朝となく、夜となく、暑さ、寒さ、日曜、祭日に関係なく3年間休みなく続いた。

当時の県下の相撲熱は大変なものがあり、県下高校13校のチームがある中で上位5校ぐらいは、実力伯仲で、県下を制する者は全国を制するとまでいわれたことだった。それだけに相撲王国土佐が、合言葉の県勢。全国制覇をやったのけても、当時としては、さほども珍しい事ではなかった。それにつけても日頃の練習は厳しいものであり、授業が終わって土俵に行くと、錦龍さんが先に来て待っている。部員がまわしをしまして、土俵に上がる頃は、毎日のようにファンが練習をみに来るという毎日。2時間半、息もつかせぬ猛練習であり、文字通り土と汗とにまみれた、涙の稽古の連続だった。やっと6時頃練習が終わり、大津、田辺島の福永道場へ帰りつくのが7時頃、近くまで帰ると、じっと耳をすまして音を聞くのが何時の間にか癖になっていた。柱をつくテッポウの音。しこを踏む音。押さんか、こら！そんな音や声が聞こえてくるとその場に座り込みたい気がしたものだった。

一般や青年の国体選手が、それぞれ会社が引けた後、練習に来ているのである。前述の玉ノ海（大相撲片男波親方・死亡）介良の田内氏、先輩の野村漠さんといった錚々たるメンバーがいつも10人は下らない。学校での練習でしごかれ、身も心も疲れ切って門をくぐると、道場の親父、「おお、沢田、早うはだかになり、待ちよった。」あのつらさは表現のしようがない。学校で練習してきました。では、決して通用しない親父であり、学校は学校、うちはうちという鉄人。またしぶしぶまわしをしめ、電灯の下で9時頃まで鍛えに鍛える毎日だった。

綿ようになって蒲団の中に入る。死んだようなねむりにつく。ふと、叩き起こされ、呼び起こされるとはや朝の6時。1日3回、まるで相撲取るために生まれて来たようなもの。すべてが相撲。学校での授業が頭に入らないうちが。今はなき小松生幹教頭（当時）が、私に、「沢田、おまえはあんまり勉強すな、太らんから。」とってくれた言葉を今でも思い出し、なつかしくも、古き良き時代が頭に浮かぶ。私が高校一年の時、苦しい戦いの末県下の予選を勝ち抜き、高知農と共に堺大浜の全国大会に出場が決まった。当時野球は甲子園、相撲は大浜と決まっていた、何かしら全国大会の重みを感じたものだった。何時頃からか相撲も高体連の中に加盟し、全国持ち回りのインター杯となった。私の田舎、田井の家で大会へ向けて一週間の合宿練習をつみ、8月土居武夫監督、錦龍コーチのもと、先鋒沢田、中堅小田、大将竹内のメンバーで臨んだが、強敵、兵庫県、洲本実業高校に3-0で敗れ去った。個人戦はどうしたこ

とか私と優勝の呼び声が高かった高知農の仙頭氏が勝ちあがり準々決勝へと進んだ。がその仙頭氏がそこで敗れ去り、高知県勢で準決勝へ残ったのは私一人だった。そこで敗れて3位を勝ち取ることができ、両親はもちろん、多くの方々の祝福をあびた事だった。まさに天佑神助を受け、時としては大胆不敵に、時に雷光石火の攻め、時に泰然自若に、自分が生殺与奪ともいえるほどの相撲が取れたのも、日頃鍛えに鍛えられた、精神的自信から溢れ出る何かであることを何となく知ることができた。加えて、全国大会という本場所に出場できたことで、全国レベルを知りつくすこともできた。2年の時の優勝候補は北海高、伏見高、金足農高（秋田）、三本木農高（青森）、明訓高（新潟）、関学高（兵庫）、耐久高（和歌山）、東築高（福岡）と



目白押し。どこが出るか予想もつかない大激戦。まさしく群雄割拠の様相を呈していた。捲土重来。先鋒沢田、中堅小田、大将釜原、まさに乾坤一擲。運命をかけて、のるか、そるかの勝負にいどみ、猪突猛進、優勝をかっさらった。

それにつけても、大浜の大観衆の一角に、高知工ががんばれ。の戦をあちこちになびかせ、我れを忘れて御声援下さった在阪高知工の大先輩の方々には深い感謝の気持ちがいっぱい。土俵に上がる私達選手にとり、どれほどありがたかったことでしょうか。どれほど勇気づけられたことでしょうか。図り知れないものがありました。一度優勝の味を噛みしめると一段と自信が湧き、又次の年、多くの方々の御声援を背に、同じメンバーで全国2連覇を飾ることができました。個人戦は3年続け準決勝で敗れ3位止まりでした。

今振り返り当時を回想する時、高知工、という学園は、私にとりまさに人生の土俵だったのです。

中堅産業人の育成

貧弱な実業校の施設

県下高校を万全の態勢に

本県は、戦後、急速な経済成長を遂げ、産業構造も大きく変遷を遂げ、高度成長期を迎えている。この中で、産業界の発展を支える重要な役割を担っているのが、中堅産業人である。彼らの育成には、教育機関の充実が不可欠である。

本県の中堅産業人の育成に、教育機関の充実が不可欠である。この中で、産業界の発展を支える重要な役割を担っているのが、中堅産業人である。彼らの育成には、教育機関の充実が不可欠である。

本県の中堅産業人の育成に、教育機関の充実が不可欠である。この中で、産業界の発展を支える重要な役割を担っているのが、中堅産業人である。彼らの育成には、教育機関の充実が不可欠である。

焦点は、学力低下

初の県下校長会開く

本県の中堅産業人の育成に、教育機関の充実が不可欠である。この中で、産業界の発展を支える重要な役割を担っているのが、中堅産業人である。彼らの育成には、教育機関の充実が不可欠である。

(高知新聞より)

1953年・昭和28年

- 3. 9 第5回卒業式。
全日制 機 69名、電 77名、化 28名、土 42名、
建 35名、工 11名。
定時制 機 11名、電 20名、土 10名、建 8名。
- 3. 9 初めて女子生徒電気科(定)卒業 森田英子
- 3. 25 第3回県高校ハンドボール新人戦優勝
- 3. 31 第9棟階下、木材工芸科、製図室、芸能室、理科室、
準備室、階上土木製図室、建築科職員室、準備室、
建築製図室等380坪完成。
- 4. 10 吉田総理大臣来校。
- 4. 24 寺尾 豊、参議院議員選挙地方区で当選。
- 5. 4 開校記念日。
P T A会長(全)小西佳郎選出。
- 6. 28 第2回県高校柔道大会優勝
- 7. 26 第4回全国高校ハンドボール選手権大会県予選優勝
- 8. 28 第2回県下体育大会ハンドボール競技優勝
- 9. 29 第6回県体。
~31 バスケット優勝、ハンド優勝、柔道団体優勝、
個人優勝(武内)、軟式庭球2位、相撲団体3位、
陸上団体3位、個人800m優勝(川添)、1,500m、
5,000m優勝(門脇)、ラグビー3位。

県内 国内外関係

- 4. 27 県立高知短期大学開学。
- 8. 20 全国高校野球選手権大会、土佐高準優勝。
- 9. 15 高知市営球場で初のプロ野球、広島―巨人戦。
- 9. 1 ラジオ高知開局。
- 9. 20 第8回国体水上大会高知市で開催、本県水泳総合
~25 優勝。
- 10. 23 国民体育大会相撲競技を高知市で開催。この日天皇、
皇后両陛下ご来県。翌日相撲観戦。

- 2. 1 N H K テレビ放送開始。
- 4. 20 ポストンマラソン、山田敏雄優勝。
- 5. 29 英登山隊エベレスト初登頂。
- 6. 25 九州豪雨、5日間で死不明者1,002名。
- 7. 27 朝鮮休戦協定調印。
- 8. 20 ソ連、水爆実験に成功と発表。
- 8. 28 日本テレビ初のテレビ放送。
- ※ 雪の降る街を、落葉しぐれ、君の名は、街のサンド
イッチマン。

高知商業高校講堂で
卒業式



吉田首相と同窓生(学校玄関前)

思い出

安岡 芳徳 (昭28士卒)

入学したのは、第二次大戦後、間もない昭和24年7月、追手前高校定時制から土木科一年(二回生)へ編入させていただきました。この時、21才でしたが、生徒の中では高令者の部でした。

当時は、食糧難で生活物資も乏しく、生きていくのが精一杯でした。校舎は他校に比べみずぼらしい木造二階建てで一部バラック校舎もありました。勤労学徒ということで優遇されましたが、給食はコッペパン一個とアメリカからの援助という脱脂粉乳をコップ一杯もらい飢を凌いで4年間をがんばりました。

先生も外地からの引揚げ者、元軍人、元会社重役の方等を含め多士済々で、当時の社会構成を彷彿させるようでした。

専門教科書も不足し、先生の口述講義を数時間もノートに筆記したり、製図は烏口でスミ入れて仕上げたり、現在とは雲泥の差がありました。交通機関もバス、電車、自転車でしたから、経費節約のため自転車を飛ばして通学しました。



高知県知事祝辞

思いつくまゝに

野 島 茂 博 (昭28定建卒)

早いもので学校を卒業して40年近くの年月が過ぎてしまいました。入学(定時制)した当時は丁度教育勅語が廃止され、新たに教育基本法(昭和22年)が制定され学制改革も行われ6・3・3制の制度が実施されるなど教育の内容・学校の体質改善が進められました。また一方高知市では市街地の戦災復興が始まり、ようやく軌道にのり始めたばかりの時代でした。時代のニーズに応じてか、昭和23年に高知工業高校に定時制が併設された。当時は土木・建築の二科が設置され翌24年に機械・電気・化学の三科が増設され計五科となり定時制工業高校としての体制が整った。私達は建築科の二回生として入学した。

(機械・電気・化学の各科は一回生)

(註) (化学科は入学当初には生徒がいたが途中で挫折し卒業者なし)

入学当時はかなり生徒がいた。何故か化学の生徒が少なく8名位しかいなかった。土木・建築の両科でも20~30位はおり中でも機械・電気の二科に至っては、たくさんの生徒がいたことを記憶している。

生徒の層も年令・学歴共に差があり、新制中学校・小学校高等科・旧制中学校・旧制工業学校の卒業した方など幅が広がった。そのうえ工業高等学校卒業という肩書がはしくて入学する方や一般社会人としても立派に通用している方などあらゆる分野の人の集まりでバラエティに富んでいた、教える方も習う方も大変だったと思います。当時の先生方には種々の面でご苦労をおかけしたことを思いうかべ感謝いたしております。

特に英語はひどかった。戦時中に学校を卒業した者はアルファベット位しか書けない人も多くいた。高校程度の英語の教科書は理解できる筈がない。中学の初級から始まり、お情けで単位をもらった次第です。当然私もその一人でした。今から考えると嘘のような話である。

食堂は校内で唯一の憩いの場であり、交流の場でもあった。食堂と言っても校舎の片隅に設けられた狭い所に古い机・椅子を並べている程度で天井から裸電球がぶら下がった殺風景な場所であった。食堂は多くの生徒が利用し僅かばかりのうどん・パンをかじりながらよく議論し、世間話に花を咲かせいつも熱気が満ち溢れていた。私もその中の一人でしたが、色々の職種の方の年の配の生徒の方の物の見かた考えかたを聞くことができ、非常に参考になることが多く、コミュニケーションの場としての役割が大きかったと思う。また食堂のおばさんも生徒相手によく冗談を言って笑わし、きさくな面白い人でした。今考えると先輩・後輩共にユニークな人物が多かったと思います。

ユニークと言えば電気科の森田英子さんを思い出す。全校に女性はまだ一人と言うこともあって、若い人に人気があった。

清楚な顔立ちでスラックスの良く似合う寡黙な人でした。男性に交って4年間も一人(女性は7年間卒業者なし)で頑張り通すこと並たいていのことでない勇気と根性があることであろう。彼女は職業婦人でもあり電柱に登って電工の仕事をする聞き二度ビックリしたものです。興味も手伝って、或る時手の平を見せてもらったことがあります。美しい手でした。今日ではさほど珍しいことではないかも知れないが、その頃は校内で大変話題になった事でした。今言うトレンドイ女性であったと思う。その後消息は不明、良いお婆あちゃんになって幸福に暮らしていることと推察します。

私も恵まれて昭和40年に小さな建築設計事務所を持ち、精一杯に働き過去を振り返る余裕もなく今日に至っている。今、高知の設計界にも新しい波が押し寄せてきている。それは女性の進出である。当事務所も人手不足もあり、学校(定時制)にお願いして昨年(平成2年)女生徒を入所さし、今年3月無事に卒業し現在に至っています。2名共非常にまじめで頑張り屋で森田英子さんを彷彿します。最近はこの設計事務所でも2~

3名の女性の建築士を見掛けるようになりました。建

築界も女性の台頭が著しく男性の地位を脅かし、

取って変わる時代が早晩に訪れるだろう。聞

くところによると定時制に建築を志す女

性数10名もいると聞く。女性建築士

としての地位を築き来る21世紀

に向って邁進してもらいたい。



高見山より棧橋方面を望む、手前に見えるのは現在の潮江小学校と思はれる。その上方に吾が母校が見える。(山崎修氏撮影)

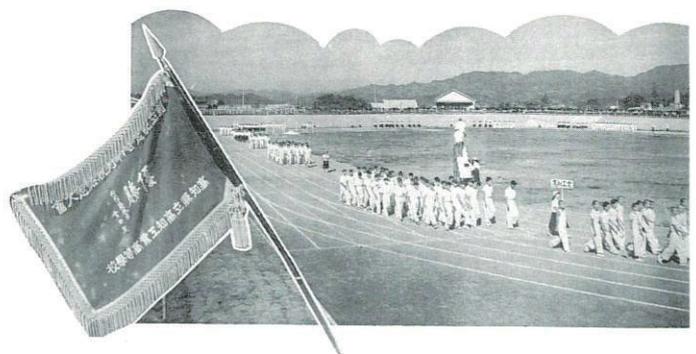
明春も無試験か
高校入学方法の決定延期

さる十一月二十日から続いていた
県教委臨時会は五日で閉会した
十二月開校に提出する資料がま
とまらなかつたため四回延期
給与三半給と三月末給日別給
を決定した名で入学方法に
十五分間かかる十一月開校に持
て延滞してゐる。

小松宮平十一月三日朝開校
県木村下山川開校
投入野田、シャパーな資料
五六八(万二千余円)を
で延滞してゐる。

(高知新聞より)

思い出



1954年・昭和29年

3. 高知県児童生徒文化賞受賞。
多田英明、岸田和男、橋村逸郎、西内 稔（科学部門）
3. 9 第6回卒業式。
全日制 機 78名、電 70名、化 35名、土 40名、
建 32名、工 24名。
定時制 機 16名、電 26名、化 2名、土 5名、
建 9名。
3. 31 第4棟土木科水理実験室、土木科実習室、土木科職員室、測量器室、準備室等100坪完成。
5. 4 開校記念日、同窓会主催で竹内 綱、竹内明太郎先生の胸像再建除幕式挙行。
5. P T A会長（全）小西佳郎再選。
6. 四国高校選手権大会。
体操団体優勝、陸上1,500m優勝（山添）。
7. 全国高校野球大会県予選準決勝戦、高知商4：0敗。
8. 全国高校体操競技選手権大会、団体17位。
9. 25 第7回県体。
～28 相撲団体優勝、個人3位（小松）。軟式庭球3位、
バスケット2位、ラグビー2位、陸上総合優勝400
m2位（川添）、800m優勝（山添）、2位（増井）、
1,500m優勝（山添）、2位（増井）、5,000m3位
（北岡）、110mH2位（安岡）、3位（浜本）、
砲丸投2位（重光）
体操1部団体2位、個人総合優勝（池田）、
体操2部団体優勝、個人総合優勝（竹村）、3位
（山崎）
10. 四国高校野球秋季大会県予選準決勝戦、城東に（現
追手前）5：0敗。
11. 10 新校歌制定、「筆山のみどりに映えて……」
11. 20 第5回全国高校駅伝競走県予選優勝
11. 28 産業教育70年記念事業として県下高校技術競技大会
（会場高知工業）工業科92名、農業科190名、商業
科40名、家庭科75名、これが工業高校にとり第1回
大会である。

県内 国内外関係

1. 24 県生徒会連合結成、20校生徒代表50名参加。
2大スローガン「学問と言論の自由を守りましょう」
「平和と文化の建設につとめましょ
う」
3. 22 ヤマモモを県花に選定。
8. 10 第1回よさこい祭り開催。
8. 14 荒倉トンネル開通。
10. 1 大阪一高知間定期航空路開設。
11. 25 産業教育70年記念式典を挙行。
3. 1 ビキニ水域で第5福竜丸「死の灰」を浴びる。
6. 3 教育公務員特例法一部改正。
7. 1 防衛庁、自衛隊発足。
9. 26 青函連絡船、洞爺丸転覆死不明1,090名。
※ 黒百合の歌、お富さん、岸壁の母。

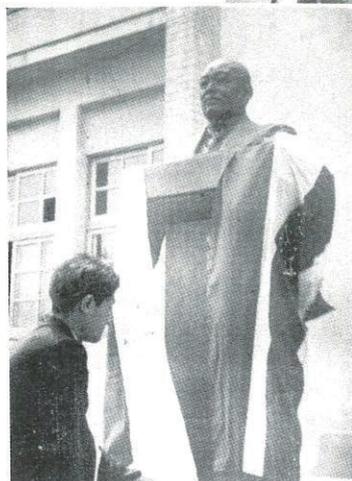


竹内両先生胸像除幕式場

竹内綱先生胸像除幕
座せるは令曾孫啓一氏



竹内明太郎先生胸像除幕
座せるは令曾孫啓一氏



胸像の由来

塩田 一郎（昭13機卒）（旧職員）

昭和29年になって、玄関の両脇に、同窓会が両先生の胸像を再建した。その年の5月4日に、竹内啓一氏を招いて、盛大に除幕式をおこなっている。竹内啓一氏は、竹内 綱・明太郎・強一郎・啓一とつづく、竹内家の当主である。当時は、東京大学の大学院生という話だった。

再建された竹内明太郎先生の胸像は、小松製作所（竹内明太郎先生設立）に建っていたものである。それを、吉田 茂氏（竹内 綱先生五男）・寺尾 豊氏（第一回機卒）のご尽力と、河合良成氏（元小松製作所社長）のご好意によって、学校が譲り受けたものだという。

当時の校長小松生幹先生の話によれば、

「小松製作所には、この胸像のほかに、明太郎先生の銅像がある。ほんとうは、その銅像をもらいたかったのだが——」
銅像の方は、小松製作所が譲ってくれなかったようだ。

竹内 綱先生の胸像は、同窓会が新しく製作した。したがって、二つの胸像の作者は異なる。竹内 綱先生の胸像が本県の彫塑家島村治文氏、明太郎先生が畑 正吉氏である。

題字は、森岡貞篤先生がお書きになった。文章も文字も、いかに森岡先生らしい。先生のお人柄が、そのままにじみ出ている。眺めるたびに、私は懐かしく思う。

この題字について、小川楠水先生（大9電卒）から、私はこんな話を聞いている。

「同窓会が胸像を再建した際、第一回の卒業生である森岡先生（当時、須崎工業高校長）に題字をお願いした。

そのとき、同窓会は先生に、『森岡貞篤書』と、書き入れるようにお勧めした。しかし、先生は、『そういうことは、書くべきではない』と言われて、どうしてもご自分の書であることを、書き残そうとされなかった」

森岡貞篤先生とは、そういう方である。

▽盛大に校歌発表会△

一月三十一日市商講堂で

昨年八月から本校では新しい校歌を広く一般から募集していたが、この程多数の応募の内最優秀作を選んで作曲し（作曲平井康三郎氏）去る一月三十一日に商業高校の講堂に於て、新しい校歌の発表会を開いた。発表に先立って、商業高校校長及び先輩達の祝辞、小松校長から説明があった後、城北中学校の岡崎先生の指揮で、明るい力強いこの校歌の発表を披露し盛会であった。来賓は原作者田村司郎氏以下九名であった。

原作者は田村司郎氏であるが校歌製作委員会では補足訂正したので作詞は校歌作成委員会となっている。



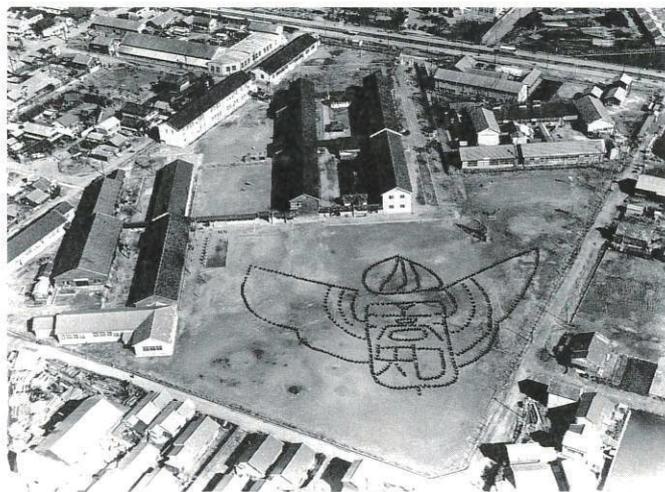
(第1校舎)

思い出を語る

山崎 順猪智 (旧職員)

私は昭和25年～37年まで体育科教員として工業学校に勤務しました。体操部の顧問としてやる気のある選手にめぐまれて成績も常に上位にランクされていました。高知農・高知高と競い合っていたので選手もよく頑張ってくれました。

冬の寒い日などでも練習は屋外でやっていたが私が練習を見にゆくとそこには炭火をおこして暖めておいてくれた。こちらもやらなきゃいかんように選手の方からしむけてくれた。四国、全国大会にも出場し四国大会では何回も優勝することが出来ました。渡辺という選手がおったが非常に優秀で遠藤（オリンピックの選手）と競い合っていたが渡辺は6種目の競技の中ひとつボカをやるので遠藤に勝つ事が出来なかった。これがなかったらオリンピックの選手になっていただろう。ボクシングもやっていたが土の上にマットを敷いてリングを作り練習していたので電車通りから人がよく見てくれた。



(運動場に校章の人文字)

俵編みや溶接に腕振る

本職顔負けの高校技術競技大会

県教育委員会と県実業教育振興会一日午前九時から高知市穂積通の高開かれ、出場選手いずれも学校で鍛えられたその道のマニアである。俵編みやニトリの解体、旋盤のネジ切りやお料理のコンテストを各種目別競技を展覧、本職顔負けの熟練の姿を披露して參觀者を驚かせた。



(火花を浴びて懸命の溶接競技)



体操部

選手は商工、農業など各実業校に普通校の家賃科も加わった延べ三千六百六十二名が出場。農、商、工業および家庭の四部門に分れ、農産物は露草、俵袋や各種測量技術競技、工業の部では旋盤によるネジ切りや銅型、木型、溶接など商業の部では見取り、腕上げの珠算競技、家庭の部では調五才の子供弁当のコンテストやフランスの仕立など五十数種目で行って技術を逞めた。

とくに俵編み競争では八人の選手が小春日和の陽気に暮夏のような大汗を流し、仕立は太鼓、またこし初めて加わった配線工事で、も室内の電線配置に文字と持ち電光石火の早業を競った。飛散る火花を浴びて溶接技術を競う者、旋盤のうなりで挑んでネジ切りの作業に一刻を争う者、音はしいて飯のにおいに包まれて井筒の調理に腕ふる女生徒の一群といずれもめざましい活躍の中のおどやかなお姿をみせて參觀者を驚かせた。

(高知新聞より)



(陸上部)

高知県陸上界に高知工業あり

増井幸雄 (昭31機卒)

“創立80周年” 伝統ある母校を会員の皆様と共に誇りにしたい。そして記念事業委員の方々、誠に御苦勞さまです。

ところで小生が念願かなって高知工業に入学したのは昭和28年の春、それから3年間走りに明け、走りに暮れた、と言っても過言でない。

「類は友を呼ぶ」と言うがこの年、翌年とまずは順調に入部者があり、思い通りの部活ができた。当時の喜びを率直に述べ、共に頑張った友を想い出したい。

高知工業陸上競技部の部長は当時高知県陸上競技協会理事長の中山卯月先生（先生は昭和4年神宮にて400m51秒6を出され当時の全日本3位にランクされる大記録保持者）、加えて家族的雰囲気ので我々と共に汗を流し乍らアドバイスを下さった北川良吉先生、細木、石田の先輩の姿が市営陸上競技場にあったればこそ充実した練習が出来たし、当然の成果をあげることができた。私の記憶では部員は次の通り。

昭和28年度	昭和29年度	昭和30年度
門脇 3 安岡 2 山添 1	平井 1 国藤 1	藤崎 1
西内 3 堀川 2 北岡 1	浜本 1 平田 1	服部 1
野瀬 3 北川 1 増井 1	平松 1 山崎 1	森本 1
川淵 3 重光 1	元吉 1 半田 1	久保 1

少人数だったが練習、練習で精鋭の集団となり高知県総体、陸上競技男子の部では3年間連続優勝した。また全国高校駅伝県予選会で常勝高知工業として全国大会にも3年間連続出場した。全国高校駅伝大会の結果は47校中25～27位で安定した力は持っていた。みんなよく頑張った。

この他特筆すべきことは、山添が昭和30年度のインターハイ800mで3位（2分3秒）に入賞したことだ。これは高知工業陸上部史上の快挙だと思う。各大会出場に際し我々がとった作戦は、県総体では長距離選手主体の我がチームがトラック、フィールドの両方に均等な力を持つ



(修学旅行スナップ)

安芸高、高岡高などを相手に、とにかく各種目に各人が制限枠フルエントリーして予選、決勝を戦い抜いた。予選を終って帰った者を先輩、後輩を問わず余裕時間のある者がマッサージして介抱したし、声援を送り続けた。駅伝では花の一区から抜け出し、逃げきる戦法で、練習も前半から勝負し、その力を最後まで出しきる練習をした。全国大会は12月、試験中も、また天候にも無関係で良く練習はした。ところで小生が最も心を痛めた事は先輩が築いた、陸上部の伝統“優等生”を出すことにあった。この伝統を守るために私は分業化する事にし、競技するものと、勉強するものに分けた。同輩は競技に専念し、全く走る事を知らない後輩を押し倒して入部してもらった。入部してからの彼の姿は不言実行、黙々と走った。その姿には他の部員もきっと何かを感じたことだろう。

見事彼は伝統を守ってくれた。この他に良かった事は陸上部には暴力沙汰は全くなき、和気あいあい、それでいて礼はわきまえていたように思う。また少数だったから一丸となれたし、その人の力以上のものが、だせるという事を体験した事である。

卒業に当り監督から「お前は一生、走り通せ」それしかないぞと言われた。私は表面的なことしか理解できないため、今でもジョギングを続け年に一度は高知の地を走り気持の良い汗を流している。“健康”健康は食に始まり、汗を流し、友と語り、腹の底から笑う、ことにある。会員の皆様、いっしょに汗を流さんかよ。

最後に小生が勤務している(株)クラレ岡山工場「シバテン会員」を紹介します。

平井一雄 S26機卒	増井幸雄 S31機卒
土居 治 S27化卒	野村洋一 S35機卒
今西 治 S29機卒	高橋 洋 S37機卒
伊野部秀一 S31化卒	葛目磯三 S37電卒
川本雄弘 S31機卒	



(体操部)



(陸上部)



(工芸科卒業生寄せ書)



崩れる全員入学制

県教委 選抜試験へふみ切る

【本紙記者 山本 隆雄】県立高等学校の入学制が崩れつつある。県教委は、今年度から選抜試験を導入し、学力の高い生徒を優先的に入学させる方針だ。これにより、従来の「全員入学制」が崩れる懸念がある。県教委は、今年度から選抜試験を導入し、学力の高い生徒を優先的に入学させる方針だ。これにより、従来の「全員入学制」が崩れる懸念がある。

試験目 来月19、20日

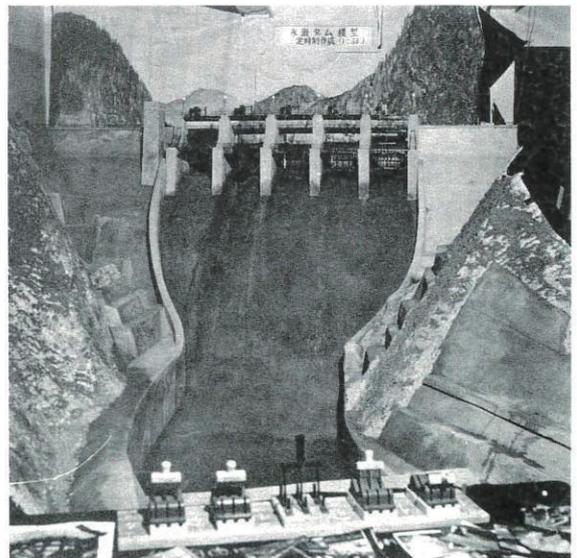
公立校出願は一校に制限

県高教組が闘争宣言

(高知新聞より)

【本紙記者 山本 隆雄】県立高等学校の入学制が崩れつつある。県教委は、今年度から選抜試験を導入し、学力の高い生徒を優先的に入学させる方針だ。これにより、従来の「全員入学制」が崩れる懸念がある。県教委は、今年度から選抜試験を導入し、学力の高い生徒を優先的に入学させる方針だ。これにより、従来の「全員入学制」が崩れる懸念がある。

(全定合同文化祭スナップ)



(定時制各科共同で製作した永瀬発電所模型1/50)

1959年・昭和34年

1. 第10回全国高校相撲新人選手権大会、団体優勝。
1. 第2回全日本計算尺競技大会。
定時制生徒5名とOB1名が参加、一般の部、個人優勝（深田 進、定時制28年機卒、定時制教諭）。
都道府県団体2位、一般団体2位。
2. 高新スポーツ賞受賞。
相撲部（33年度優秀団体）。
2. 28 建築科、工芸科、機械科、木工場、木造平屋建アルミ瓦葺134.5坪完成、渡り廊下木造平屋建厚型スレート葺6坪完成。
3. 1 第11回卒業式。
全日制 機 85名、電 86名、化 42名、土 39名、
建 47名、工 38名。
定時制 機 27名、電 17名、化 8名、土 9名、
建 15名。
4. 1 森岡貞篤（大6機卒）第7代校長となる。
4. 13 県外修学旅行（19日まで）。
5. 四国高校ラグビー春季選手権大会出場。
5. 4 開校記念日。
5. 7 桂工会総会（東京新橋駅日本食堂）。
5. 9 P T A総会（全）会長に宮地恒治再選。
6. 2 寺尾 豊、参議院議員選挙地方区で当選。
6. 5 くろしお会総会（神戸海洋会館）。
6. 27 定時制P T A発足、会長に谷村健助選出、給食用食堂建設に着工。
6. 四国高校体操選手権大会、総合優勝。
6. 四国高校相撲選手権大会、団体優勝。
8. 全国高校体操選手権大会出場。
個人鉄棒3位（渡辺）、団体11位。
9. 12 第12回県体。
~14 相撲団体3位、個人2位（入福）、体操総合2位、
個人総合優勝（渡辺）、軟式庭球、ダブルス2位
（片岡、岡林）、陸上 100m 3位（河野）、200m
2位（河野）、400m 3位（山崎）、円盤投優勝
（岡村）、ハンマー投2位（岡村）、バレー3位。
9. 講堂兼体育館建設は34、35年度に亘る継続事業として、第1期分（基礎、骨格、屋根）に対する予算800万円県議会で通過。
10. 11 大運動会。（工業化学科初優勝）
10. 8 生徒会、高生連脱退を決議、以後脱退校続出。
10. 30 文化祭（31日まで）。
11. 30 講堂兼体育館建設の入札。
12. 5 講堂兼体育館起工式、翌日着工。

県内 国内外関係

2. 2 県教委、教組幹部7名の免職を含む処分発表。
4. 1 ラジオ高知、テレビ放送開始。
10. 6 高生連、校長処分抗議集会（2,500名）。
※ 「南国土佐をあとにして」、大流行空前の南国土佐ブーム。
1. 1 メートル法施行。
4. 10 皇太子ご成婚。
5. 1 防衛二法改正案、「暁の国会」で可決。
9. 26 台風15号（伊勢湾台風）猛威をふるう、死不明5,276名。
11. 27 安保阻止国会請願のデモ隊、国会構内に入る。
※ 人生劇場、東京ナイトクラブ、黄色いサクランボ。

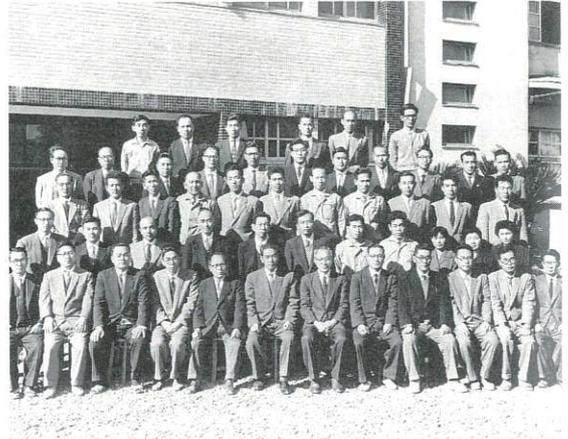


第7代校長

森岡貞篤（大6機卒）

昭和34年～昭和36年

真心は
宇宙に通ず
森岡貞篤



（職員一同）

我が母校の80周年によせて

柳本武男（昭和34木工卒）

私が郷里高知を後にしてこの大阪の地に来て早くも33年の年月が流れました。学校卒業以来色々な出来事がありました。楽しい事苦しい事嬉しい事悲しい事。その一つ一つが鮮明に蘇って来ます。ここに又母校の80周年という喜びが一つ加えられました。「どこの出身や」と言われて「高知です」「高知工業の卒業生です」と言える事に、自分自身の誇りを感じます。私の卒業した34年は不況の最中で、大変な就職難の時でした。どんな所でも働く所さえあれば、と言う時代でした。県内には働く場所は無く、大半の者は県外に活路を見出し、故郷を後にしました。人生とは川の流れる様なもので自分の思うままには流れて行けません。中には始めから終わりまで川の中央を順調に流れて行ける者もいますが、大半の者は岩に当たり、よどみにはまったり、岸辺の草や木に当たり色々な出来事にぶち当たりながら……それでも大きな川の流れるにはさからえず、知らず知らずに流されて行くのです。私も卒業以来33年決して順調な流ればかりではありませんでした。色々な困難に見舞われました。それでもその時々何かと乗り切られたのは、多くの人々との出会いがあったからではないかと思えます。人間は一人では何も出来ません。又人に頼ってばかりでもいけません。一つ一つの出会いを大切に接して行けばお互いに心の通じ合える友人にめぐり会えるものです。私もこちらに来てたくさんの友人を得る事が出来ました。住めば都とはよく言ったものです。それでも故郷高知ですごした18年間の思い出は私の生ある限り忘れる事はないと思えます。特に青春時代の高知工業での3年間はなつかしい思い出だけでなく、私の心の支えにさえなっています。3年前に34年工芸科卒の同窓会が30年ぶりに実現しました。高知に帰る機内から胸の高鳴りを覚えたものです。

同級生のなつかしい顔々……30年の時の流れが一瞬に消え去り、皆で名前を呼び会い食べる事も飲む事も忘れ話しに花を咲かせました。ほとんどの者がすぐに顔と名前が一致しました。只私一人だけは例外でした。「お前だれやった」とか遠くから私の事を指差しながらヒソヒソやっている者。私も余り目立ったほうではなかったが、3年間も一緒に学んだ中やのに何で自分だけがという気持ちで「俺や、柳本や」「柳本やったらよう知ってるけどお前とは違う」そう言われれば学校卒業時の体重46キロ現在78キロ身体つきだけでなく人相までも変わってしまっていたのである。その日は明け方まで語り明かしたものです。一晩たっても「まだ信じられない」と言う者もいて困ってしまいました。皆の協力で同級生のほとんどの者の消息がわかり、又の再会を心待ちにしている今日この頃です。私は一つの大きな幸せよりも、小さな幸せを重ねつつこれからの人生を歩いて行きたい、そんな思いです。私も51才人生の残りはそう長くはない。然しもうひとふんばり出来る年令でもあります。おそらく私もこの大阪の守口で骨を埋めそうですが、もし妻と共に長生きが出来たなら妻と同じ郷里高知に帰って老後をのんびり送りたい、そんな夢を見つつ過ごしています。現在従業員10名程の町工場を経営しています。毎日毎日仕事に追われる日々です。それでも後継者難の時代に4年前には長男が、又2年前には甥が入社してくれました。私も彼等の成長を楽しみに、これからも前向きに社業に精を出して、もうひとふんばりしよう決心している今日この頃です。高知の同窓生の皆さん私よりももっともっと頑張っている同窓生が日本中いや世界中にいる事を忘れないで下さい。思いつくままに書いた文章で乱文この上ない寄稿となりましたがおゆるし下さい。終りに我が母校高知工業の末長い発展と同窓生の皆様の御多幸を祈りつつ筆を置かせて頂きます。



(木材工芸科授業風景)

部活動の思い出

矢野晴紀(昭34電卒)

私は、昭和34年電気科の卒業で、在校中の思い出の中で、特に現在の生活の一部にもなっている、テニスの部活動での思い出に付いて、話したいと思います。

テニスは、(当時は、軟式テニス) 中学時代から、憧れていましたが、親友(同級生の工芸科の城汰君)の誘いで、剣道をやりました。工業高校に入ってからはやはりテニスをしたくてテニス部に入部、文化部では、ラジオ部に席を置いていましたが、

そのラジオ部にいた、弘瀬君、樋口君をも引き入れて、テニスを始めました。

テニス部には、城北中学時代の先輩がいて面倒を見てもらい、大変にお世話になりました。部員も結構多かったので、何時も早くコートに入って練習をしていました。

真夏での、直天下での練習で、テニスボールが校舎の二階の屋根の樋に引っ掛かり(何処に打っているのかね野球じゃないよ!)、其の球を取りに屋根に登り、暑さと、陽炎で目が眩み、屋根から落ちるかなと、冷や汗をかいた事がありました。

よく一緒に練習をしていた一人に、同級の細山君がいました。そのせいか、2年生の時、県大会に細山君とのペアで初出場をした事がありました。高知市営コートの真っ赤なアンツーカーが目眩しく無我夢中でプレーをした事が、今も思い出されず。試合の内容は全く覚えていませんが、アンツーカーのコートを見る度に思い出します。

学校のコートでの練習の他に、親友の樋口君の案内で高知裁判所のテニスコートで、3人(樋口君、弘瀬君)で、よくプレーした事と、高知城の大手門のテニスコートで土佐女子のテニス部と一緒にプレーをした事です。土佐女子の部員は真っ黒に日焼けして、我々より逞しい女の子ばかりでした。数年後高知に帰った時、町で声を掛けられたが、一瞬誰か判らずキョトンとしていたら相手から土佐女子テニス部だった事を聞かされ、白くなって変身してしまった女の子に驚いた事でした。

当時、硬式テニスは、柳原の私営コートで始まったばかりで、知人に勧められて、硬式テニスをして見ないかと言われ見学に行った事があり、その時の印象が、何ともノンビリした迫力の無いテニスに見え(プレーをしていたのは初心者だったか?)、軟式テニスのカー杯振るラケットのスピードに魅力があり、硬式テニスは見送る事にしました。

それから数年後、妻が学生時代に硬式テニスをプレーしていた関係で、それではと、始めた硬式テニスが今では、無くてはならない体力維持スポーツの一つとなり、現在の会社でもテニス部に入り、町の大会、県の大会にと、若い者に負けじと、頑張っています。

何よりプラスになったのは、テニスを通じて、社内や地域に於いても職種や職分を越えて多くの知人が出来幅の広い付き合いが出来ることです。

球種こそ違え同じテニスコートでプレーの出来るテニスを学生のときに身に付けたことで、今なお続けられる事は大変有り難く、体力の続く限りテニスを楽しみたいと思っています。



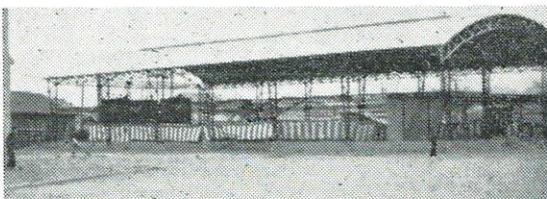
(庭球部)

1960年・昭和35年

3. 1 第12回卒業式（新講堂で行われる）。
全日制 機 87名、電 83名、化 42名、土 43名、
建 45名、工 39名。
定時制 機 29名、電 27名、化 11名、土 13名、
建 16名。
3. 6 高知県児童生徒文化賞受賞。
自然科学研究部（科学部門）。
3. 20 定時制、給食場木造平屋建瓦葺15.5坪完成。
完全給食始まる。パン、ミルク、副食、単価30円。
3. 31 配電室コンクリートブロック造平屋建12.5坪完成。
5. 4 開校記念日、同窓会、同工会連合総会（土電会館文
化ホール）。
5. 14 P T A総会（全）会長に宮地恒治3選。
5. 四国高校ラグビー春季選手権大会出場。
5. 29 桂工会総会・名古屋支部総会・大阪支部総会・くろ
しお会総会（神戸支部）。
6. 10 国画会会員、真垣武勝（大10応化卒）大作2点を学
校に寄贈（巴里100号2点、現応接室）。
6. 四国高校選手権大会。
体操団体2位、バレー出場。
6. 18 講堂兼体育館第2期工事着工。
6. 25 P T A総会（定）会長に谷村健助再選。
8. 全国高校総合体育大会。
バレー、体操出場。
9. 15 第13回県体。
- ~18 軟式庭球優勝、ダブルス3位（片岡、別府）野球3
位、バレー優勝、体操1部2位、2部優勝、2部個
人総合優勝（大川）、2位（小野）、ソフト3位、
ラグビー3位、陸上やり投3位（泉）。
10. 第15回国民体育大会。
体操競技団体6位入賞（山本 学、藤田）、バレー
出場。
10. 16 大運動会。（土木科優勝）
11. 1 講堂兼体育館、鉄骨作り一部RC造延335坪完成。
11. 第11回全国高校駅伝県予選大会、3位。
12. 第12回下関—大阪間府県対抗駅伝大会出場（大谷、
谷）。

県内 国内外関係

2. 25 土讃線にディーゼル準急。※高知市58年ぶり湯水。
9. 1 県教委が勤評不提出の小中校長21名を降格処分。
※ 室戸測候所の大型レーダー活動開始。
1. 19 日米新安保条約調印。
6. 15 全学連デモ隊国会内に乱入、警官隊と衝突、東大生、
樺美智子死亡。
5. 21 チリ大地震発生、24日三陸、北海道に津波来襲139
名死亡。（須崎海岸も大被害）
9. 10 カラーテレビ本放送開始。
10. 12 浅沼稻次郎社会党委員長刺殺される。
12. 27 国民所得倍增計画を決定。
※ 潮来笠、ズンドコ節、達者でな、誰れよりも君を愛
す。



表彰状

児童生徒文化賞
高知工業高等学校自然科学研究部

右は校内研究活動の中心的存在としてつねに優れ
た着想と旺盛な研究心により一致協力して立派な
研究の成果を挙げており特に『自然科学の五つの
研究レポート』や『簡易な湿式紡糸実験法』など
全国的にも優秀な研究を完成し本県の科学教育振
興に大きく貢献をせられたのでそのすぐれた功績
を表彰します

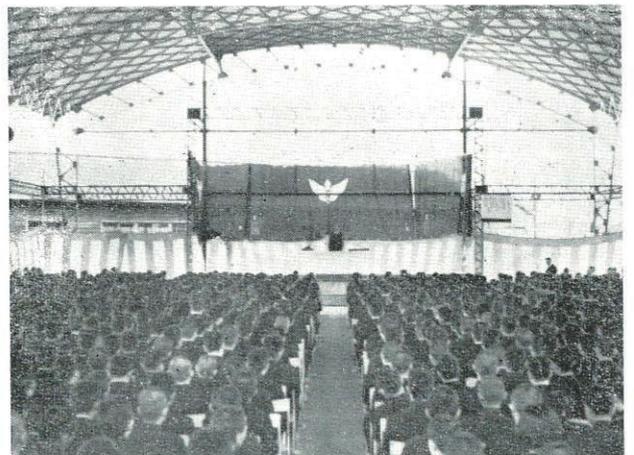
昭和三十五年三月六日
高知県教育委員会



真垣武勝（大10応化卒）寄贈の「巴里」100号2点現在応接室
に掲額されている。

巴里の中心発祥地のノートルダム寺院の塔の頂上からセーヌの
上下流を眺めたのがテーマである。

視覚的な写生画とは違い作者の絵画的な複雑なイメージによる
ものであるから写真的な構図ではない。しかし実在する橋や建
物は入っている。



意義深き昭和34年度卒業式



(相撲部)

相撲部のころ

大西 貴 (昭35士卒)

私が高知工業高校を志望した理由は、大変伝統があり、又当時全国高校相撲大阪大会(現在のインターハイ)で2連勝していた相撲部の早川・島崎両先輩に憧れ、自分がどれくらい相撲が取れるのか試したかったからです。又、私の父が大工をしていた事もあり、最初は建築科を志望しました。が父は、「お前は建築向きでない。土木にせよ。」と、言いますので土木科を志望しました。今も、父が言った事は正しいと思っています。以来、土木業界で禄を食む事になり、現在に至って居る次第です。

私達が入部した時は、県下の中学生相撲の大半が高知工業高校に入学したため、一年生部員が十人以上居りました。練習は、さすがに伝統校だけに厳しい毎日が続きました。休みと言え、定期試験前と台風、正月位しか覚えがありません。コーチには、大相撲で活躍した元錦竜さんが居り、雨の日には土俵外の水溜りに放込まれたり、又、厳しい練習で精根尽果て倒れていると土俵のおがくずを口に入れられたり、竹ぼうきで叩かれたり、又、先輩が休暇で帰省した時は毎日伸びる程の練習でした。一年の時、田井の沢田先生宅で合宿していたのを母が見学に来たものの最後迄練習を見る事できなかったそうです。とても酷くて親として見ていられるものではなかった、と後日話しておりました。

そんな練習の甲斐あって大阪大会では、団体3位になり、翌年は団体優勝をしました。

優勝した感想は、全国制覇の嬉しさよりもなすべき事を成し遂げたという気持ちの方が強く残っております。この年、全国大会に3回出場して、2回優勝、1回は2位、他の四国、県内大会は全部優勝という成績でした。高知工業には優秀な選手が沢山集まり、尚且つ、伝統の練習を守ってきたから常勝は当然みたいな思いが選手の間にも有った様に思います。

学生生活は随分、悪戯鬼をして、沢山の先生方、特に土居武夫先生には御迷惑を掛けました。その先生方のお陰で卒業し、今は工業高卒として活動しながら過ごせる毎日に、感謝しております。又、在学中に、寺尾豊郵政大臣が学校で講演され、その中で「自分も悪さをした生徒だが、卒業して一生懸命やればここまでなれる」と、いうお話の一節、この部分だけが頭に残っています。当時、悪戯鬼共はこの一節に随分と喜び、励まされた事でした。

大変お世話になった土居武夫先生が、平成2年他界されました。葬儀の日「相撲部で、出棺をお願いします。」と言われ、先輩達と担がせて頂きました。生前、学生時代の恩返しにと、時々、御機嫌伺いに訪ねておりましたが、晩年、お体が弱れるのを見て、大変淋しい思いをしておりました。しかし、最後を、見送る事ができました事は、私にとって残念でたまらない反面、感無量の想いがありました。

相撲を取って、乱暴な性格に輪が掛かり、悪戯鬼もしっかりやりましたが、しかし、相撲道たる礼儀正しき、先輩を立てての社会生活、何よりも、苦しい練習に耐え、頑張り抜く事を覚えて良かったと思っています。又練習はいくら厳しくても自分に力がついている時、一向に苦しくなく、厳しい練習が楽しかったものです。

これからも工業卒として、お世話になった学校の為、又、色々、御指導頂いた先輩に感謝しながら、後輩の為に少しでも役立つ事ができる社会人になりたいと思って、今日、今日を過ごしている次第でございます。



(土木科授業風景)



1961年・昭和36年

1. 28 講堂兼体育館落成式举行。
2. 第1回県高校10km競走大会、3位(谷)。
3. 1 第13回卒業式(新装なった講堂で举行)。
全日制 機 84名、電 76名、化 40名、土 42名、
建 37名、工 29名。
定時制 機 38名、電 28名、化 12名、土 18名、
建 22名。
4. 1 戸梶徳喜(昭2電卒)第8代校長となる。
4. 国庫補助により定時制給食の脱脂粉乳無償となる。
5. 4 開校記念日。
5. 13 P T A 総会(全)会長に浜田正元(大14化卒)選出。
5. 20 P T A 総会(定)会長に谷村健助3選。
6. 24 四国高校選手権大会、体操総合優勝、バレーベスト4。
7. 30 全国高校相撲選手権大会出場、優秀32校に選ばれる。
8. 全国高校体操選手権大会。
個人総合5位(藤田)、団体15位、バレー出場。
9. 3 第8回四国高校相撲選手権大会2位。
9. 18 第14回県体。
~19 バレー優勝、ラグビー優勝、弓道団体優勝、個人優勝(新田)、相撲3位、体操1部3位、個人2位(大川)、体操2部2位、陸上団体2位、5,000m優勝(谷)、三段跳優勝(森本)。
9. 22 同窓会館起工式、施工者、新興土建(勝賀瀬嘉之助)(24年建卒)に700万円決定。
10. 第16回国民体育大会。
弓道近的7位、自転車競技出場(谷、新開)。
11. 第12回全国高校駅伝県予選大会、2位。
11. 全日本総合バレーボール大会出場。
12. 第5回下関一大阪間府県対抗駅伝大会出場(谷、新開)。

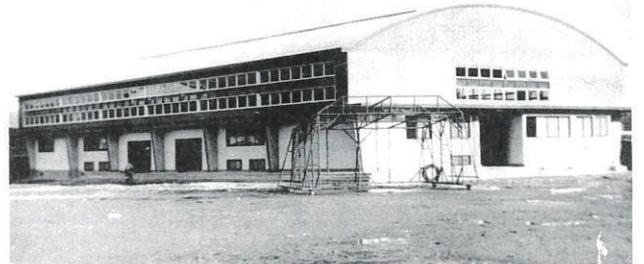
県内 国内外関係

3. 9 高知市長浜に「教科書をタダにする会」誕生。
9. 16 第2室戸台風、県下の被害甚大、瞬間最大風速84.5m。
12. 22 県の誘致第1号、大阪窯業セメント高知工場操業開始。
12. 29 県教委学力テスト、日宿直拒否教諭ら462名処分。
4. 12 ソ連、人間衛星打ち上げに成功、ガガーリン小佐地球を1周して帰還。
8. 13 東独が東西ベルリンの境界に壁を構築。
※ 上を向いて歩こう、おひまなら来てね、硝子のジョニー、銀座の恋の物語、スーダラ節、君恋し。

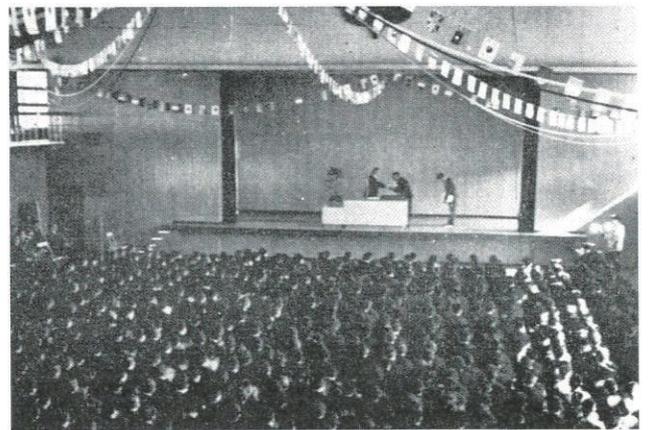


第8代校長
戸梶徳喜(昭2電卒)

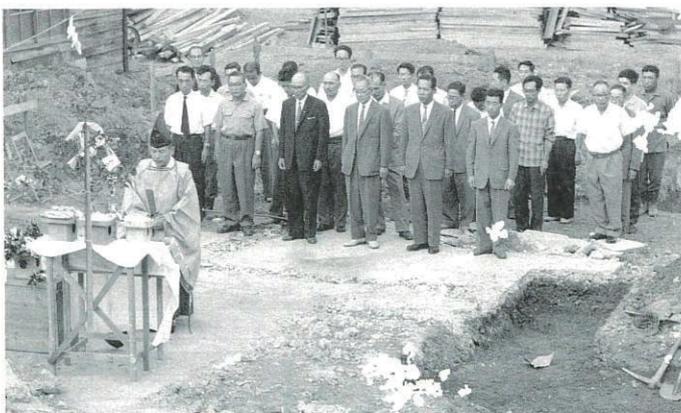
昭和36年~昭和45年



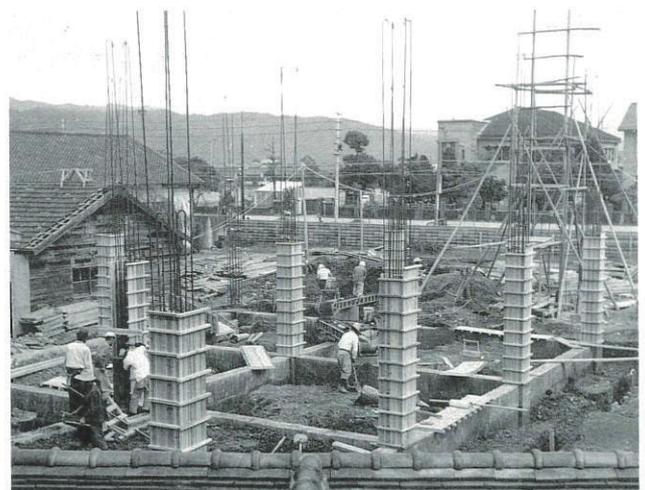
昭和34年度・35年度の継続工事で完成した講堂兼体育館。工事費1,403万円、1階845m²、2階292m²S K式シャーレン建築様式。



落成式



同窓会館起工式(9.22)



工事が進む同窓会館(10.22)

いま思う事

矢野 賀代 (昭36化卒)

私は、兄が付けた渾名が「ペンペン草」といい、中学の時は体操部に入っていました。城東中学校から、初めて女子が高知工業に進学する事になり、担任の大野一郎先生(故人)に「後に続く者の為にも頑張るように。」と励まされました。

当時女生徒の進学は少なく32年に電気科で初めて1名卒業しております。33年に化学科2名、工芸科1名、34年に化学科1名、35年に化学科2名、工芸科1名で私達36年卒業は電気科1名、化学科4名、建築科1名、工芸科2名で在学していた3年間に女生徒も増えて10数名になっていました。

全校生徒1000名位、男の先生70名位、その中で私達の憩の場所は養護の先生のいる保健室しかなくて、よく出入りしたものです。服装は白いブラウスとスカート等自由でしたが、変に目を引く姿の者はいなかったと思います。現在は、制服もあり、全校132名の女生徒がいます。入学時には茶道部がありましたが、女生徒が増えた事もあって、華道部を作る事になり、中学の時習っていた小原流の町田先生(故人)をお願いし、同学年の森岡生花店が花材を届けてくれました。稽古日は、先生や男子生徒も顔を出し華やかなクラブとなりました。今は谷岡先生が引き継いでおいでます。

絵も大好きで、美術部にも入り、絵を描いたり、美術展にも行きました。

運動クラブは庭球部に入っていました。2面コート of 整備に、草引きや重いローラーを引っぱったりして、練習までが大変でした。

2年生の時、県体に出場する事になり、市営球場で、選手として入場行進をしました。

「イヤ工業にも女がおる。」と珍しがられました。試合は、ジュースアドバンテージ、アゲインで負けましたが、応援は賑やかなものでした。

昭和36年3月講堂兼体育館の完成で私達が晴の卒業生となりました。

今、運動場に立ち東を見ますと、半円カーブ屋根の体育館と、三角屋根の新体育館が競うように並んでいる姿は、悲喜交交、感慨無量です。

新体育館の完成していく様子を見ながら、同窓会事務局に勤務できます幸せをかみしめております。



(華道部)



全国高校総合体育大会・第15回国民体育大会出場のバレーボール部(昭和35年度)。

四国高校体操選手権

高知工(男)六連勝をとげる

▽男子総合	①高知工 19・25点 ②高知高 30・10点 ③新田高 30・3・75点
【個人総合】	①藤田一(高知工) 110・85点
②山本(高知工) 106・65点	③柳原(新田高) 103・60点
④田(高知工) 103・25点	⑤山(高知高) 102・20点
⑥淵(丸亀高) 102・10点	▽選手権藤田一(高知工) 18・35
▽個人別	①藤田一(高知工) 17・70点
②丸亀高 17・60点	③丸亀高 17・60点
④丸亀高 17・60点	⑤丸亀高 17・60点
⑥丸亀高 17・60点	⑦丸亀高 17・60点
⑧丸亀高 17・60点	⑨丸亀高 17・60点
⑩丸亀高 17・60点	⑪丸亀高 17・60点
⑫丸亀高 17・60点	⑬丸亀高 17・60点
⑭丸亀高 17・60点	⑮丸亀高 17・60点
⑯丸亀高 17・60点	⑰丸亀高 17・60点
⑱丸亀高 17・60点	⑲丸亀高 17・60点
⑳丸亀高 17・60点	㉑丸亀高 17・60点
㉒丸亀高 17・60点	㉓丸亀高 17・60点
㉔丸亀高 17・60点	㉕丸亀高 17・60点
㉖丸亀高 17・60点	㉗丸亀高 17・60点
㉘丸亀高 17・60点	㉙丸亀高 17・60点
㉚丸亀高 17・60点	㉛丸亀高 17・60点
㉜丸亀高 17・60点	㉝丸亀高 17・60点
㉞丸亀高 17・60点	㉟丸亀高 17・60点
㊱丸亀高 17・60点	㊲丸亀高 17・60点
㊳丸亀高 17・60点	㊴丸亀高 17・60点
㊵丸亀高 17・60点	㊶丸亀高 17・60点
㊷丸亀高 17・60点	㊸丸亀高 17・60点
㊹丸亀高 17・60点	㊺丸亀高 17・60点
㊻丸亀高 17・60点	㊼丸亀高 17・60点
㊽丸亀高 17・60点	㊾丸亀高 17・60点
㊿丸亀高 17・60点	

▽鉄棒の藤田一(高知工) 18・8	○点 ②山本(高知工) 17・80点
③柳原(新田高) 17・60点	

第十四回高知県高等学校体育大会
最終日の二十一日は午後二時から
高知市営競技場で高知工・高岡の
ラグビー決勝が行われ、高知工

が6-3で高岡をくたし優勝。四
日間にわたる大会の幕をとした。
なお水泳は団体夏季大会参加の
ため、二十三日午前九時から高

知市営プールで行なわれる。
【決勝】
高知工 6 (3-3) 3 高岡

1962年・昭和37年

1. 第5回全日本計算尺競技大会。
読上算の部、個人優勝、楠瀬利明（39定機卒）。
2. 第2回県高校10km競走大会、優勝（谷）。
3. 1 第14回卒業式
全日制 機 84名、電 86名、化 42名、土 45名、
建 43名、工 42名。
定時制 機 42名、電 37名、化 14名、土 15名、
建 12名。
3. 高知県児童生徒文化賞受賞。
竹崎勝博、山崎嘉伸（科学部門）。
3. 15 同窓会館（図書館）鉄筋コンクリート造2階建延12
0坪完成。
3. 31 化学科実験室延106.45坪完成。
4. 県高校バレーボール春季大会、優勝。
5. 4 開校記念日、創立50周年記念同窓会館、図書館落成、
記念式典、祝賀会挙行。
5. 12 P T A 総会（全）会長に浜田正元（大14化卒）再選。
5. 29 P T A 総会（定）会長に谷村健助4選。
7. 全国高校野球大会県予選準決勝戦、高知商に3:1敗。
7. 四国高校バレーボール選手権大会、ベスト4進出。
8. 全国高校総合体育大会。
体操、弓道、陸上（谷、森本）バレー出場。
9. 16 第15回県体。
~19 バレー優勝、相撲団体2位、柔道3位、サッカー3
位、ラグビー2位、剣道3位、体操、個人総合3位
（小野）、陸上総合2位、400m2位（森本）、800m優
勝（森本）、3位（友村）、1,500m2位（谷）、3位（森
本）、砲丸投3位（山岡）、円盤投2位（上田）、走高
跳優勝（徳田）、卓球個人3位（西村）。
10. 第17回国民体育大会。
陸上個人（森本）、自転車競技（谷）、バレー出場。
11. 第13回全国高校駅伝県予選大会、3位。
11. 24 木材工芸科を工芸科と改称。
12. 第6回下関一大阪間府県対抗駅伝大会出場（森本、
谷）。
※ 定時制、パン（65g1個）が無償となり夜食として
全員に支給。

県内 国内外関係

1. 20 第1回「交通事故ゼロの日」を四国四県で実施。
2. 4 関 勉、第2セキ彗星発見。
10. 27 高知県庁落成式。
11. 13 高知港改修で狭島爆破始まる。
12. 27 県教委、「高等学校生徒会の連合組織の取り扱いに
ついて」通達。
3. 31 教科書、無償法成立。
4. 24 高校全員入学問題全国協議会結成。
6. 16 昨年の交通事故死者12,865名と事故白書。
8. 12 堀江謙一、3ヶ月がかりで小型ヨット太平洋横断成功。
8. 30 初の国産旅客機、YS11試験飛行成功。
10. 22 ケネディ大統領、キューバへの武器禁輸の海上封鎖
を宣言、キューバ危機に発展。
※ いつまでも夢を、一週間に十日来い、下町の太陽、
島育ち、なみだ船、可愛いベビー。



開校50周年記念式典

(祝賀会)



昭和三十七年五月四日、母校開校五十周年記念式典に工業図書館落成式が
 挙行された。あいにくの雨天にもかかわらず、来賓、卒業生、父兄など四百
 余名のご臨席を得、これに全職員並に在校生徒千数百名、大講堂も溢れるば
 かりの盛況であった。
 定刻午前十時を過ぎること十分、式は校歌の斉唱に始まり、別項式次第に
 従って、厳粛かつ整然ととり行なわれ、同十一時四十分五十周年記念歌斉唱
 の後、意義深い式典を終了した。

- 一、当日の式次第
- 1、一同敬礼
- 2、開式の辞
- 3、校歌斉唱
- 4、校長式辞
- 5、同窓会長挨拶
- 6、P T A 会長挨拶
- 7、感謝状並に記念品贈呈
- 8、工業図書館（同窓会館）工事報告
- 9、施工者への記念品贈呈
- 10、祝辞（祝電披露）
- 11、物故者への黙とう
- 12、五十周年記念歌斉唱
- 13、閉会の辞

開校五十周年記念行事並に 工業図書館（同窓会館）落成式



工業図書館(同窓会館)

(現在は東側2/3が会議室に西側1/3が同窓会事務局と資料室になっている)

創立五十周年記念歌

作詞 島崎 曙海
作曲 浜田善三郎

一、南に黒潮 北に四国山脈
コバルト色に 澄みわたる
地もよしここに 五十年
高知工業高校の
栄えは 世紀の旗となり
みのり 豊かに 今日の日を

二、胸毛の白き 若駒は
光りにまぶれ たくましく
科学と技術を 綾に織り
同窓一万ゆるぎなく
翼をくんで 堂々と
いななけ いつも さわやかに

三、世界は進む 日に月に
長き伝統 ゆるぎなく
生かせ精神も 五体も鍛え
高知工業高校の
誉は高く 世にこたえ
輝き 光れ 永久までも

感謝状及び記念品贈呈

本校創立者であられる竹内綱、明太郎先生のご遺業をしのびたたえるため
当主竹内啓一氏をご招待申し上げたが、ご都合でご臨席できず記念品は別
にお送りした。

初代校長吉崎七次郎先生のご嗣子三郎氏は、はじめ航空便で出席のご通知
があったが、急な用件で中止されたので、これまた記念品は後からお届けし
た。

二代目の校長松本政良先生のご遺族としては、ご子息四郎氏の夫人がおい
で下さったので記念品をさし上げた。

感謝状並に記念品が同窓会長より贈られた方々は、かつての校長で、現在
地においてそれぞれ活躍されている森本長太郎先生、森岡貞篤先生、小松
生幹先生、永年母校に教べんとられ、その間同窓会の発展にたいへんご尽
力された校友小川楠水先生、勤続二十年以上の現職員、機械科加藤秀季、貞
広文太郎両先生で、以上の方々の方々の代表として森本先生から丁寧な謝辞があっ
た。

工業図書館の工事報告

同窓会長吉村重隆氏に対しては、学校長より感謝状と記念品が贈られた。
図書館建設委員長(森岡前校長)より五年間にわたるご苦心を胸に秘めて
竣工までの経過を詳細に報告された。つづいて同窓会長より施工者勝賀瀬
嘉之助、(昭和二十四年建築科卒、新興土建)へ感謝状並に記念品が贈られ
た。

祝辞、祝電、謝辞

祝 辞

県議会議長(近藤正弥)

県教育委員会(田所大二郎)

県高等学校長協会(西村正男)

祝 電

貴校図書館落成五十年記念祝典御開催の趣亡兄は泉下喜び申す可くと存じ候
尚此の上の御発展を待望仕り候 吉田 茂

光輝ある五十年の式典を心からお喜び申し上げると共に今後ますますご発
展あらんことを祈ります 高知県知事 溝淵 増 巳

御立派な同窓会館の落成に際し関係各位の御努力に感謝し御盛会をお祝い申
し上げます。

参議院議員 寺尾 豊

開校五十周年の御盛典と工業図書館の竣工をお祝い申し上げます。

衆議院議員 浜田 幸雄

御盛典をお祝い申し上げます。

衆議院議員 浜田 正信

創立五十周年と図書館落成をお祝い申し上げます。

参議院議員 塩見 俊二

五十周年記念おめでたくお祝い申し上げます。

吉崎 三郎

(同窓会員の分省略)

(校舎全景)



落第制度を了承

申し合わせの範囲で実施

高知 高知県高等学校会は二形をとり、追試回数も各校、局がした二要素を併せた結果、立長、高知市・小津高校で調査、県立高校全日、県校の生徒で落第単位が一定の基準に達しないものは落第させるといふ原案が、この結果、高知市・小津高校に賛成するが、県立高校側など強制的なものにはせず各校会の申し合わせで実施することを決めた。

高知新聞より



(生徒会執行部)

思い出

川村 恭三 (昭38木工卒)

在学中に50周年式典を迎えて、五月百花、枝を自しと先輩諸兄に対して謝辞を述べてから、はやくも30年の月日が経ち、本当にこの期間の事を思い起こせば、日々、喜怒哀楽に満ちた事ばかりでしたが、私は肉体的に苦しいと思った事はあまりないが、精神的に苦しいと思った事が何度かはあったが、この事に関しても思い様によっては、どうにでもなると思える様になった。「成せば成る、成さねばならぬ何事も」と言う諺がある様にケセラセラの気分つまり成る様にしかならないし運を天にまかすという気持ちになれば気持ちも気分もすごく楽になった様に思う。こう言う気持ちになるには年月を要するかも知れないし又あらゆる経験いくつもの機会又世間の皆さん方のアドバイスによるものが多く人間に不可能はないとよく言われるが、本当にそう思う事もあるが、又その反面そんな事はないと思う事もあるが、要は何事もあきらめずに努力する事が大切ではないかと思う。

私は高知工業への入試の際、第1志望機械科第2志望木材工芸科第3志望土木科と志望を書きました。今はどうか判らないけれど、当時は電気科が機械科に入るのが夢でしたし花形でした。私は第2志望の木材工芸科に入学する事が出来ました。第2志望を木材工芸科にしたかと言えば中学時代に工作で色々と木工製品をつくったのが、きっかけでそうしたのであって、現在も木材関係の仕事をしている状態で人間の進む道はいくつにも分れており、木の枝のごとく幹から枝が何本にも分かれてい

1963年・昭和38年

3. 1 第15回卒業式
全日制 機 87名、電 89名、化 44名、土 46名、
建 39名、工 31名。
定時制 機 52名、電 32名、化 13名、土 21名、
建 14名。
3. 31 機械科、工芸科実習室、鉄筋コンクリート造、延212坪完成、1階、原動機室、鍛造室、溶接室(106坪)、2階、美術室106坪。
4. 27 P T A 総会(定) 会長に谷村健助 5選。
5. 4 開校記念日。
5. 11 P T A 総会(全) 会長に浜田正元(大14化卒) 3選。
6. 四国高校弓道選手権大会、個人優勝(武野)。
8. 全国高校弓道大会出場。
9. 15 第16回団体。
~17 ラグビー優勝、体操団体優勝、個人総合3位(中村)、弓道団体優勝、バレー3位、相撲団体2位、個人2位(西内)、卓球3位、バレー3位、剣道団体2位、個人優勝(舟谷)、陸上800m、1,500m優勝(森本)、800m 2位(友村)、200m H 3位(中村)、三段跳優勝(岡本)、3位(中村)、円盤投優勝(上田)、ハンマー投2位(山崎)、柔道重量級3位(西岡)。
10. 12 第15回体育祭、土木科優勝。
11. 全国高校ラグビー選手権大会県予選、優勝。

県内 国内外関係

2. 3 県立高等学校に原級留置制度実施決定。
 3. 高等学校生徒連合会解散。
 4. 1 国立高知工業高等専門学校設立。
 10. 18 吉田 茂元首相、引退を決意さよなら登院。
 12. 18 国鉄中村線、土佐佐賀まで開通。
 6. 20 ワシントン—モスクワ直通通信「ホットライン」協定調印。
 8. 5 米、英、ソ3国、「部分核停条約」調印。
 11. 1 伊藤博文像の新1,000円札発行。
 11. 22 初の日米テレビ中継、ケネディ大統領暗殺。
 12. 21 教科書無償措置法公布。
- ※ 高校三年生、美しい十代、こんにちは赤ちゃん、長崎の女、見上げてごらん夜の星を。

(高知新聞より)

高校進学率は新記録

文部省 昨年中、高校卒生の進路調査 「急増対策」不安がる声

昨年三月に中央、高校を卒業した生徒の卒業後の進路調査結果が、この文部省で発表された。

文部省は昨年までは、その結果、急増対策が採れる恐れがあるとの声をあげている。

今回の調査は文部省統計課が、年行っている一学校本調査の一つ、それによると昨年度の卒業生は百九十九万八千人、うち百二十四万七千人が高校と同等専門学校に進学した。高専校を除く高校進学率は百二十四万四千五百八十八名全体の六三・九に上った。

最近の高校進学率を見ると、昭和三十三年は五二・五だったものが、三十六年には六二・三に上り、三十七年には六四・三に上った。この率は六四・三に上ったのではないかと、この声もあつた。

文部省は昨年までは、その結果、急増対策が採れる恐れがあるとの声をあげている。この声は、八代に引き上げ、対策も取り出した。それでも、高知市や各地の教育、高校関係者の間には「急増対策」が、この不安が強いという声もあつた。

る様に、この分岐点からの進行方向は出会う人々、恩師とさまざまな諸条件により変化してくると思う。よく親は勉強（学業）が出来ればい様に考えられているが、一番大切なのは心身共健全で人に迷惑をかけない様にすること、我身になって物事が考えられる、そして人に良くする事、そうすればいつかは自分の元によくした事がかえってくるという事、いずれにせよいかなる場合も自覚と信念を持って進んでいく事が、大切ではないだろうかと思う。学生時代は色々と遊ぶ事も大切でこれも一つの勉強であって、この中から色々とルール及び方法も学び、精神的にも豊かさが養われるのではとも考えている。大部分の時間、家族と共に生活する時間が多いし、親の仕事を見守って育つと言いますし、環境が子供の心を変える事が多いこの御時世、親となった今、子供に誇れる責任ある父親でいたいと思う。私は非常にすばらしい先輩後輩又先生にめぐりあえたので、感謝の意をこめてこの様な事を記させて頂きました。

在学中は修学旅行にしても単一的な物でなく二つのルートがあり、私達は少人数でしたが鳥取、金沢、東京、華厳の滝へと多くを廻り、又体育祭では各科が競い合う大きなシンボルマークをテーマにかかえて、毎日遅くまでかかって製作し、応援した事や、クラブでは相撲、ラグビー部が強くて全国大会へよく出場していた様に思うし、文化祭では自分達のグループで製作してウレタン塗装をしたタンズが7千円で売れ、自分で造ったブドウ柄の木彫の雑誌入れが即売会ですぐ売れた事に気よくしたものでした。現在は土足で教室に入っていると思いますが、私達の頃はまだ上履着用だったので生徒総会で議論し、質疑応答した事、それに昼食時の食堂のうどんがおいしくて、毎日よく食べた事が頭に残っておりもう一度食べてみたい気分、学校間の交流も多くこの頃は郵便友の会と言うのがあり、よく女子校との交流会があり、よく来校していた様に思うし、この頃の憧れは土佐女子校でセーラ服に2本の線が入っているのと呼んでおり、この女子校の生徒と付き合う事が夢であった様に思う。

いくら美辞麗句を並べても所詮人間は皆んな裸で生まれて来ており、原点に帰れば皆平等でなくてはいけないし、何事も初心に戻った考え方を持って進めば楽しくおかしくして、おもしろい日々が送れるのではないのでしょうか。

如何でしょうか。今年学校の方も創立80周年を迎えた事は本当にすばらしく、これからも今まで以上に皆んなの力で躍進する事をお祈りしたいと思います。

タスキにかけた青春

谷 忠 男（昭38電卒）

私と陸上競技との出会いは昭和35年4月にさかのぼる。新入生歓迎校内マラソン大会が、工業高校周辺でおこなわれた。ズブの素人である私が一年生約350名中、3位で入ったことから始まります。このマラソン大会がきっかけで、陸上競技部の荻谷功一先輩より、再三の勧誘があり私も走る事が好きでしたから昭和35年7月頃陸上競技部に入学しました。部長の北川良

吉先生始め諸先生の御指導のもとに本格的な練習を開始しました。

当時、工業高校のグラウンドでは、サッカー、ラグビー、野球部とところ狭しと練習をしていたので陸上部は、もっぱら市営陸上競技場（競輪場並設）や高知城、棧橋通りの道路等ジブシーのように練習場を求めて練習を行ったことが今では、なつかしく思い出されます。

私の公式戦初出場は、昭和35年11月、第11回全国高校駅伝競走高知県予選大会でした。工業高校チームは、3位に入賞し第4区、高木貢さん、第7区、私が区間賞をいただきました。その後、四国高校駅伝大会、第4回下関→大阪府府県対抗駅伝大会、高知駅伝大会と次々と出場し、一本のタスキをリレーするごく単純なスポーツである駅伝競走のとりことなりました。

高校3年間各種大会に出場できたのも、私の力を引き出して下さった、北川先生始め故人となられた中山卯月先生、高知マラソンで優勝された森本忠純先生や諸先輩の御指導と同期、後輩との切磋琢磨した、練習と出会いがあったならばこそ実現できたことです。

当時、練習は、きつく音を上げそうになったことも幾度もありましたが、厳しい練習で得たものは、「真剣に努力すれば、何事もある程度のレベルまでには到達できること」、「走っている時の苦しさは、相当なものだが終わった後の充実感は何ものにも替え難いこと」、「困難や苦しさに打ち勝つ心が養われたこと」等、数多くありました。これらの体験が私の生き方の一つの指針となったように思います。

中部電力（株）に就職し火力発電所の発電マンとして電気事業の一翼になって、現在まで健康で頑張ってきたのも高校時代に鍛えた「体力」という貯金のおかげだと思っている。

しかし、最近では腰ベルトの穴の数も増え「体力」という貯金も、くいつぶし赤字となっているのが現状である。齢に合ったスポーツをしていきたいと思っている今日此の頃であります。

最後になりましたが母校の益々の御発展とこの様な紙面を与えて下さった記念誌委員会に感謝をし、拙いペンを置きます。

ありがとうございました。平成3年1月記



（陸上部）

1964年・昭和39年

- 3. 1 第16回卒業式。
全日制 機 86名、電 86名、化 44名、土 37名、
建 41名、工 32名。
定時制 機 64名、電 28名、化 16名、土 13名、
建 15名。
 - 3. 高知県児童生徒文化賞受賞。
西村尊幹、藤崎雄一、藤原通彦（科学部門）。
 - 3. 19 機械科機械工場、鉄筋コンクリート造571m²完成。
 - 3. 31 体育館兼講堂と第1棟校舎西端を結ぶ渡り廊下コン
クリートブロック積瓦棒葺23坪完成。
 - 4. 1 県立工業試験場改築に伴いその敷地の西北隅の1部
を本校に移管。
 - 4. 15 格技場、52.5坪完成（元の県工業試験場建物を補修
改造したもので正門すぐ南前）。
 - 5. 4 開校記念日、同窓会長に川久保友一（大15電卒）選出。
 - 5. 9 P T A 総会（全）会長に川久保友一（大15電卒）選出。
 - 5. 14 P T A 総会（定）会長に谷村健助 6 選。
 - 6. 四国高校体操選手権大会。
団体総合優勝、個人総合優勝（中村）。
 - 7. 21 P T A 常任委員会、改築期成会結成の議承認。
 - 7. 26 第42回全国高校相撲選手権大会出場。
 - 8. 全国高校体操選手権大会出場。
 - 8. 11 校舎改築期成会成立、会長に寺尾 豊（大6機卒）
選出、県議会に陳情。
 - 9. 20 第17回県体。
 - ~24 体操1部団体総合優勝、個人総合優勝（中村）、3
位（浜田）、2部団体2位、個人2位（中岡）、軟
式庭球3位、陸上1,500m S C 優勝（影山）、柔道
重量級優勝（野町）、3位（西岡）、剣道団体3位、
個人3位（新開）、バレー2位、ラグビー2位、弓
道2位、個人優勝（井上）。
 - 10. 31 運動会。
 - 11. 県外修学旅行。
 - 11. 9 改築期成会、教育委員会に陳情、知事に書類陳情。
 - 11. 全国高校ラグビー選手権大会予選優勝。
 - 12. 9 改築期成会長、副会長の会で運動方針検討県議会に
請願の手続をとることに決定。
 - 12. 17 「高知県立高知工業高等学校校舎改築について」県
議会に請願書提出。
- 県内 国内外関係
- 4. 1 県教育センター設置（鴨部）。
 - 5. 10 県鳥にヤイロチョウ指定。
 - 8. 18 全国高校野球選手権大会、高知商優勝。
 - 10. 1 N H K 高知放送局カラー放送開始。
 - 6. 16 新潟大地震、新潟の夏期国体中止。
 - 10. 1 東海道新幹線開業、東京一大阪間所要時間4時間。
 - 10. 10 東京オリンピック大会開催（24日まで）。
 - 10. 16 中国初の核爆発実験。

※ アンコ椿は恋の花、お座敷小唄、幸なら手を叩こう。

本校の総合的な教育効果は著しく向上するものと確信いたします。教育行政その他極めて御多忙の折柄誠に恐縮でございますが、趣意書、計画図等御高賢の上、本校の全面改築が早急に実現されますよう特別の御高配を賜り度く伏してお願ひ申し上げます。



① 1階・機械科・原動機室・溶接室・鍛造室。
2階・工芸科・美術室。
②機械実習工場

陳情書

（昭和39、一一、九）
高知県立高知工業高等学校改築期成会
会長 寺尾 豊

秋冷の候ますます御清祥のことと存じお慶び申し上げます。
さて私共の学校、高知工業高校の主な校舎は戦後、諸物資の乏しかった昭和二十三年以降復旧されたものでありまして、その一部はすでに危険校舎の指定を受けております。
県御当局におかれましては実状をよく御認識され、これらの危険校舎の改築を「学校整備五年計画」に組入れられて、これらの改築について鋭意御研究の趣き承わっております。
しかしながらこの五カ年計画は主として危険校舎を対象とするもの由でありまして、本校の校舎のうちこれに該当するものは添付「増築配置図」の中央部に青線で示した校舎（木造二階建普通教室一二、定時制職員室、電気科製図室、同職員室、同実験実習室など計五六〇坪……一、八五〇坪）と現在同図右上方④の位置

にある木造平屋（工業化学実験室、一一九坪……四二六坪）の建物であります。
配置図を一見すれば誰も奇異の感をいだくこととございますが、現在の校舎は校地に対し著しく不規則に配置されております。これは戦後の都市計画のため校地の方向が変わりましたが校舎の復旧は急を要し、その上、基礎用資材の入手難などのため旧校舎の基礎をそのまま使用したためであります。
これがため、さなごだに狭い校地の利用率はさらに低下して、運動場も狭小で教育活動に少なからぬ支障をきたしておるのであります。このような不利を解消するためその後の増、改築にあたっては、すべて校地に対し正常な方向に配置して、土地の利用を高めるとともに外観の整備にも努めてきた次第でありまして、今後この方針は是非守っていただきたいと考えております。

なお特に御配慮いただきたいことは、相当長期にわたるものと予想される改築工事中の学校運営についてでございます。
すなわちこの期間中の授業を正常に行ない、教育効果を低下させないためには、相当な予備教室が必要でありまして、学校長は機械工場（鉄筋コンクリート平屋、一七〇坪、昭和三十三年竣工）の上に二階を設け、ここに工芸科の設備を移すことよって生ずる予備の校舎をこれに充当する案をもってあります。
この案は県御当局におかれても、長期計画の一環としてすでに承認されておる由、聞き及んでおります。
つきましては、この計画を最優先に御取上げいただきまして、明四十年には、これを実現し、引続いて、上述しました一連の改築を実施していただきたいと懇願申し上げる次第でございます。

この計画がすべて完成されますと、運動場は約四、五〇〇坪（現在約三、二〇〇坪）となり体育関係教育は飛躍的に充実いたしますし、普通、専門、両教科ともその内容を深め、相互の関連もその緊密度を高めることが出来まして、



← 県体入場行進

陸上競技 →

バレーボール試合



奥さん便所をなおしましょう。
 バラック建てるが関の山
 建築、ケンチク、柱たてソレー
 どうして女がほれようか
 イヤヨ、そんなの最低よ、

この火はどうして燃えるだろう
 小便アルカリ有るだろか ♪
 化学科化学科コエカツギ
 ♪ ソレ、どうして女が惚れようか
 イヤヨ ソンナノ
 クサイワヨ



(建築科教員)



(工業化学科教員)



(建築科授業風景)



(工業化学科生徒・はりまや橋にて)

